

平成30年度 広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業
**関西における主要ゲートウェイを拠点とした
外国人観光客動向調査事業（ヒアリング）**

報 告 書

平成31年1月

国土交通省 近畿運輸局 観光部

INDEX

1. 本業務の概要	1
2. 調査地点図	4
3. 全体サマリー	9
4. 府県別調査結果分析	1 3
5. 調査地点別調査結果分析	2 7
①関西国際空港	2 7
②中部国際空港	5 5
③京都駅	8 2
④新大阪駅	1 1 4

1. 本業務の概要

1. 調査の目的

観光庁では、訪日外国人旅行者の広域周遊促進に取り組んでおり、当該施策の一環として、近畿運輸局では関西を訪問する訪日外国人旅行者の旅行傾向を調査し、関西広域における周遊を促すためのプロモーション戦略策定の基礎資料とすることを目的に事業を実施した。

2. 調査設計

本調査における調査設計は下記の通りです。

■ 調査方法	外国語対応可能な調査員による対面聞き取り調査
■ 調査時期	【調査日】平成30年11月～12月 【調査時間】10時～18時を予定
■ 調査地点	①関西国際空港 ②中部国際空港 ③京都駅 ④新大阪駅
■ 回収サンプル	4地点 × 100サンプル以上 計400サンプル以上の回収を目指します。 ※対象言語は英語・中国語・韓国語の3か国語とし、調査員6名で調査を実施

3. 調査日程

調査日は平成30年11月から12月としており、各箇所の調査日は以下の通り実施した。

調査地点	調査日	調査時間
①関西国際空港	平成30年12月4日（火）	10時～18時
②中部国際空港	平成30年11月27日（火）	8時～18時
③京都駅	平成30年11月19日（月）	10時～18時
④新大阪駅	平成30年11月26日（月）	10時～18時

4. 調査項目

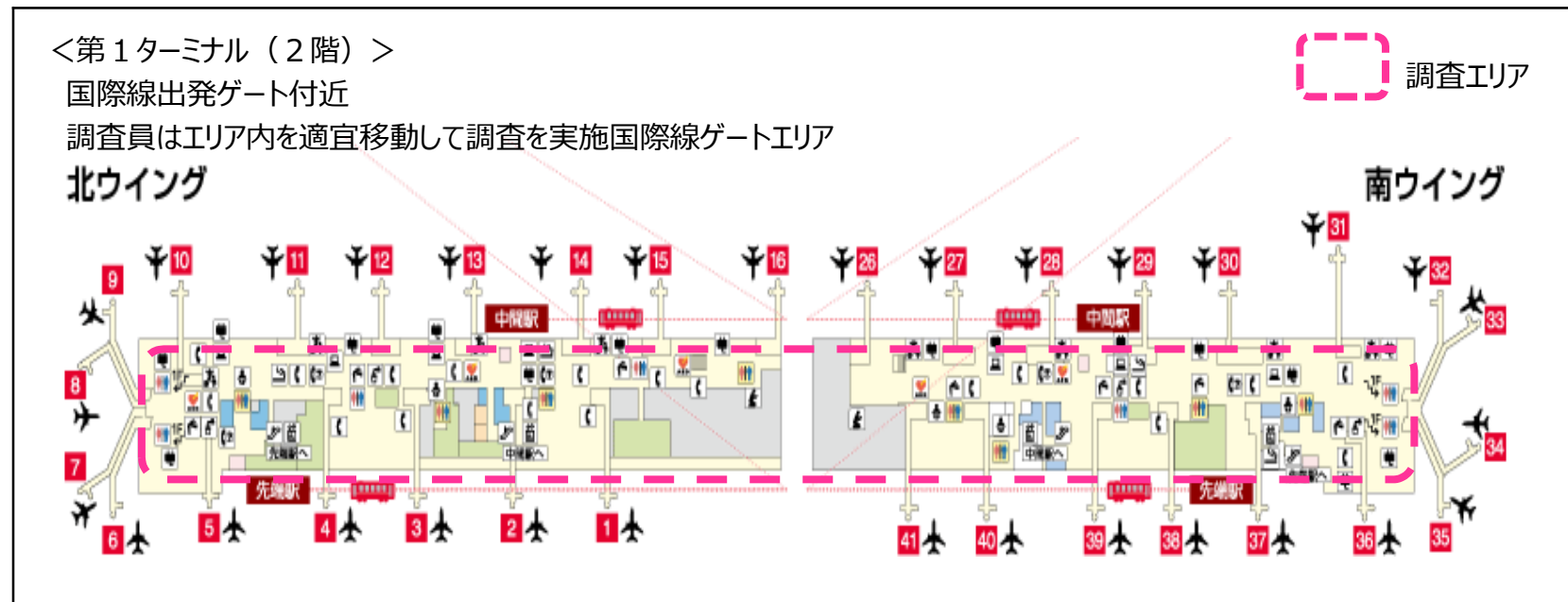
本調査では、下記の調査項目にて対面式聞き取りアンケートを実施した。

なお、実際の調査実施時には、英語・中国語・韓国語の各言語に翻訳した調査票を使用した。

区分	調 査 項 目
属性・日本での観光等	国籍
	性別
	年齢
	旅行人数
	同行者
	旅行の手配手段
	日本への訪日回数
	関西への訪問回数
	入出国の空港・便
	入国情報（空港、航空会社、日付）
	出国情報（空港、航空会社、日付）
	今回の旅行中での旅程変更の有無
	今回の旅行中のこだわり（どこにお金をかけても良い）
	今回の旅行での交通パスの購入有無
	旅行の計画に交通パスの範囲は影響したか
関西での旅行行程について	日程
	出発地（宿泊地）
	メインの訪問箇所の目的と情報入手方法
	交通手段

2. 調査地点図

①関西国際空港



＜当日の流れ及び注意事項＞

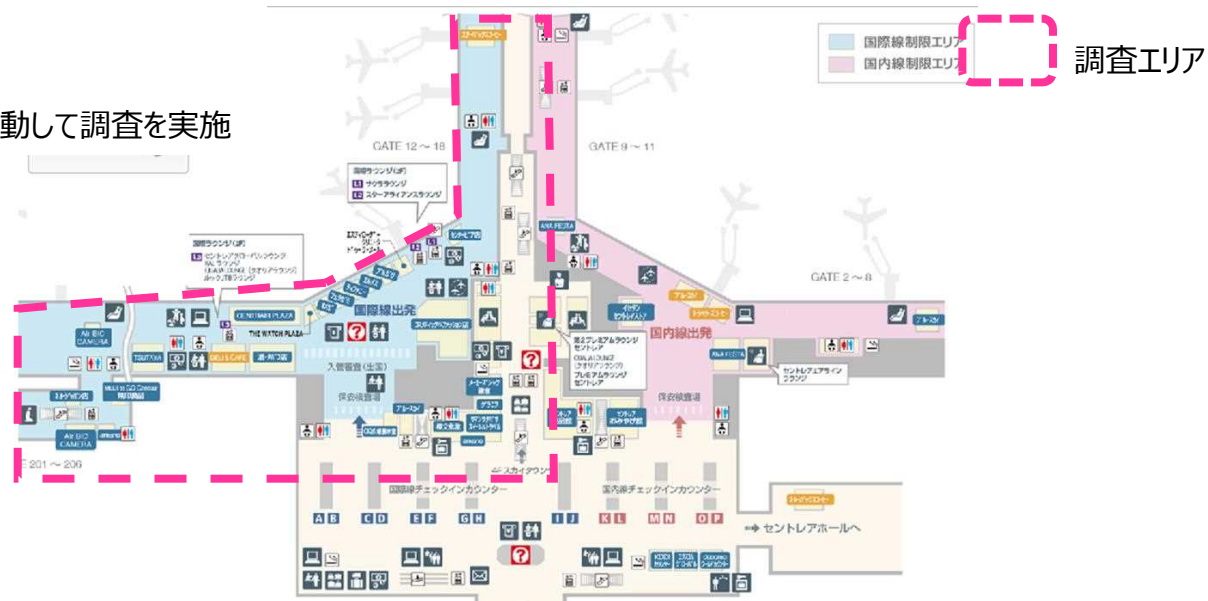
	時間帯	内容
開始時	9：30頃	立入許可証を受取り、保安区域内に進入
動線	全時間帯	保安区域内より外に出る際は、指定されたルートより外出
休憩時	全時間帯	腕章と名札を外し、一般人の格好になりベンチ等で休憩
終了時	18：00以降	進入時と同様の手順で退出し、立入許可証を返却
その他	全時間帯	立ち入り許可証は決して紛失しない アンケート調査を実施する際に、店舗等に近づきすぎないようにする 利用者の通行の妨げにならないように注意する

②中部国際空港

< 3 階出発ロビー>

国際線出発ゲート付近

調査員はエリア内を適宜移動して調査を実施



<当日の流れ及び注意事項>

	時間帯	内容
開始時	7：30頃	立入許可証を受取り、保安区域内に進入
動線	全時間帯	保安区域内より外に出る際は、指定されたルートより外出
休憩時	全時間帯	腕章と名札を外し、一般人の格好になりベンチ等で休憩
終了時	18：00以降	進入時と同様の手順で退出し、立入許可証を返却
その他	全時間帯	立ち入り許可証は決して紛失しない アンケート調査を実施する際に、店舗等に近づきすぎないようにする 利用者の通行の妨げにならないように注意する

③京都駅

<1階 中央口>

調査員はエリア内を適宜移動して調査を実施



調査エリア

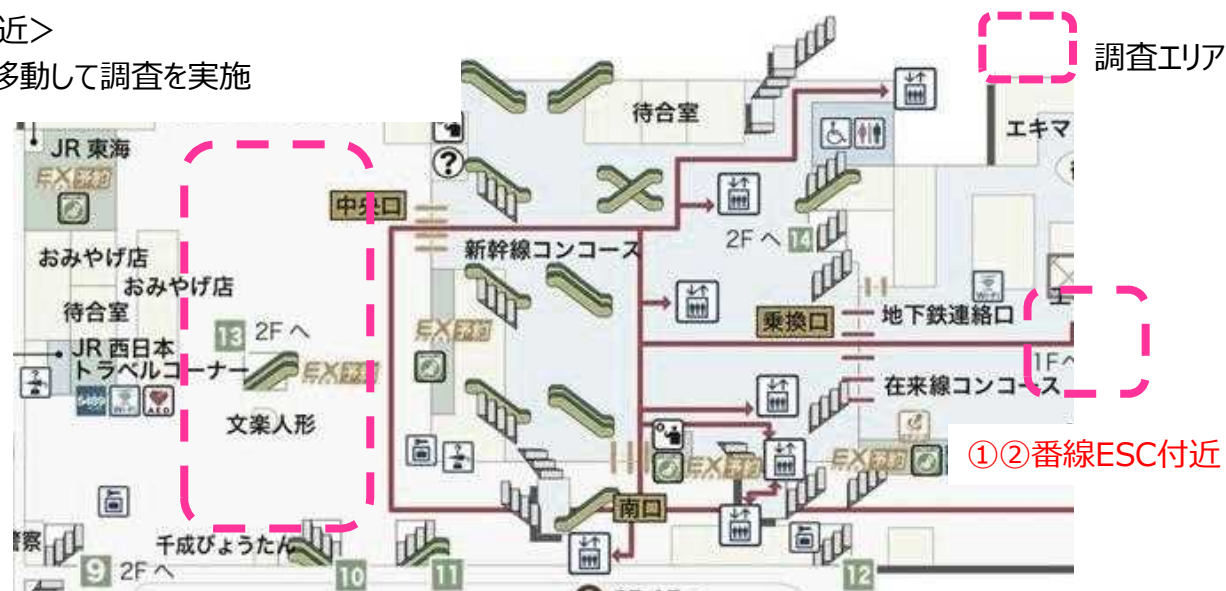
<当日の流れ及び注意事項>

	時間帯	内容
開始時	9：30頃	駅事務室に挨拶し調査開始（その際に当日の調査エリアを確認する）
休憩時	全時間帯	腕章と名札を外し、一般人の格好になりベンチ等で休憩
終了時	18：00以降	駅事務室に挨拶し調査終了
その他	全時間帯	利用者の通行の妨げにならないように注意する 17時から同エリアにて啓発活動が実施するので注意する

④新大阪駅

<中央口付近、乗換口付近>

調査員はエリア内を適宜移動して調査を実施



<当日の流れ及び注意事項>

	時間帯	内容
開始時	9：30頃	駅事務室に挨拶し調査開始
動線	全時間帯	駅構内へ出入りする際は腕章を見せて出入りさせていただく
休憩時	全時間帯	腕章と名札を外し、一般人の格好になりベンチ等で休憩
終了時	18：00以降	駅事務室に挨拶し調査終了
その他	全時間帯	アンケート調査を実施する際に、店舗等に近づきすぎないようにする 利用者の通行の妨げにならないように注意する

3. 全体サマリー

1. 調査結果の概要

関西の主要ゲートウェイである関西国際空港、中部国際空港、京都駅、新大阪駅の計4箇所において、訪日外国人に対する対面聞き取り調査を実施し、獲得票数は416票であった。

国籍別にはアジアが63%、欧州が17%、北米が8%、オセアニアが9%であり、2018年の日本政府観光局が発表している訪日外国人旅行客数の割合（アジア：86%、欧州：6%、北米：6%、オセアニア：2%）とは異なるが、幅広い地域から意見収集を行った。

調査結果より、関西2府4県への訪問率や宿泊率の把握とともに、訪日外国人の行動パターンの把握を行った。

（表）府県別調査結果の要約

	訪問率	宿泊率	訪問に対する宿泊率	訪日回数		訪問箇所数	
				5回以内	6回以上	5箇所以内	6箇所以上
大阪府訪問	67%	59%	88%	82%	18%	71%	29%
京都府訪問	69%	44%	64%	84%	16%	69%	31%
兵庫県訪問	14%	7%	53%	69%	31%	49%	51%
奈良県訪問	35%	5%	14%	86%	14%	73%	27%
滋賀県訪問	4%	2%	56%	53%	47%	47%	53%
和歌山県訪問	8%	5%	66%	61%	39%	59%	41%

訪問率が最も高いのは、京都府で69%、続いて大阪府の67%であった。奈良県では35%の訪問率であるが、兵庫県は14%、和歌山県は8%、滋賀県は4%と非常に厳しい結果となった。

宿泊率も同様に大阪府と京都府に集中しているが、訪問府県への宿泊状況をみると、概ね5割以上は訪問府県に宿泊している結果となったが、奈良県では14%と2割未満に留まった。

訪問率の高い大阪府、京都府、奈良県では、訪日回数が5回以内の人が8割を超える一方で、兵庫県、滋賀県、和歌山県では、訪日回数が6回以上の人が3割を超える結果となっており、訪日回数の多いリピーターは兵庫県、滋賀県、和歌山県を訪問する傾向が高いことがわかる。

訪問箇所数では、訪問率の高い大阪府、京都府、奈良県では、同府県を訪問した人のうち約7割は5箇所以内の訪問となっているのに対し、6箇所以上を訪問した人では兵庫県で51%、滋賀県で53%、和歌山県で40%と他府県に比べて高くなっている。

兵庫県、滋賀県、和歌山県への訪問者は、訪日回数の多いリピーターであるとともに、訪問箇所の多い周遊傾向があることがわかる。

2. 府県別の課題と対策

調査結果より、府県別の課題と対策として、以下の内容が挙げられる。

府県	現状の課題	今後の対策
大阪府	訪問率・宿泊率が高いが、周遊性がやや低い (訪問箇所数が5箇所以内が約7割)	各観光拠点のP Rはできていると考えるが、訪問箇所数を増やしてもらうよう、適切な情報提供による他エリア観光地や施設への立ち寄りを促す他エリアとのP Rの連携
京都府	訪問率・宿泊率が高いが、周遊性がやや低い (訪問箇所数が5箇所以内が約7割)	各観光拠点のP Rはできていると考えるが、訪問箇所数を増やしてもらうよう、適切な情報提供による他エリア観光地や施設への立ち寄りを促す他エリアとのP Rの連携
兵庫県	訪問率・宿泊率がやや低い (訪問率：14%、宿泊率7%)	訪問者の宿泊は高い地域であるので、「まず」訪問してもらうことを目的として、訪日回数の多いリピーターや、他地域を含めた広域周遊者をターゲットとしたP R活動の実施
奈良県	訪問率は3割を超えているものの、訪問して宿泊している人が非常に少ない (奈良県訪問者の宿泊率：14%)	奈良県に訪れる訪日外国人客を奈良県内に留め、宿泊させるよう、県内宿泊施設の県内他エリア観光地や施設への周遊に関するP Rの実施
滋賀県	訪問率・宿泊率がやや低い (訪問率：4%、宿泊率2%)	訪問者の宿泊は高い地域であるので、「まず」訪問してもらうことを目的として、訪日回数の多いリピーターや、他地域を含めた広域周遊者をターゲットとしたP Rの実施
和歌山県	訪問率・宿泊率がやや低い (訪問率：8%、宿泊率5%)	訪問者の宿泊は高い地域であるので、「まず」訪問してもらうことを目的として、訪日回数の多いリピーターや、他地域を含めた広域周遊者をターゲットとしたP Rの実施

4. 府県別調査結果分析

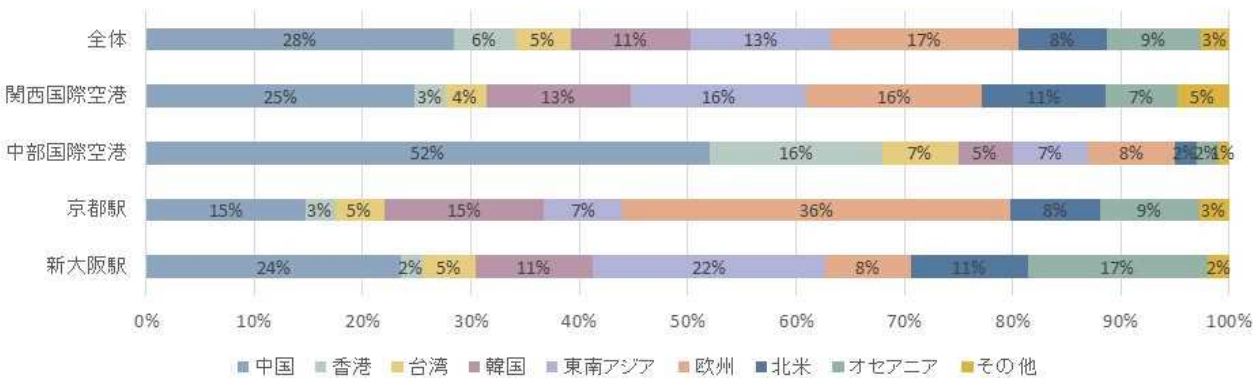
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性

- 全体ではアジアが63%、欧州が17%、北米が8%、オセアニアが9%であった。
- 地点別に見ると、関西国際空港ではアジアが61%、欧州16%、北米11%、オセアニア7%であり、中部国際空港ではアジアが87%、欧州8%、北米2%、オセアニア2%であり、京都駅ではアジアが45%、欧州38%、北米8%、オセアニア9%であり、新大阪駅では、アジアが64%、欧州8%、北米11%、オセアニアが17%という構成比となった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	全体
全体	118 28%	24 6%	21 5%	46 11%	54 13%	72 17%	34 8%	36 9%	11 3%	416 100%
関西国際空港	26 25%	3 3%	4 4%	14 13%	17 16%	17 16%	12 11%	7 7%	5 5%	105 100%
中部国際空港	52 52%	16 16%	7 7%	5 5%	7 7%	8 8%	2 2%	2 2%	1 1%	100 100%
京都駅	16 15%	3 3%	5 5%	16 15%	8 7%	39 36%	9 8%	10 9%	3 3%	109 100%
新大阪駅	24 24%	2 2%	5 5%	11 11%	22 22%	8 8%	11 11%	17 17%	2 2%	102 100%



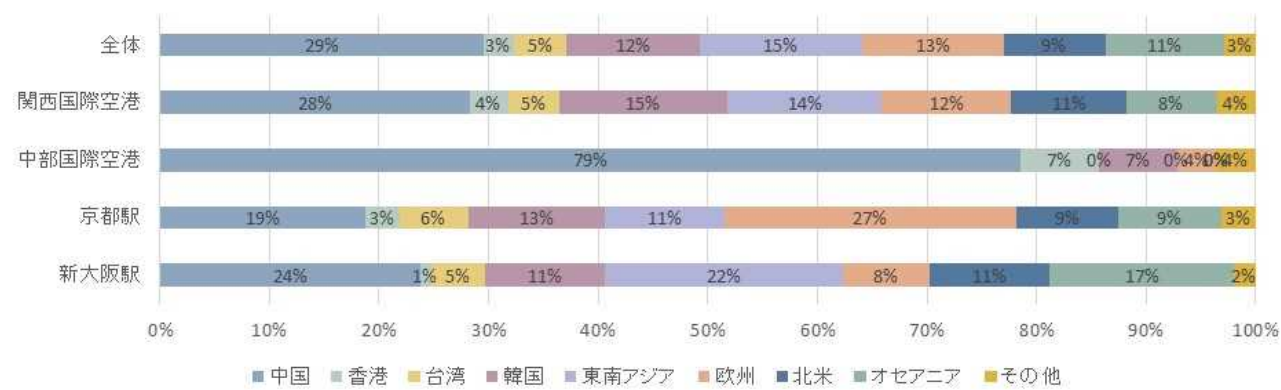
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(大阪府訪問者)

- 大阪府を訪問している回答者の国籍は、アジアが64%、欧州が13%、北米が9%、オセアニアが11%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	大阪訪問計
全体	82 29%	8 3%	13 5%	34 12%	41 15%	36 13%	26 9%	30 11%	8 3%	278 100%
関西国際空港	24 28%	3 4%	4 5%	13 15%	12 14%	10 12%	9 11%	7 8%	3 4%	85 100%
中部国際空港	22 79%	2 7%	0 0%	2 7%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%	1 4%	28 100%
京都駅	12 19%	2 3%	4 6%	8 13%	7 11%	17 27%	6 9%	6 9%	2 3%	64 100%
新大阪駅	24 24%	1 1%	5 5%	11 11%	22 22%	8 8%	11 11%	17 17%	2 2%	101 100%



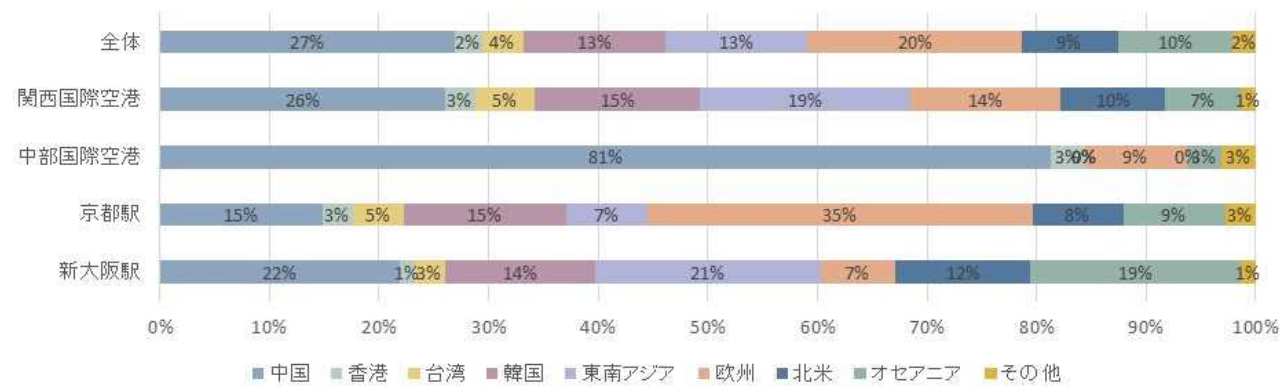
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(京都府訪問者)

- 京都府を訪問している回答者の国籍は、アジアが59%、欧州が20%、北米が9%、オセアニアが10%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	京都訪問計
全体	77 27%	7 2%	11 4%	37 13%	37 13%	56 20%	25 9%	30 10%	6 2%	286 100%
関西国際空港	19 26%	2 3%	4 5%	11 15%	14 19%	10 14%	7 10%	5 7%	1 1%	73 100%
中部国際空港	26 81%	1 3%	0 0%	0 0%	0 0%	3 9%	0 0%	1 3%	1 3%	32 100%
京都駅	16 15%	3 3%	5 5%	16 15%	8 7%	38 35%	9 8%	10 9%	3 3%	108 100%
新大阪駅	16 22%	1 1%	2 3%	10 14%	15 21%	5 7%	9 12%	14 19%	1 1%	73 100%



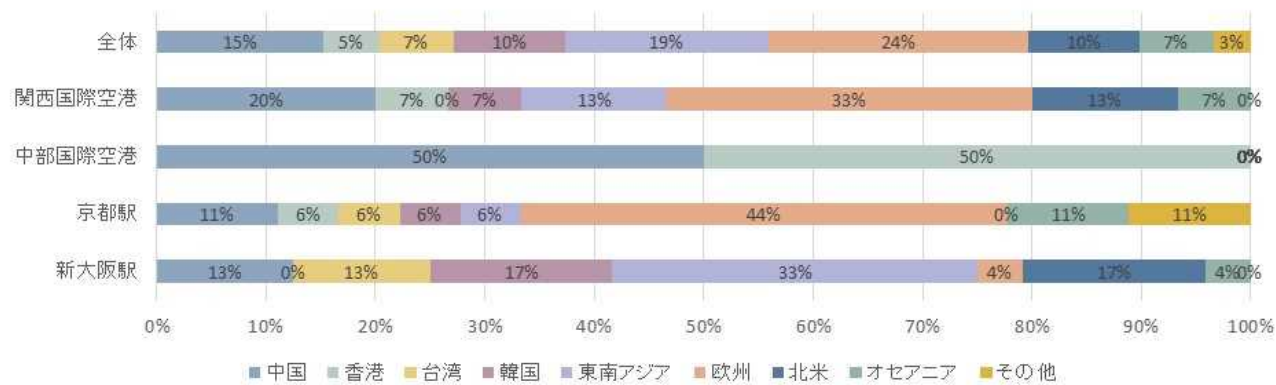
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(兵庫県訪問者)

- 兵庫県を訪問している回答者の国籍は、アジアが56%、欧州が24%、北米が10%、オセアニアが7%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	兵庫訪問計
全体	9	3	4	6	11	14	6	4	2	59
	15%	5%	7%	10%	19%	24%	10%	7%	3%	100%
関西国際空港	3	1	0	1	2	5	2	1	0	15
	20%	7%	0%	7%	13%	33%	13%	7%	0%	100%
中部国際空港	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
京都駅	2	1	1	1	1	8	0	2	2	18
	11%	6%	6%	6%	6%	44%	0%	11%	11%	100%
新大阪駅	3	0	3	4	8	1	4	1	0	24
	13%	0%	13%	17%	33%	4%	17%	4%	0%	100%



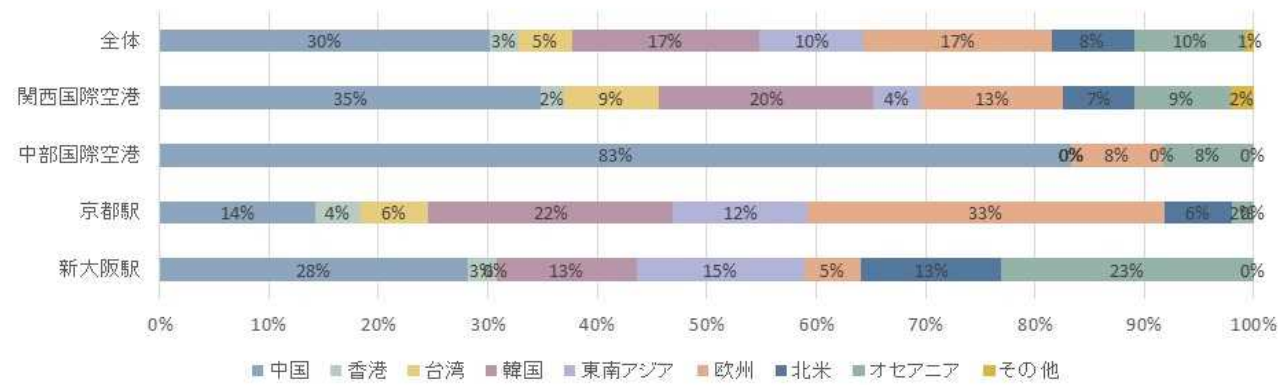
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(奈良県訪問者)

- 奈良県を訪問している回答者の国籍は、アジアが64%、欧州が17%、北米が8%、オセアニアが10%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	奈良訪問計
全体	44 30%	4 3%	7 5%	25 17%	14 10%	25 17%	11 8%	15 10%	1 1%	146 100%
関西国際空港	16 35%	1 2%	4 9%	9 20%	2 4%	6 13%	3 7%	4 9%	1 2%	46 100%
中部国際空港	10 83%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 8%	0 0%	1 8%	0 0%	12 100%
京都駅	7 14%	2 4%	3 6%	11 22%	6 12%	16 33%	3 6%	1 2%	0 0%	49 100%
新大阪駅	11 28%	1 3%	0 0%	5 13%	6 15%	2 5%	5 13%	9 23%	0 0%	39 100%



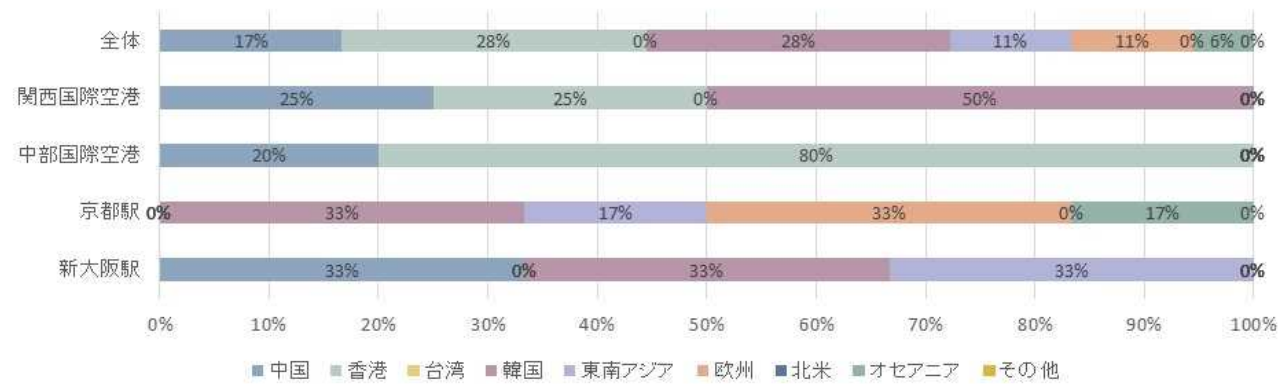
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(滋賀県訪問者)

- 滋賀県を訪問している回答者の国籍は、アジアが83%、欧州が11%、北米が0%、オセアニアが6%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	滋賀訪問計
全体	3 17%	5 28%	0 0%	5 28%	2 11%	2 11%	0 0%	1 6%	0 0%	18 100%
関西国際空港	1 25%	1 25%	0 0%	2 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%
中部国際空港	1 20%	4 80%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	5 100%
京都駅	0 0%	0 0%	0 0%	2 33%	1 17%	2 33%	0 0%	1 17%	0 0%	6 100%
新大阪駅	1 33%	0 0%	0 0%	1 33%	1 33%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 100%



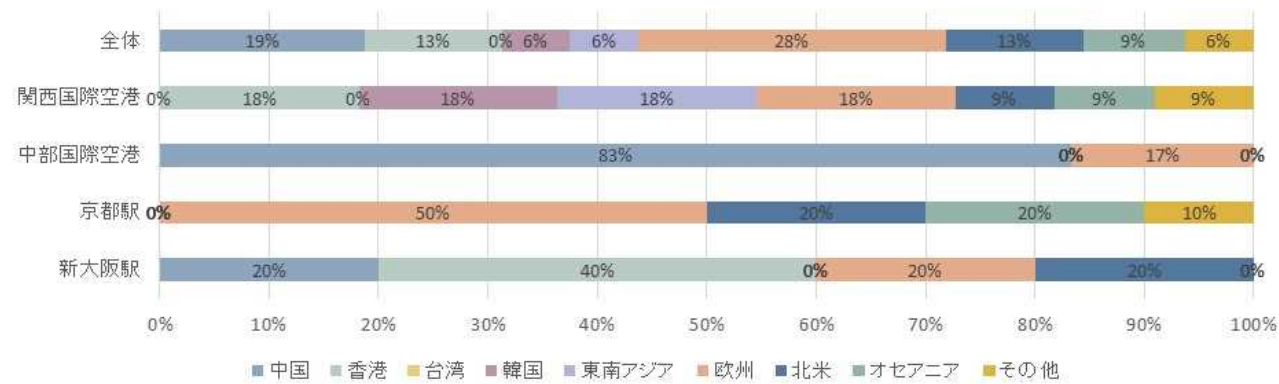
調査結果の概要

■ 国籍別の回答者属性(和歌山県訪問者)

- 和歌山県を訪問している回答者の国籍は、アジアが44%、欧州が28%、北米が13%、オセアニアが9%であった。

国籍別の回答者属性

	中国	香港	台湾	韓国	東南アジア	欧州	北米	オセアニア	その他	和歌山訪問計
全体	6 19%	4 13%	0 0%	2 6%	2 6%	9 28%	4 13%	3 9%	2 6%	32 100%
関西国際空港	0 0%	2 18%	0 0%	2 18%	2 18%	2 18%	1 9%	1 9%	1 9%	11 100%
中部国際空港	5 83%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 17%	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%
京都駅	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	5 50%	2 20%	2 20%	1 10%	10 100%
新大阪駅	1 20%	2 40%	0 0%	0 0%	0 0%	1 20%	1 20%	0 0%	0 0%	5 100%



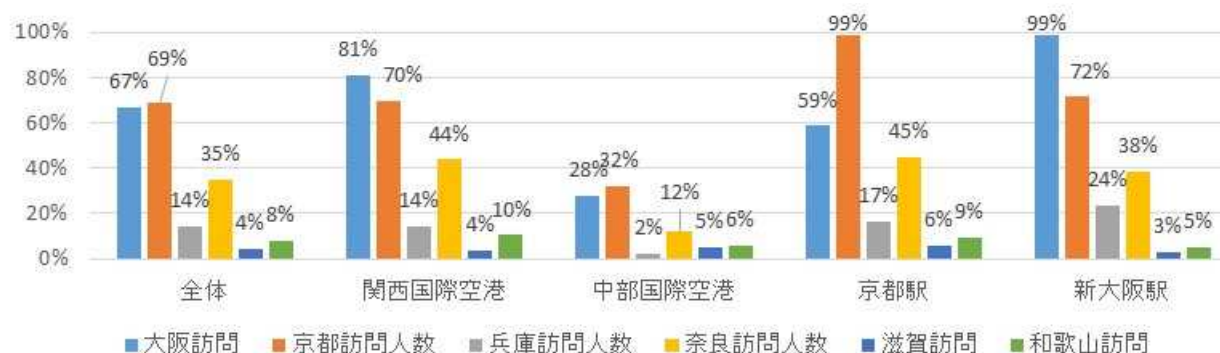
調査結果の概要

■ 府県別の訪問状況

- 府県別の訪問状況は、大阪府が67%、京都府が69%と7割近い訪問率であったが、兵庫県では14%、奈良県では35%、滋賀県では4%、和歌山県では8%と非常に厳しい結果となった。

府県別の訪問状況

	調査人数	大阪訪問	京都訪問人数	兵庫訪問人数	奈良訪問人数	滋賀訪問	和歌山訪問
全体	416	278 67%	286 69%	59 14%	146 35%	18 4%	32 8%
関西国際空港	105	85 81%	73 70%	15 14%	46 44%	4 4%	11 10%
中部国際空港	100	28 28%	32 32%	2 2%	12 12%	5 5%	6 6%
京都駅	109	64 59%	108 99%	18 17%	49 45%	6 6%	10 9%
新大阪駅	102	101 99%	73 72%	24 24%	39 38%	3 3%	5 5%



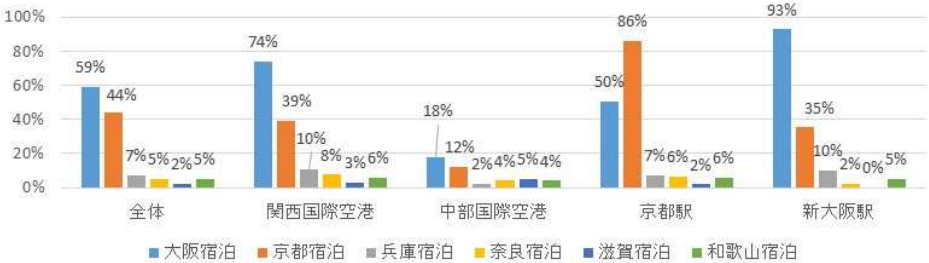
調査結果の概要

■ 府県別の宿泊状況

- 府県別の宿泊状況は、大阪府が59%、京都府が44%であったが、兵庫県が7%、奈良県が5%、滋賀県が2%、和歌山県が5%と1割未満に留まった。
- 訪問に対する宿泊の割合では、大阪府が88%、京都府が64%、兵庫県が53%、滋賀県が56%、和歌山県が66%となっており、訪問客の半数以上は同府県内に宿泊する傾向がある。一方で、奈良県だけは14%と落ち込んでおり、訪問から宿泊に繋げることが課題である。

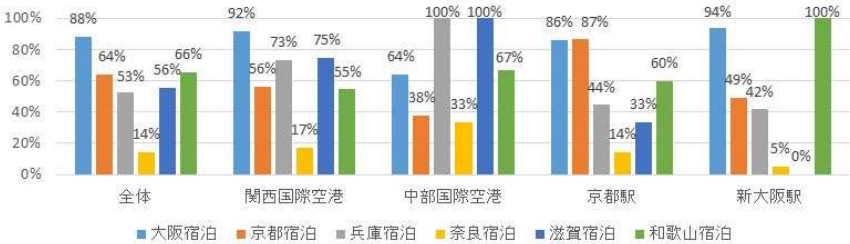
府県別の宿泊状況

	調査人数	大阪宿泊	京都宿泊	兵庫宿泊	奈良宿泊	滋賀宿泊	和歌山宿泊
全体	416	246 59%	183 44%	31 7%	21 5%	10 2%	21 5%
関西国際空港	105	78 74%	41 39%	11 10%	8 8%	3 3%	6 6%
中部国際空港	100	18 18%	12 12%	2 2%	4 4%	5 5%	4 4%
京都駅	109	55 50%	94 86%	8 7%	7 6%	2 2%	6 6%
新大阪駅	102	95 93%	36 35%	10 10%	2 2%	0 0%	5 5%



府県別の宿泊状況(訪問に対する宿泊の割合)

	大阪宿泊	京都宿泊	兵庫宿泊	奈良宿泊	滋賀宿泊	和歌山宿泊
全体	88%	64%	53%	14%	56%	66%
関西国際空港	92%	56%	73%	17%	75%	55%
中部国際空港	64%	38%	100%	33%	100%	67%
京都駅	86%	87%	44%	14%	33%	60%
新大阪駅	94%	49%	42%	5%	0%	100%



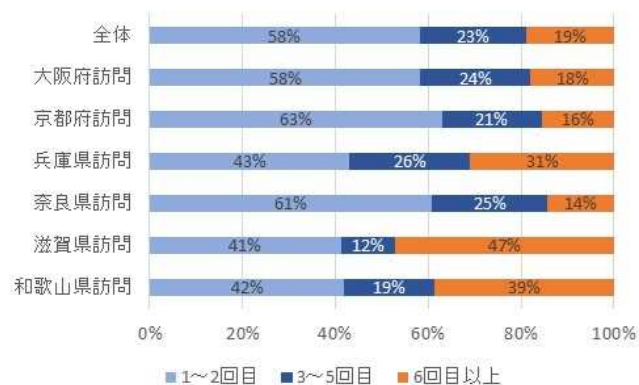
調査結果の概要

■ 府県別の訪日回数

- 府県別の訪日回数は、全体的に1～2回目的人が多いが、訪問人数の少ない県では6回目以上の割合が高いことから、リピーターは新たな訪問地を開拓する傾向が強いと考えられる。
- 関西への訪問回数も同様に、兵庫県、滋賀県、和歌山県では6回目以上の割合が10%を超える結果となった。

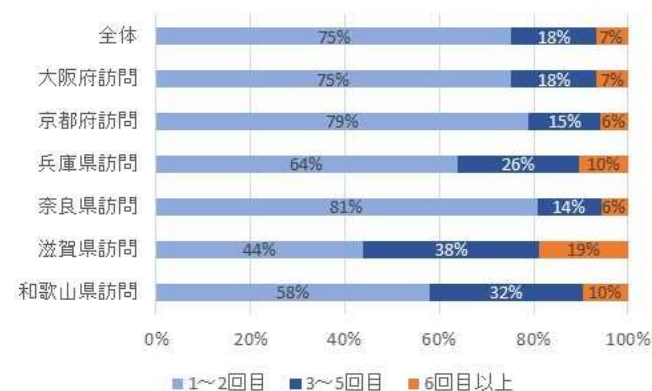
府県別の訪日回数

	全体	1～2回目	3～5回目	6回目以上
全体	792 100%	461 58%	181 23%	150 19%
大阪府訪問	271 100%	158 58%	64 24%	49 18%
京都府訪問	275 100%	173 63%	59 21%	43 16%
兵庫県訪問	58 100%	25 43%	15 26%	18 31%
奈良県訪問	140 100%	85 61%	35 25%	20 14%
滋賀県訪問	17 100%	7 41%	2 12%	8 47%
和歌山県訪問	31 100%	13 42%	6 19%	12 39%



府県別の関西への訪問回数

	全体	1～2回目	3～5回目	6回目以上
全体	788 100%	593 75%	141 18%	54 7%
大阪府訪問	269 100%	202 75%	49 18%	18 7%
京都府訪問	274 100%	216 79%	42 15%	16 6%
兵庫県訪問	58 100%	37 64%	15 26%	6 10%
奈良県訪問	140 100%	113 81%	19 14%	8 6%
滋賀県訪問	16 100%	7 44%	6 38%	3 19%
和歌山県訪問	31 100%	18 58%	10 32%	3 10%



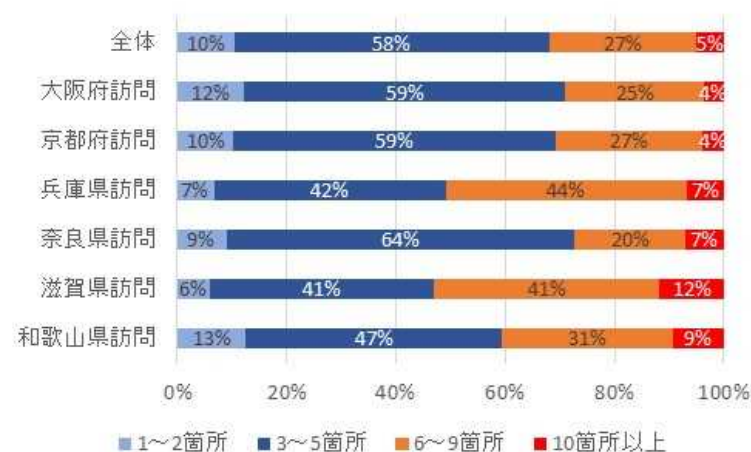
調査結果の概要

■ 府県別の訪問箇所数

- 訪問箇所数を5箇所以内と6箇所以上で分類すると、全体の68%が5箇所以内の訪問であり、6箇所以上の訪問は32%となっている。
- 府県別の訪問箇所数でも同様に5箇所以内と6箇所以上で分類すると、大阪府を訪問した人のうち71%、京都府を訪問した人のうち69%、奈良県を訪問した人のうち73%は5箇所以内しか訪問していない。これに対し、6箇所以上を訪問した人が、兵庫県では51%、滋賀県では53%、和歌山県では40%となっており、周遊箇所数が多いのは後者の3県となっている。

府県別の訪問箇所数

	全体	1～2箇所	3～5箇所	6～9箇所	10箇所以上
全体	805	84	464	217	40
	100%	10%	58%	27%	5%
大阪府訪問	272	33	160	69	10
	100%	12%	59%	25%	4%
京都府訪問	282	29	166	76	11
	100%	10%	59%	27%	4%
兵庫県訪問	59	4	25	26	4
	100%	7%	42%	44%	7%
奈良県訪問	143	13	91	29	10
	100%	9%	64%	20%	7%
滋賀県訪問	17	1	7	7	2
	100%	6%	41%	41%	12%
和歌山県訪問	32	4	15	10	3
	100%	13%	47%	31%	9%



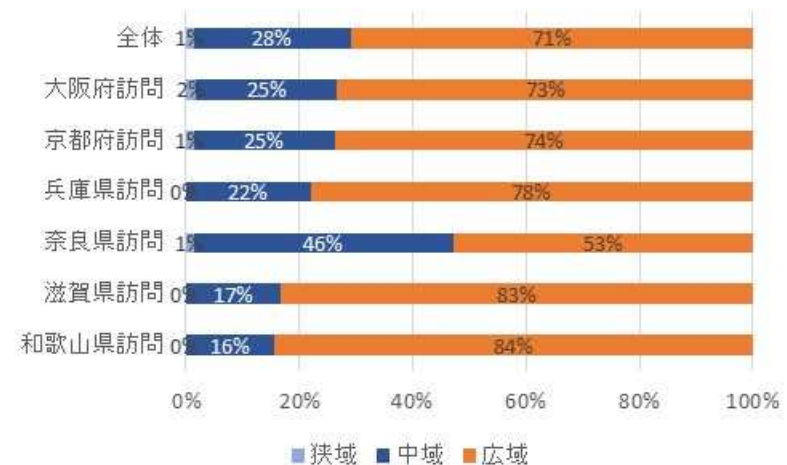
調査結果の概要

■ 府県別の周遊パターン

- 周遊パターンを狭域、中域、広域に分類すると、全体でも府県別でも広域に周遊している人が7割を超える結果となったが、奈良県だけは中域(大阪駅または京都駅から概ね1時間以内のエリアでの周遊)の割合が46%と非常に高くなっている。

国籍別の周遊パターン

	全体	狭域	中域	広域
全体	819 100%	11 1%	228 28%	580 71%
大阪府訪問	278 100%	5 2%	69 25%	204 73%
京都府訪問	286 100%	4 1%	71 25%	211 74%
兵庫県訪問	59 100%	0 0%	13 22%	46 78%
奈良県訪問	146 100%	2 1%	67 46%	77 53%
滋賀県訪問	18 100%	0 0%	3 17%	15 83%
和歌山県訪問	32 100%	0 0%	5 16%	27 84%



※周遊パターンは関西内の訪問地によって分類。訪問地は以下の定義に基づいて分類。

狭域: 大阪市周辺エリア、関空周辺エリア、中間エリア(大阪・関空・京都の間に位置する市町)、京都市エリアのみ

中域: 狭域を除き、大阪駅または京都駅から概ね1時間以内に位置する市町

広域: 狭域・中域以外

5. 調査地点別調査結果分析

① 関空国際空港調査

基礎情報

調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 調査方法

- 調査員(4名)による訪日外国人に対する対面ヒアリング調査

■ 調査地点

- 関西国際空港周辺

■ 調査期間

- 2018年12月14日(金) 9時～18時

■ 有効回収数

- 105名

調査結果の概要

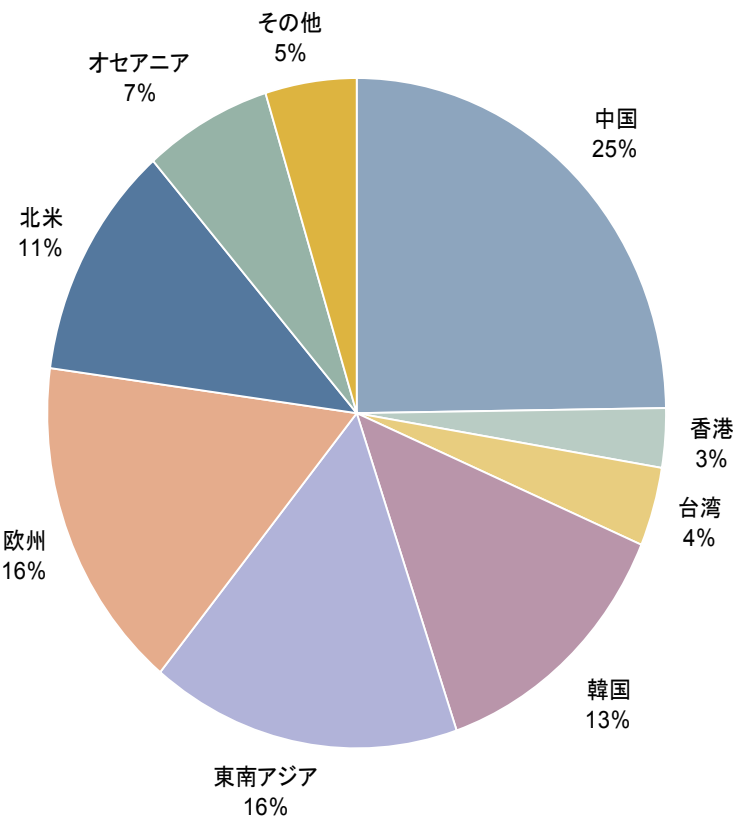
関西国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性

- アジアが61%、欧州17%、北米が12%、オセアニアが7%であった。

国籍別の回答者属性

	人数（人）	割合（％）
全体	105	100
中国	26	25
香港	3	3
台湾	4	4
韓国	14	13
東南アジア	17	16
欧州	17	16
北米	12	11
オセアニア	7	7
その他	5	5



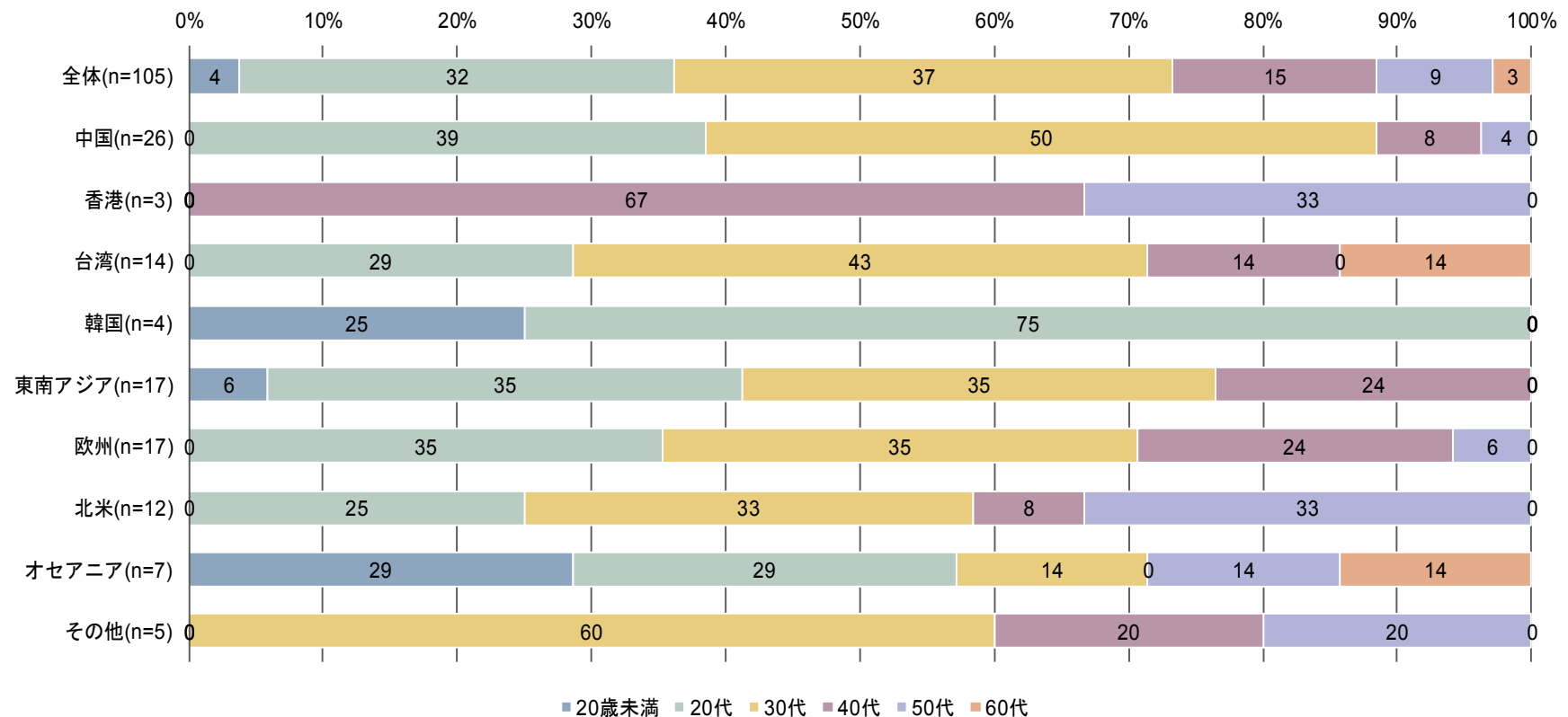
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性(年齢)

- 20代、30代が多いが、韓国やオセアニアでは20歳未満が一定数みられた。また、北米やオセアニアでは50代以上の旅行者も一定数みられた。

国籍別の回答者属性(年齢)



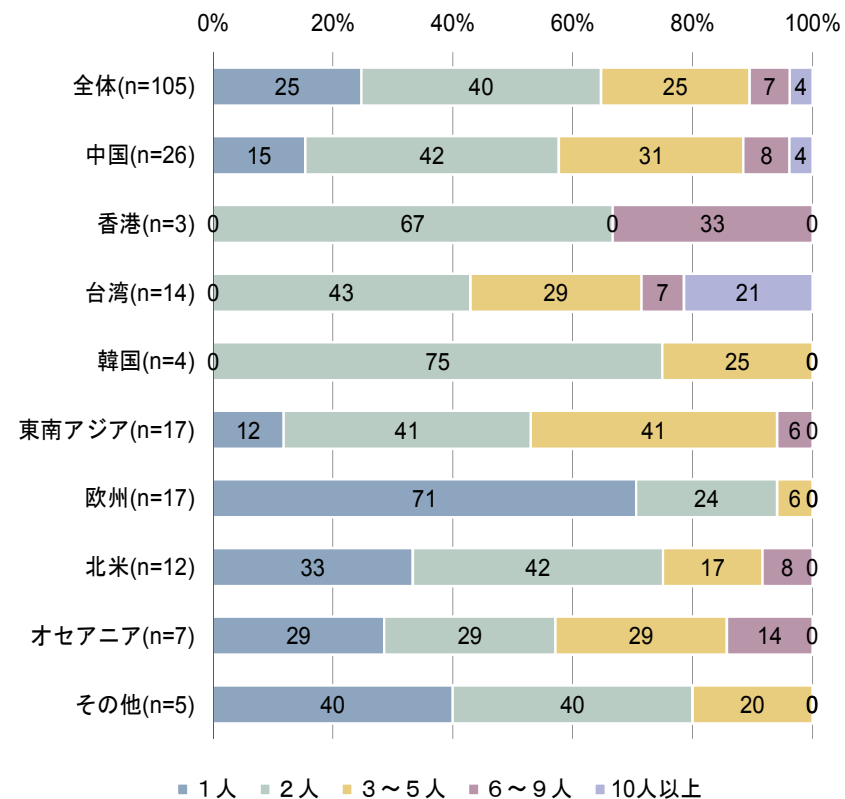
調査結果の概要

関西国際空港調査

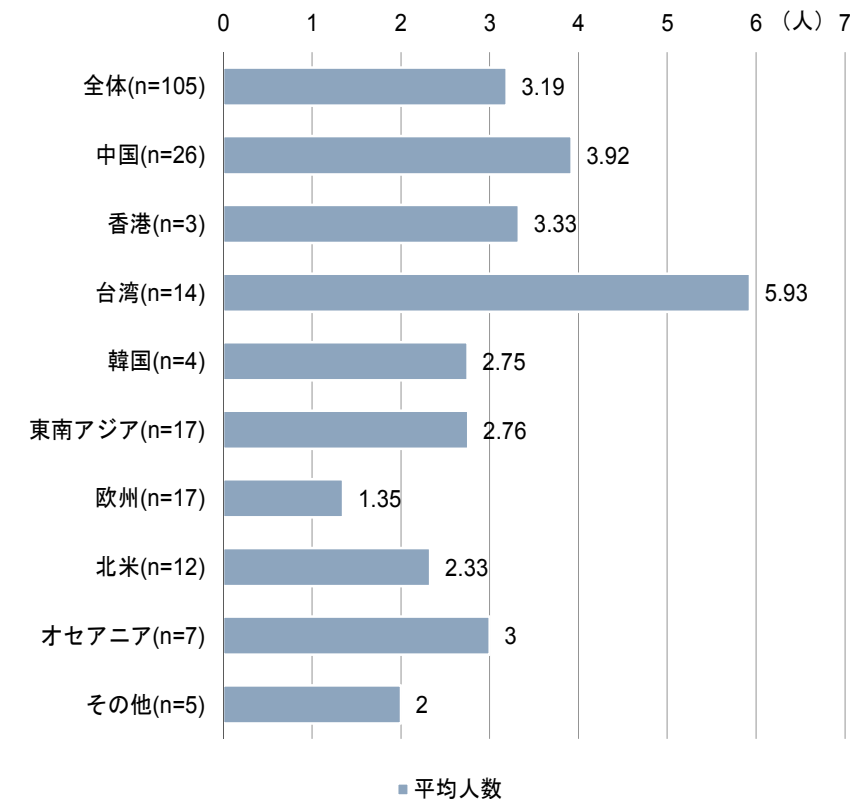
■ 国籍別の回答者属性(同行人数)

- 台湾は同行人数が10人以上の旅行者がみられた。また、欧米豪は1人旅行が多く、特に欧州では71%が1人旅行であった。

国籍別の回答者属性(同行人数)



国籍別の回答者属性(平均同行人数)



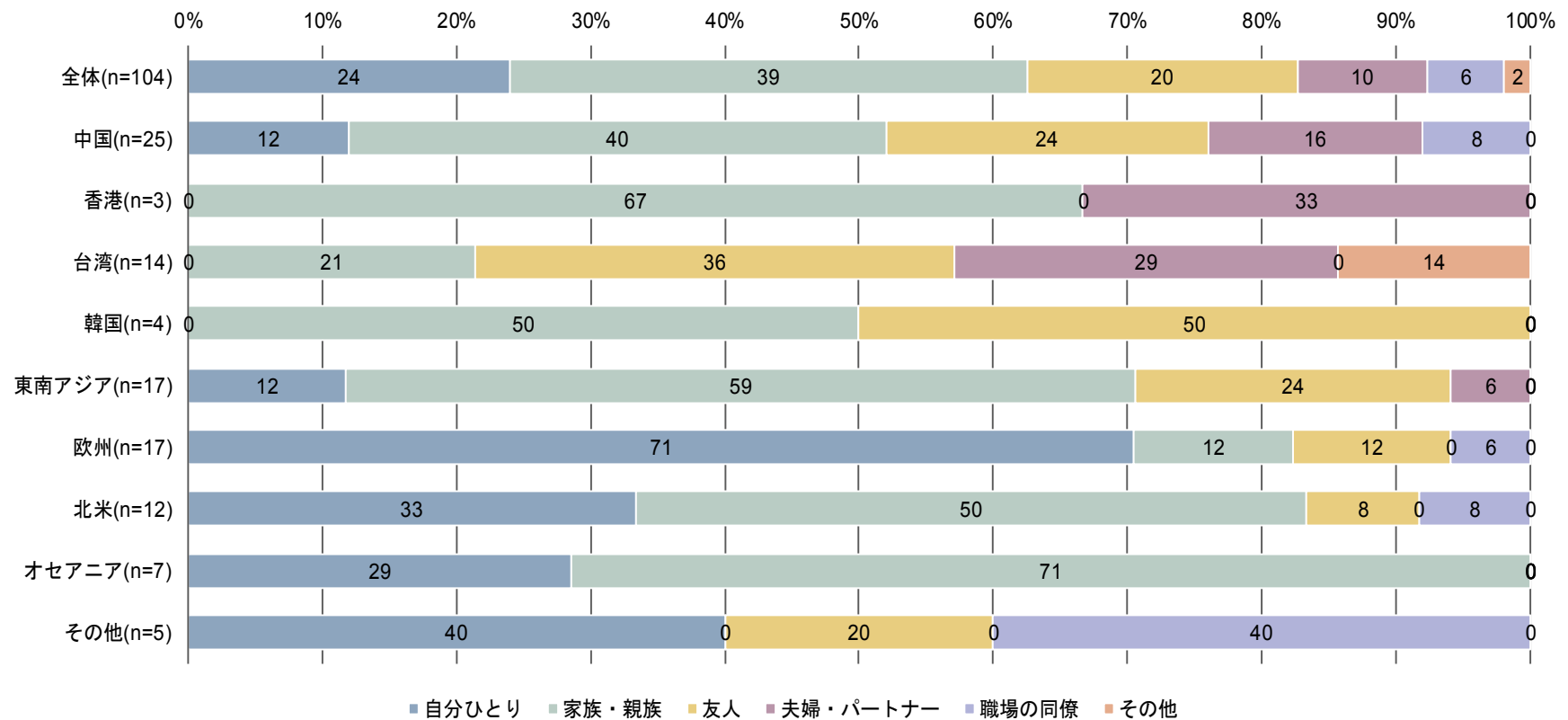
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性(同行者)

- アジアに比べ、欧米豪は1人旅行が多い。アジアは欧米に比べて友人同士の旅行者の割合が高い。

国籍別の回答者属性(同行者)



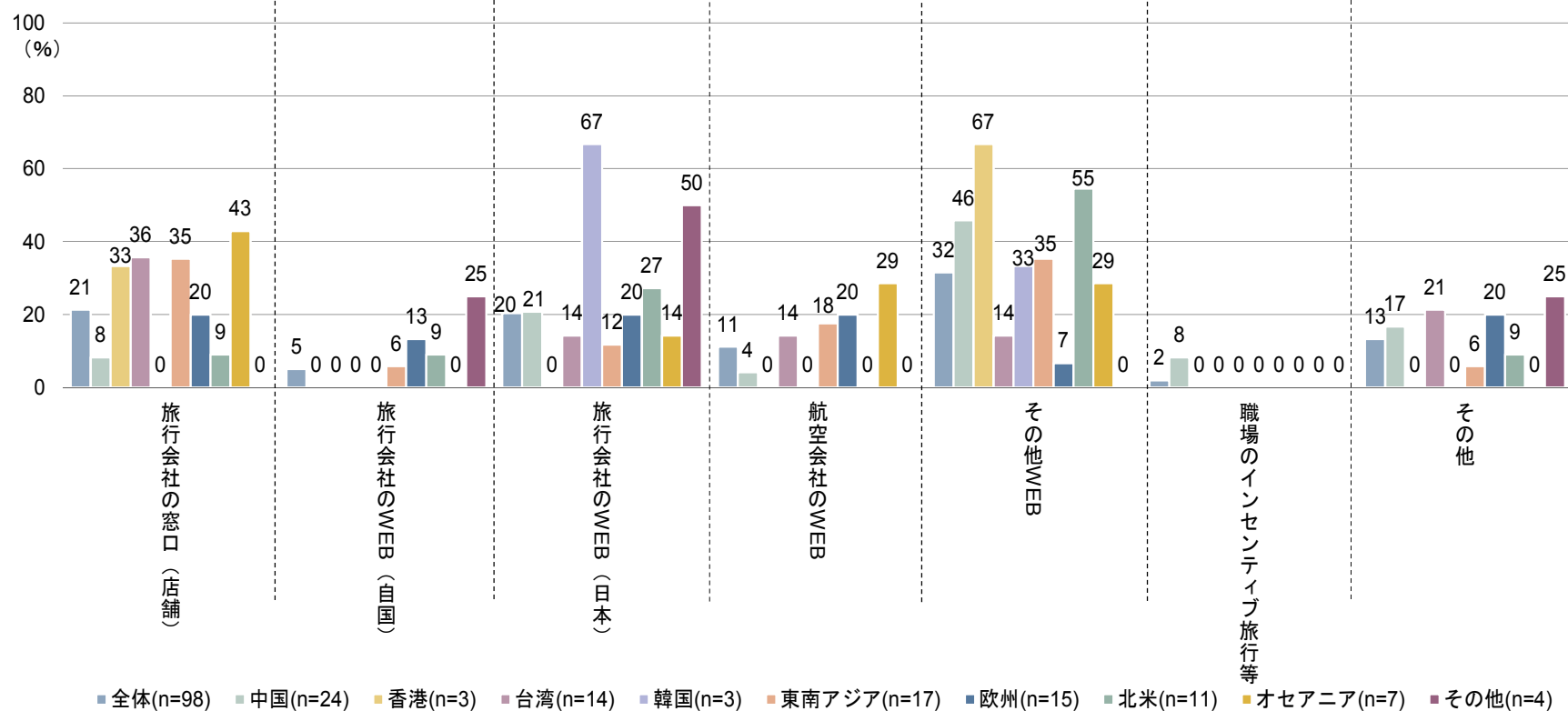
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の旅行手配手段

- Booking.com等のその他WEBの利用者が多いが、オセアニアでは旅行会社の窓口での手配も多く、韓国では日本の旅行会社のWEB経由での手配もみられる。

国籍別の旅行手配手段



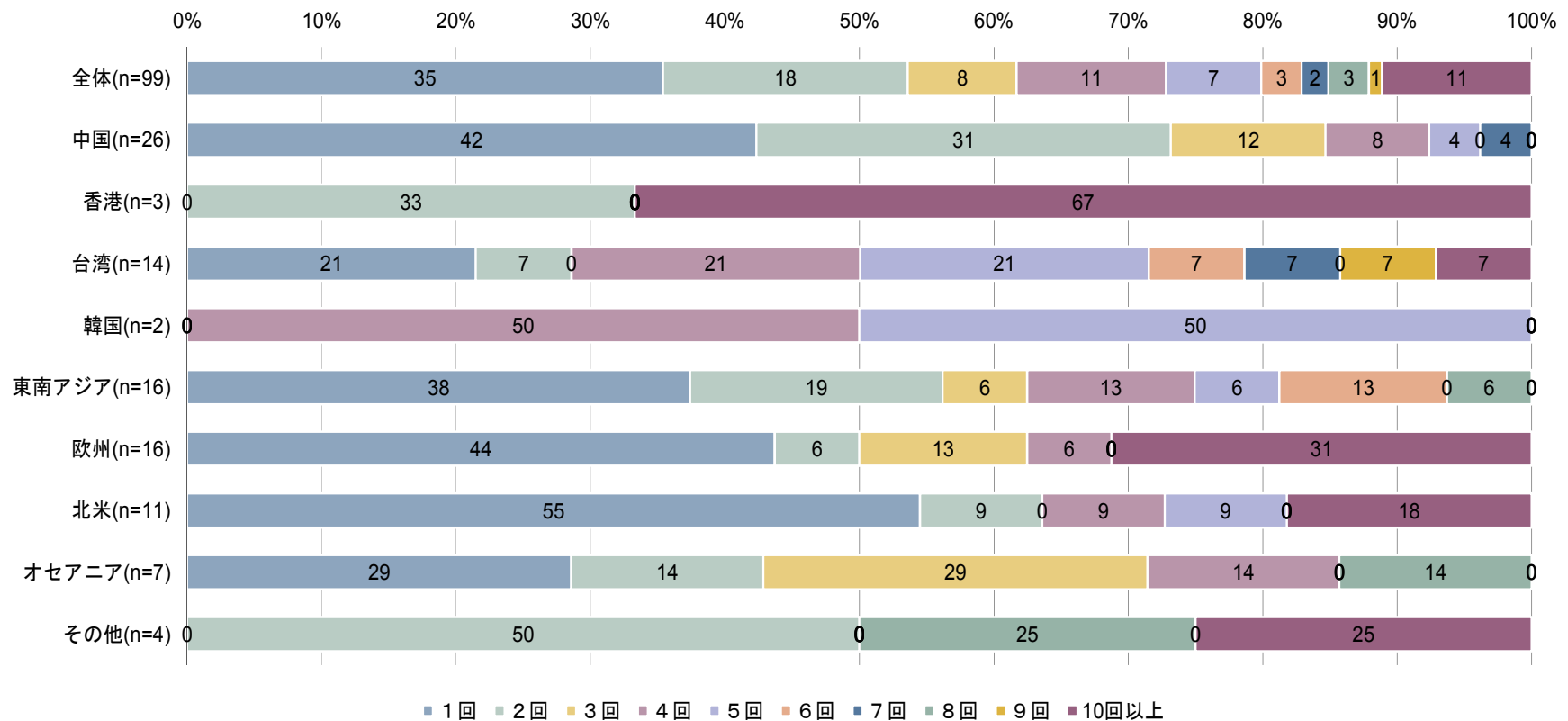
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の訪日回数

- 中国、東南アジア、欧米豪で初訪日の割合が高いが、欧州や北米については訪日10回以上のヘビーリピーターも一定数みられる。

国籍別の訪日回数

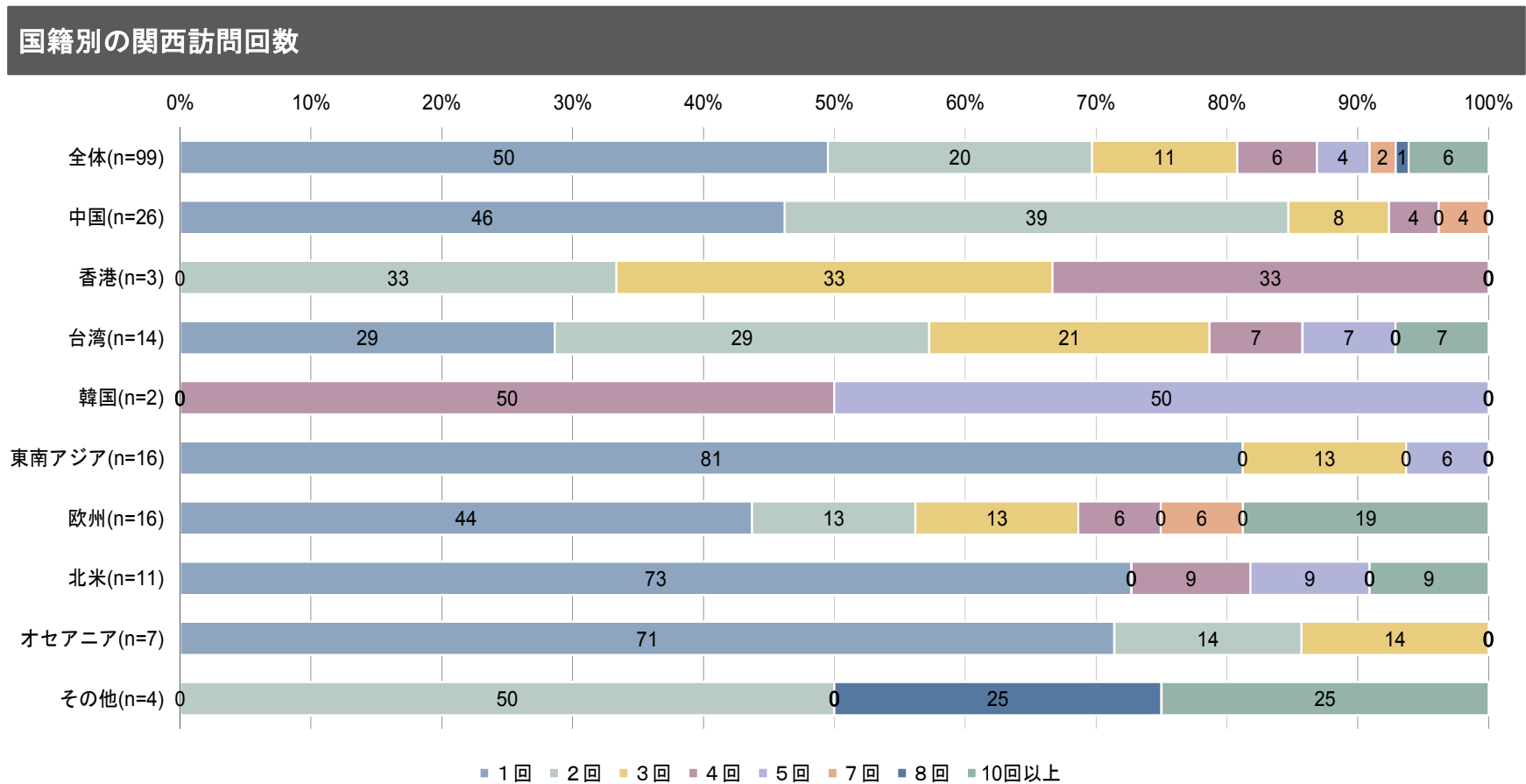


調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の関西訪問回数

- 欧州は訪日回数に比べ、関西を訪問している回数が多。



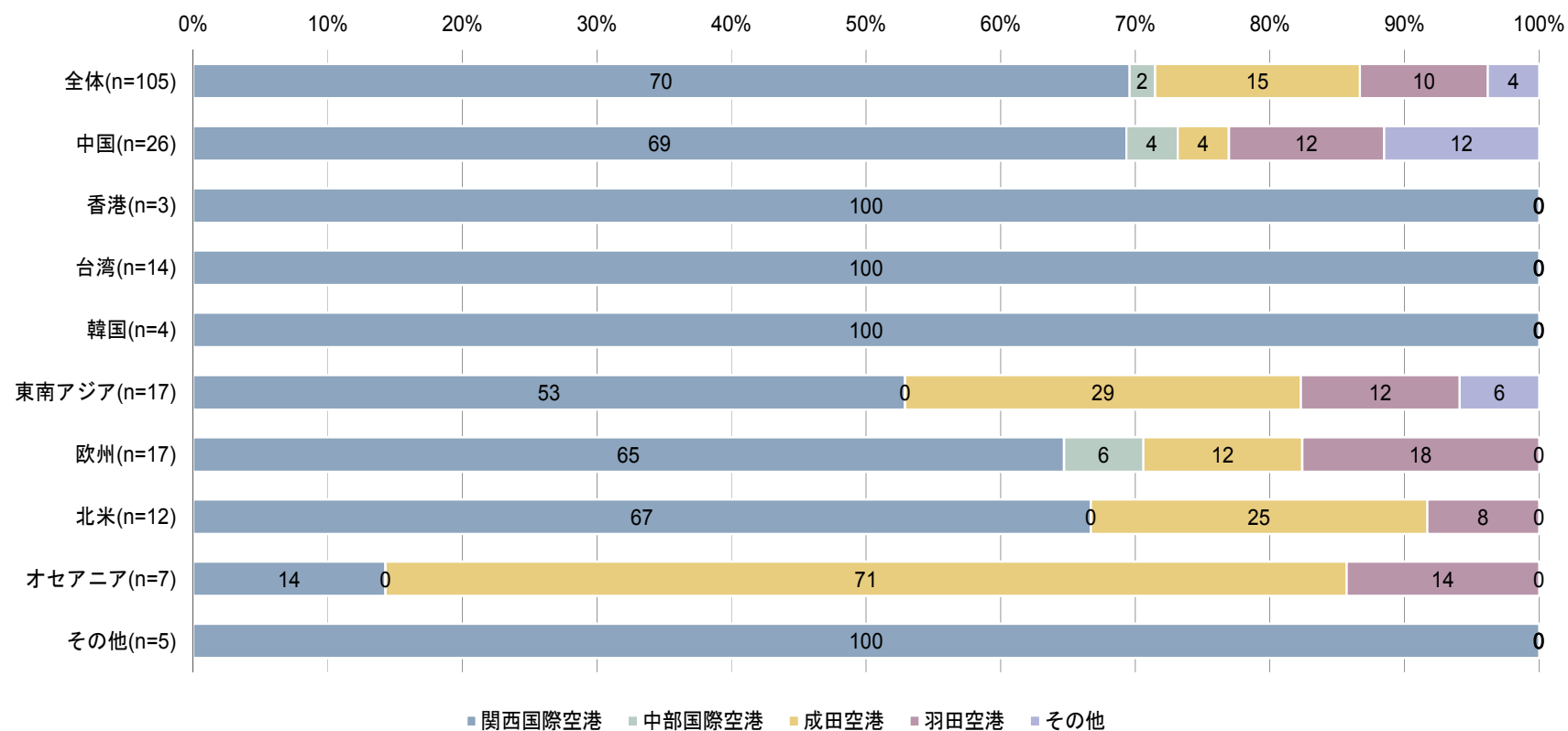
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 東南アジア、欧米豪で成田や羽田入国者がみられる。特にオセアニアでは71%が成田入国である。

国籍別の入国空港



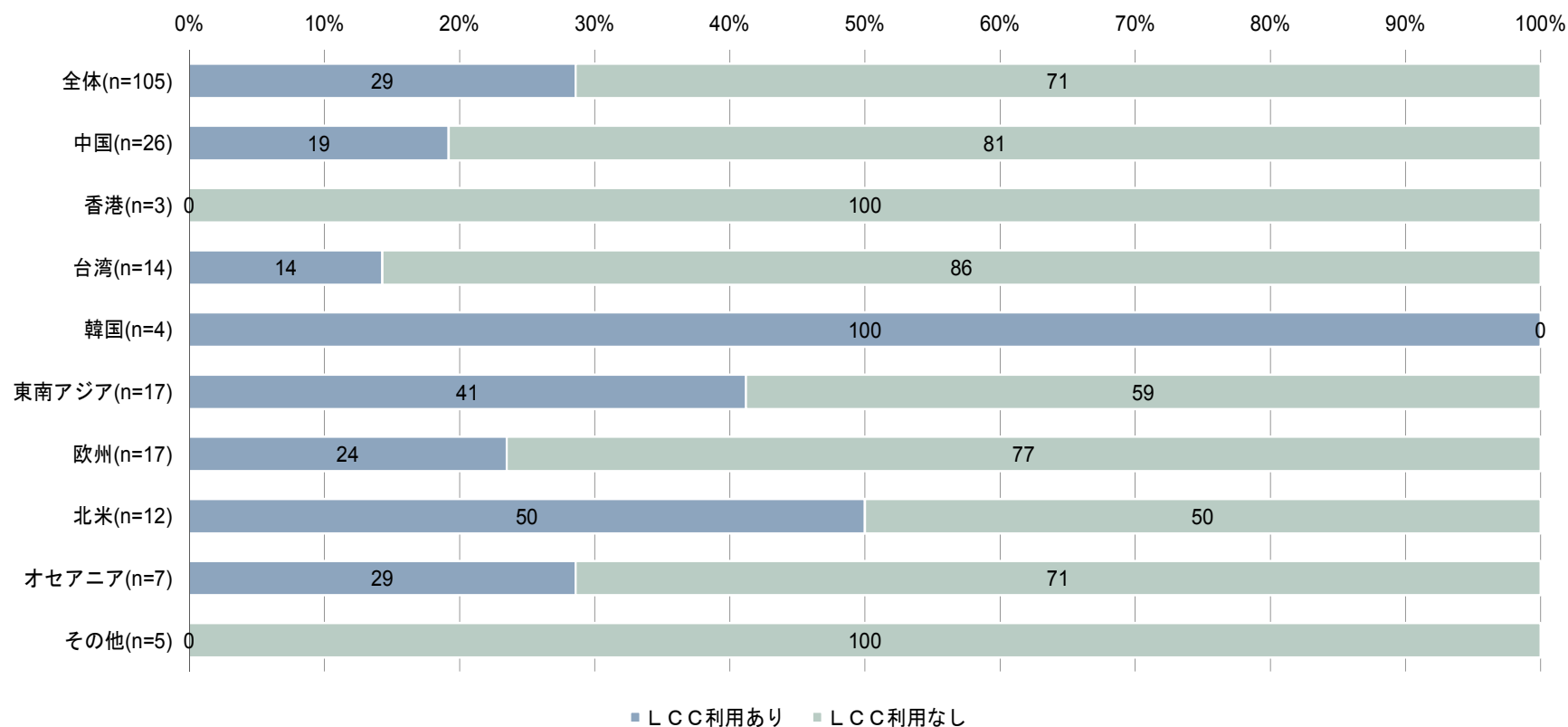
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 韓国や東南アジア、北米のLCC利用率が高い。逆に中国、香港、台湾では利用率が低い。

国籍別のLCC利用の有無

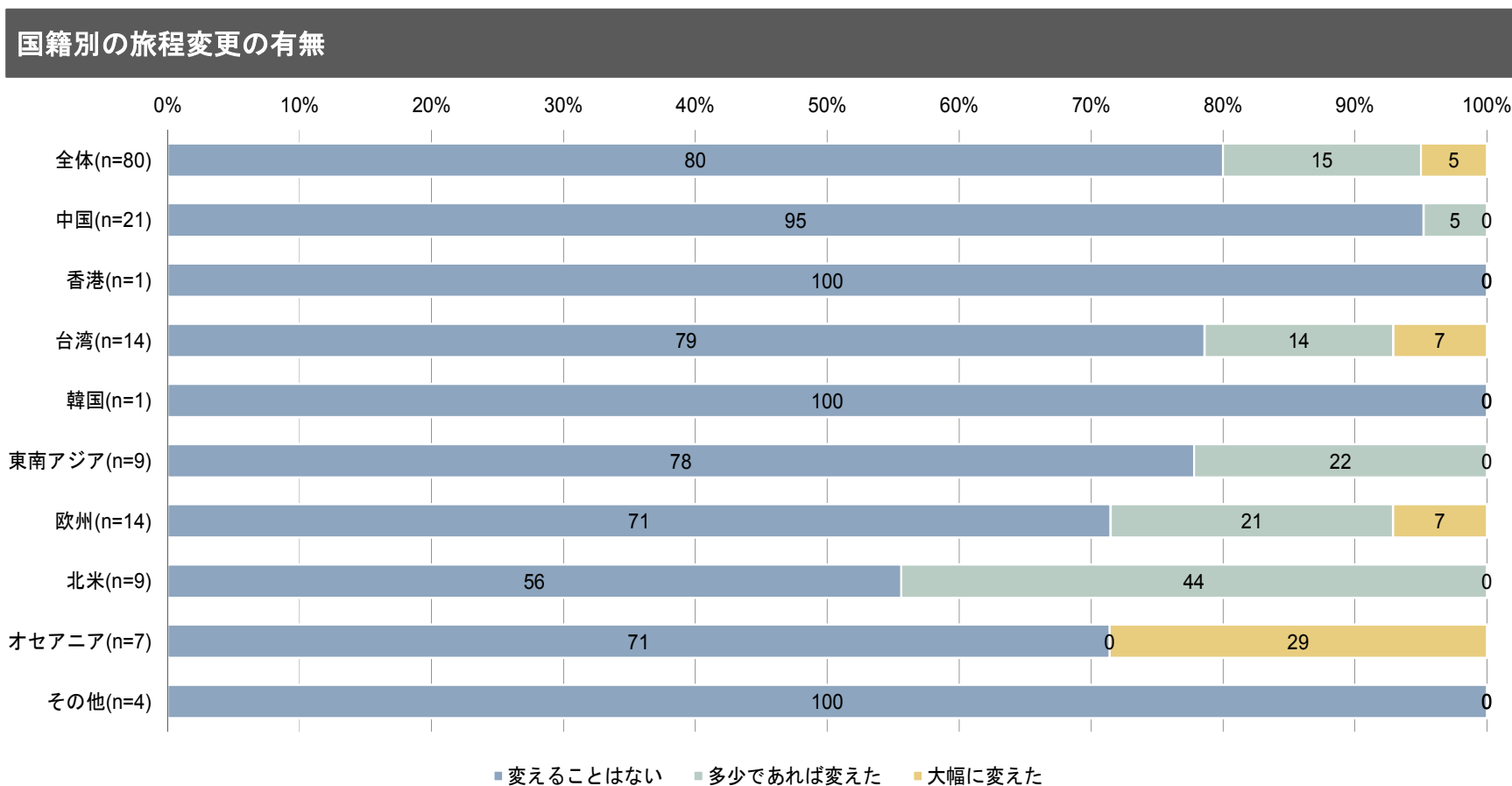


調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 欧米豪がアジアより旅程を変えており、特にオセアニアでは29%が旅程を大幅に変えている。



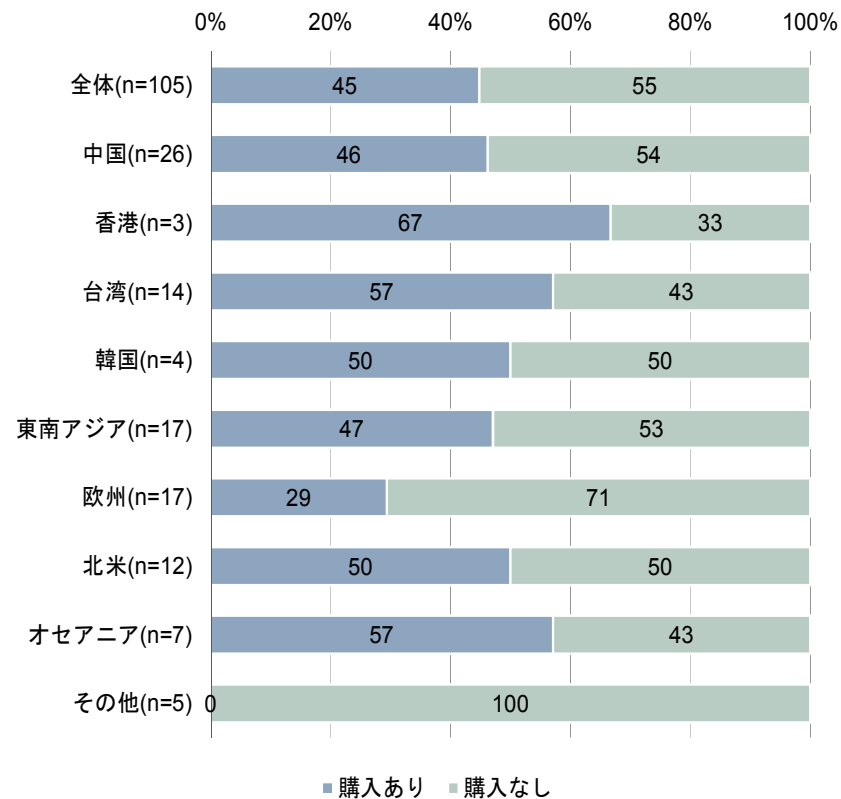
調査結果の概要

関西国際空港調査

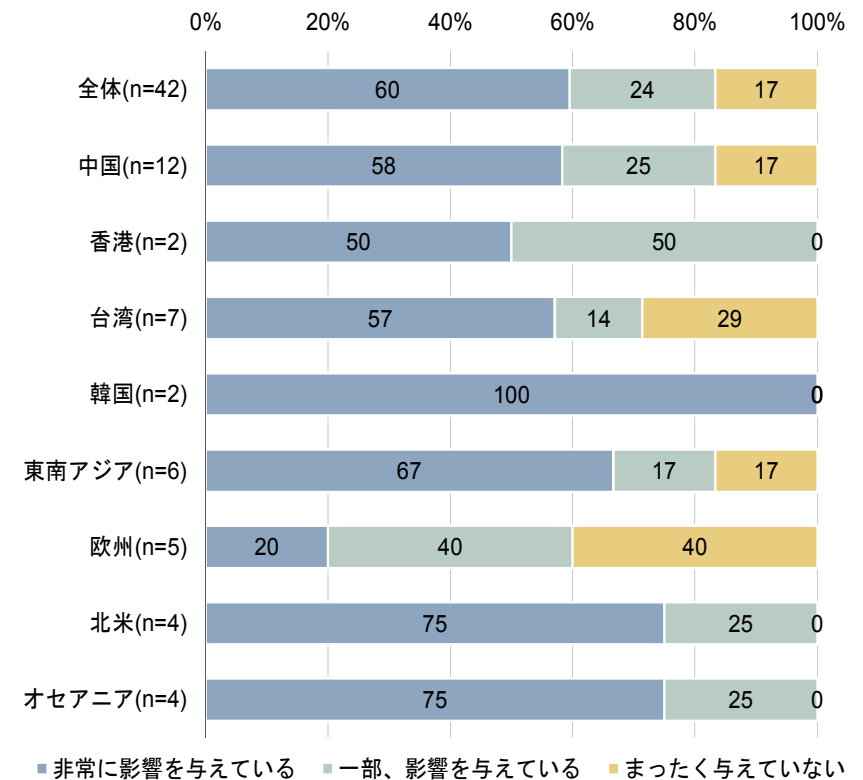
■ 国籍別の旅程

- 中国、欧州以外は過半数がパスを購入している。また、欧州以外は旅行範囲にパスが非常に影響を与えている旅行者の割合が高い。

国籍別のパス購入の有無



国籍別のパスの影響の有無



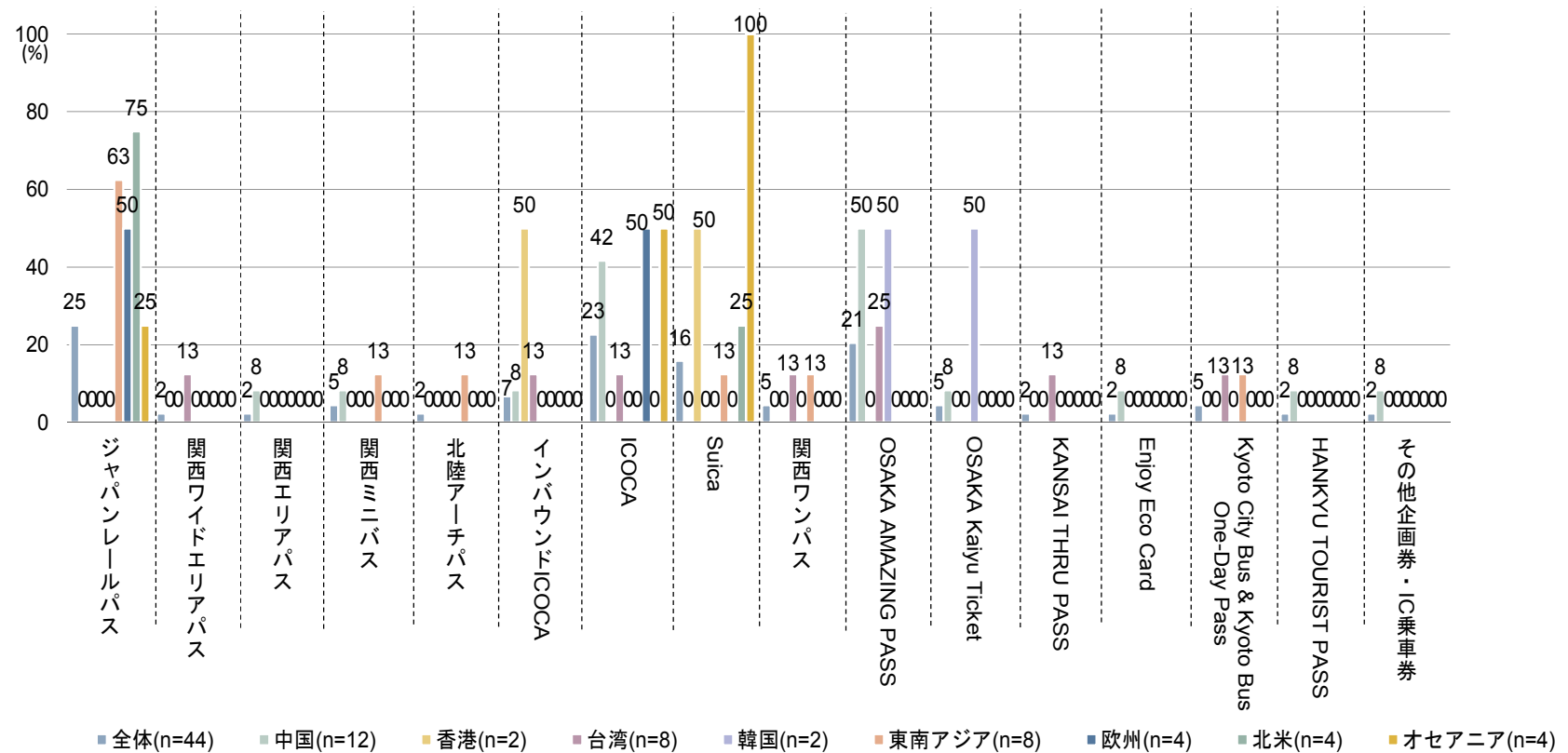
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の購入した旅券種別

- パスとしてはジャパンレールパスの購入率が高い。

国籍別の購入した旅券の種類



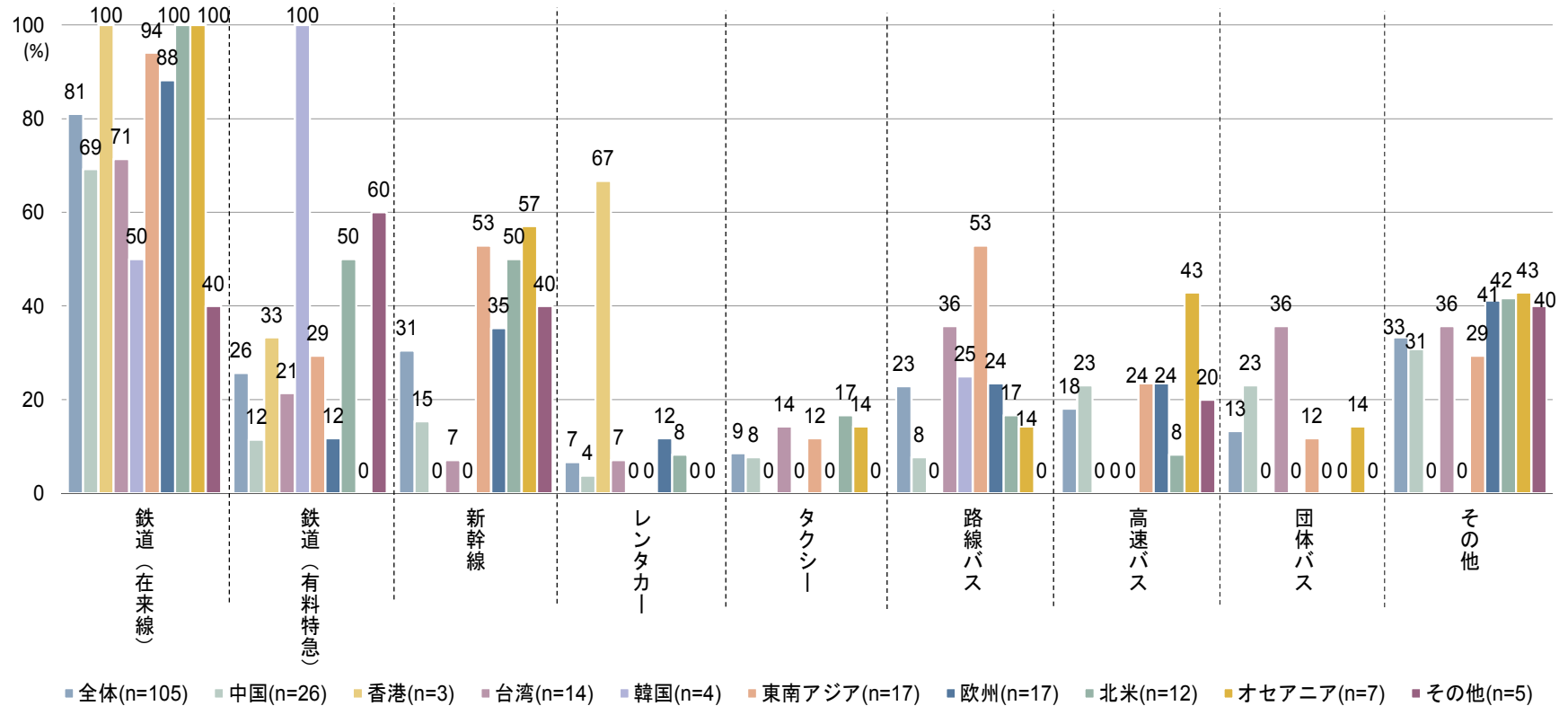
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の交通手段

- 他国籍より香港でレンタカー利用率が高く、台湾では団体バス利用比率が高い。また、オセアニアでは高速バスの利用比率が高い。

国籍別の交通手段

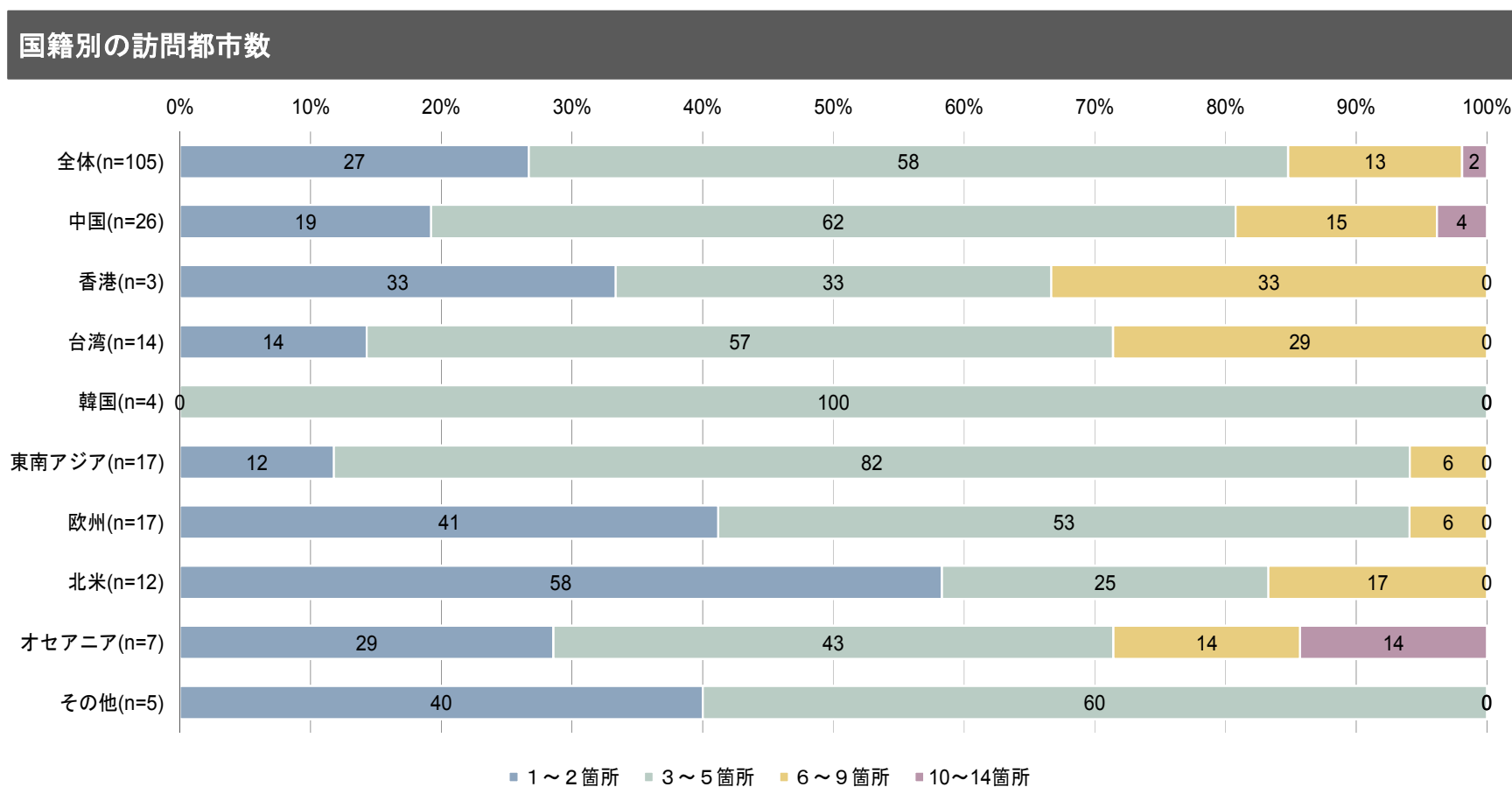


調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の訪問都市数

- 香港、台湾、オセアニアの訪問都市数が多い。



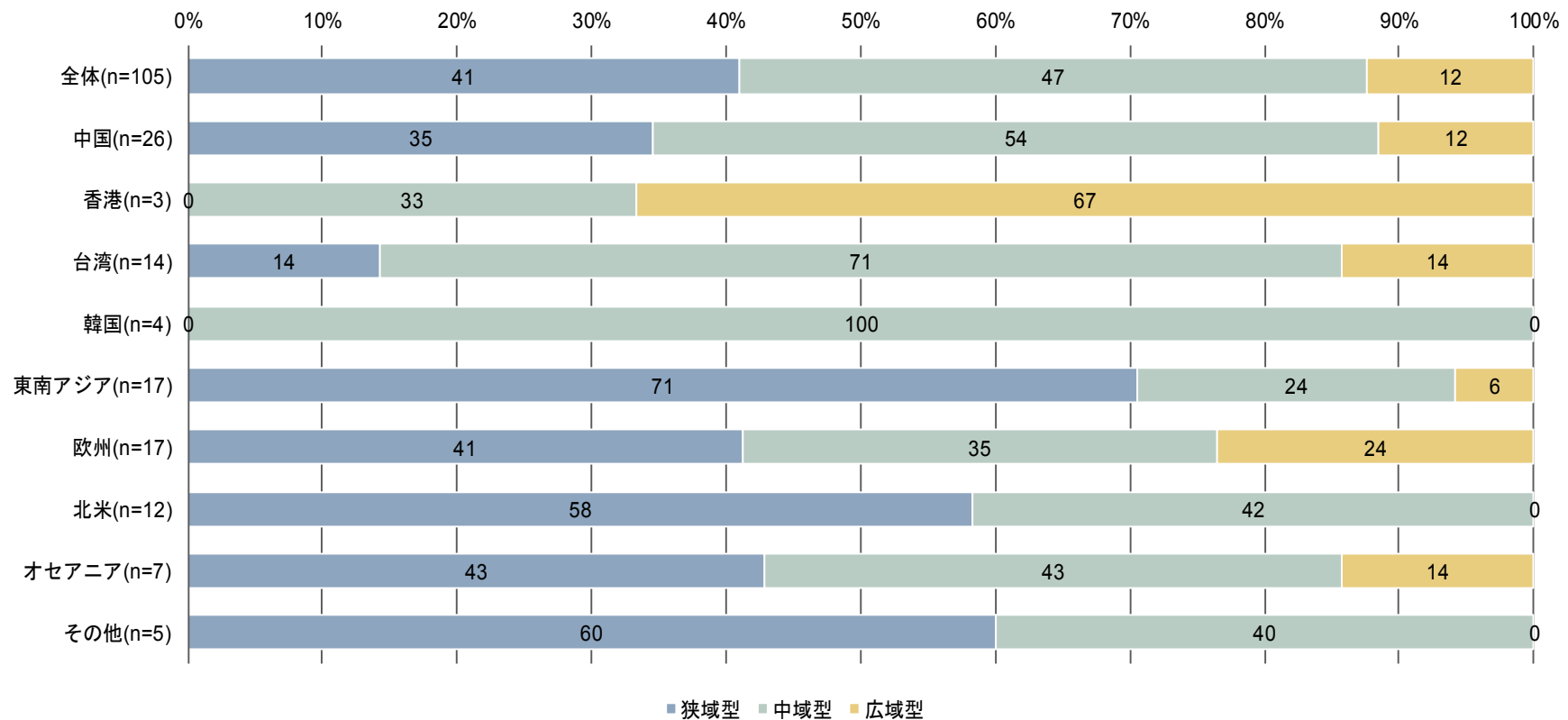
調査結果の概要

関西国際空港調査

■ 国籍別の周遊パターン

- 比較的関西内を広域に周遊する傾向にある国籍は、香港、欧州である。

国籍別の周遊パターン



※周遊パターンは関西内の訪問地によって分類。訪問地は以下の定義に基づいて分類。

狭域: 大阪市周辺エリア、関空周辺エリア、中間エリア(大阪・関空・京都の間に位置する市町)、京都市エリアのみ

中域: 狭域を除き、大阪駅または京都駅から概ね1時間以内に位置する市町

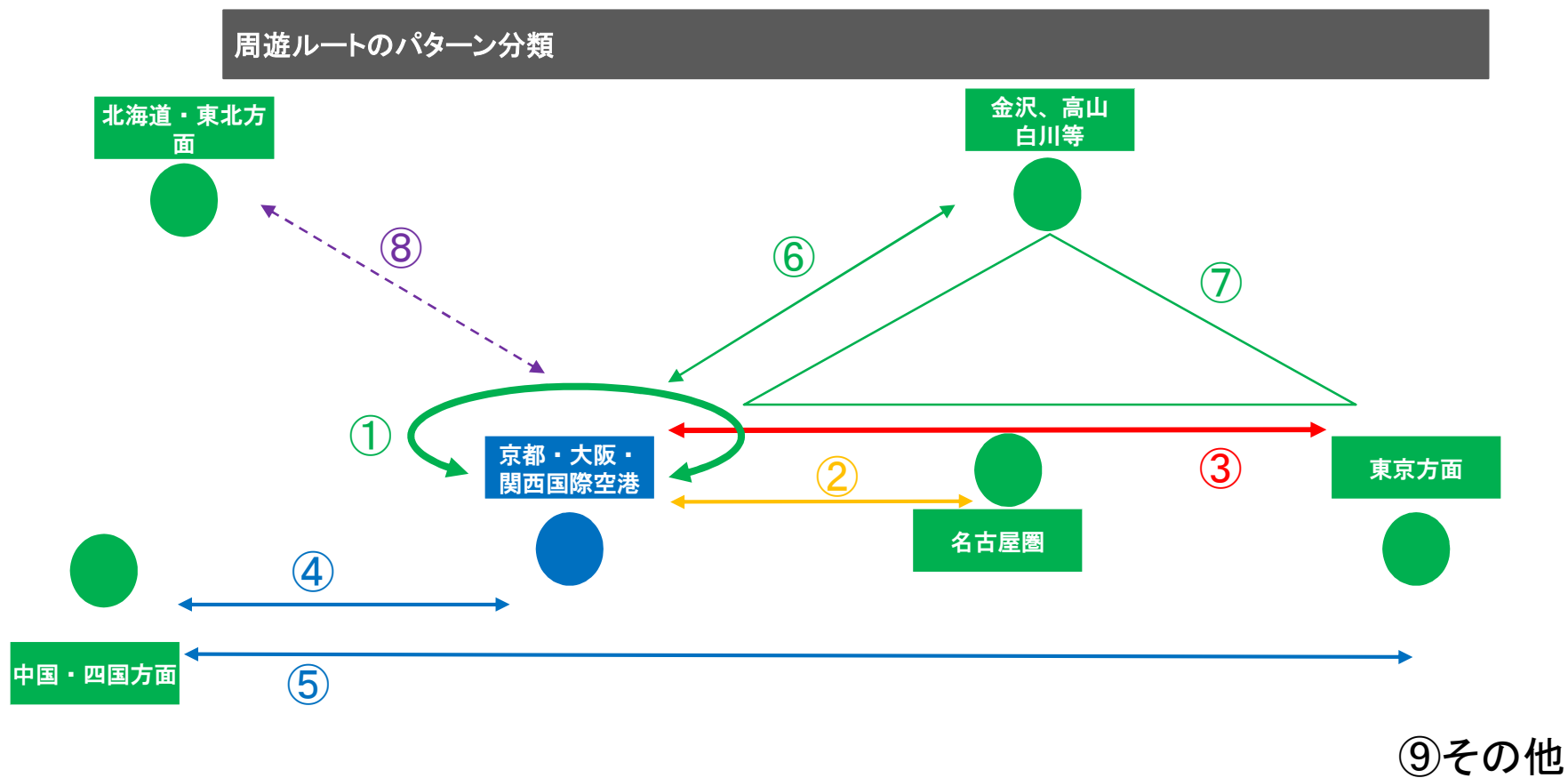
広域: 狭域・中域以外

観光のパターン分類

関西国際空港調査

■ 分類

- 周遊ルートの結果から以下のパターンに分類した。



観光のパターン分類

関西国際空港調査

- 周遊ルートの結果から以下のパターンに分類した。

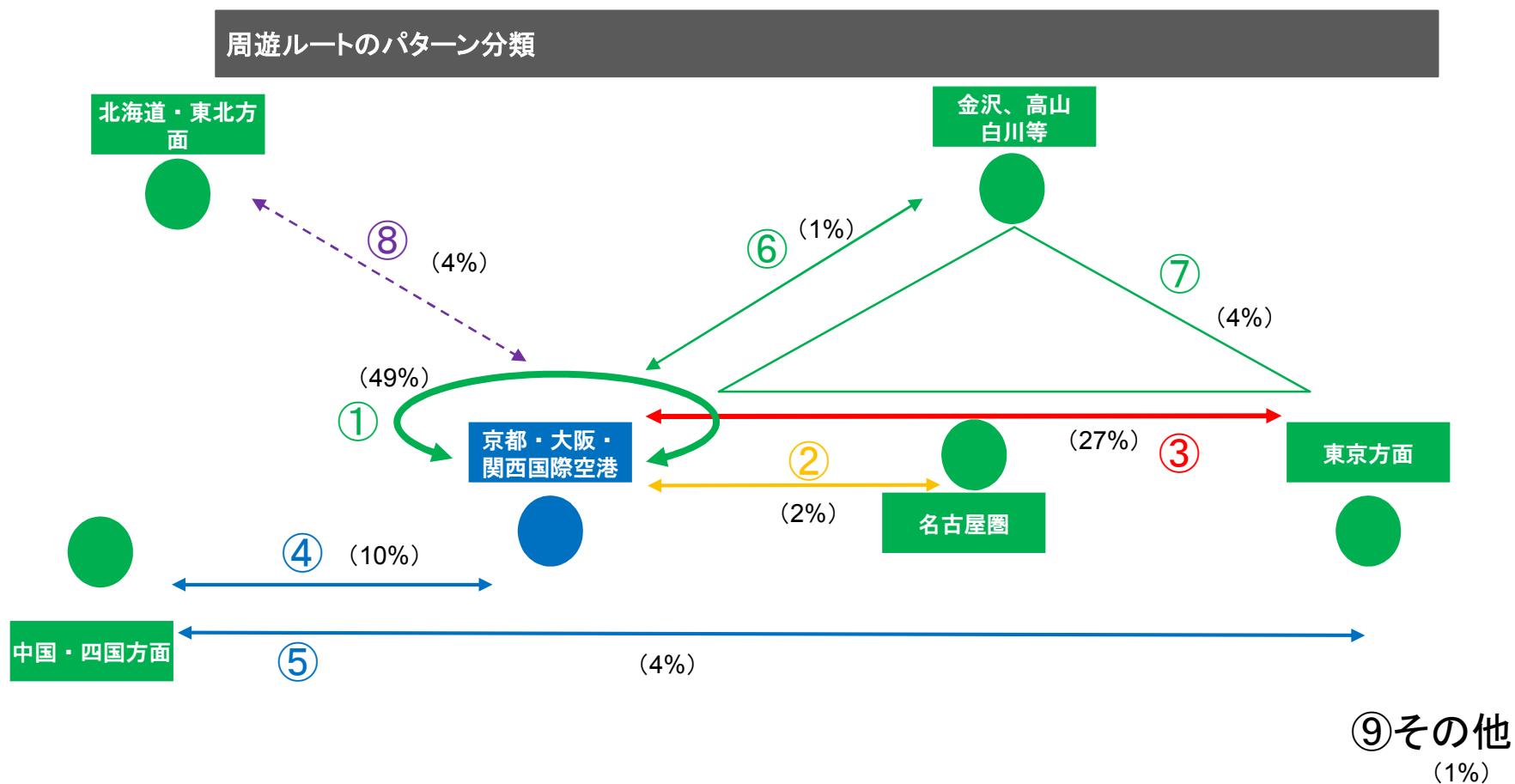
周遊ルートのパターン分類

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	全体	関西のみ	関西+名古屋圏	関西+東京圏	関西+中国・四国・九州	関西+中四国九州+東京圏	関西+北陸圏	関西+北陸+東京圏	関西+東北・北海道	その他
全体(n=105)	105	51	2	28	10	4	1	4	4	1
	100.0	48.6	1.9	26.7	9.5	3.8	1.0	3.8	3.8	1.0
中国(n=26)	26	13	1	8	1	0	0	0	3	0
	100.0	50.0	3.8	30.8	3.8	-	-	-	11.5	-
香港(n=3)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
台湾(n=14)	14	11	0	0	2	0	0	0	1	0
	100.0	78.6	-	-	14.3	-	-	-	7.1	-
韓国(n=4)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
東南アジア(n=17)	17	4	0	6	2	0	1	3	0	1
	100.0	23.5	-	35.3	11.8	-	5.9	17.6	-	5.9
欧州(n=17)	17	9	1	3	2	2	0	0	0	0
	100.0	52.9	5.9	17.6	11.8	11.8	-	-	-	-
北米(n=12)	12	4	0	7	0	0	0	1	0	0
	100.0	33.3	-	58.3	-	-	-	8.3	-	-
オセアニア(n=7)	7	1	0	4	0	2	0	0	0	0
	100.0	14.3	-	57.1	-	28.6	-	-	-	-
その他(n=5)	5	2	0	0	3	0	0	0	0	0
	100.0	40.0	-	-	60.0	-	-	-	-	-

観光のパターン分類 全体(n=105)

関西国際空港調査

- 最も多いのは①関西のみ(49%)、③東京・関西(27%)、④中国四国・関西(10%)。

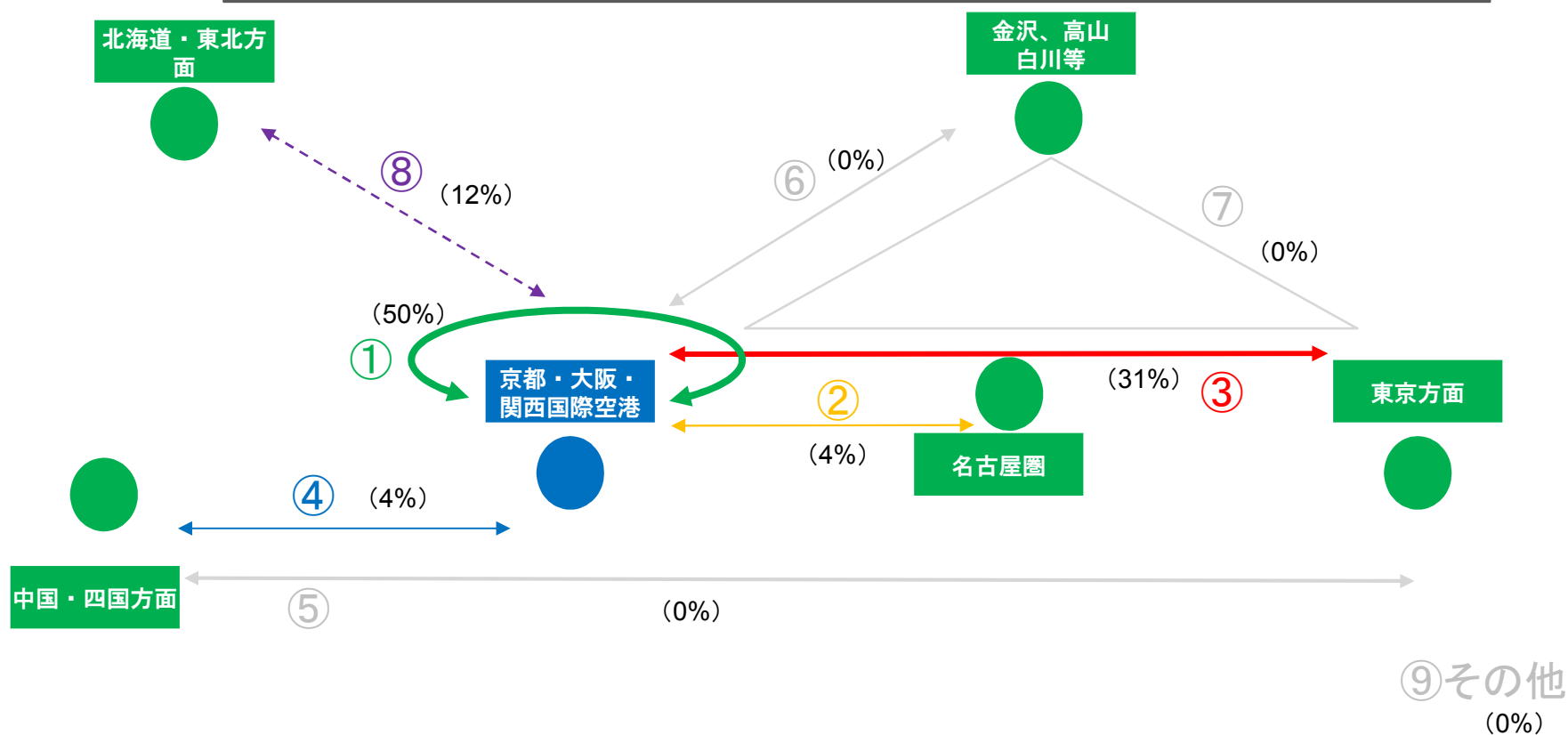


観光のパターン分類 中国(n=105)

関西国際空港調査

- 中国で最も多いのは①関西のみ(50%)、③東京・関西(31%)。
- 行き先が他国籍よりも多様である。

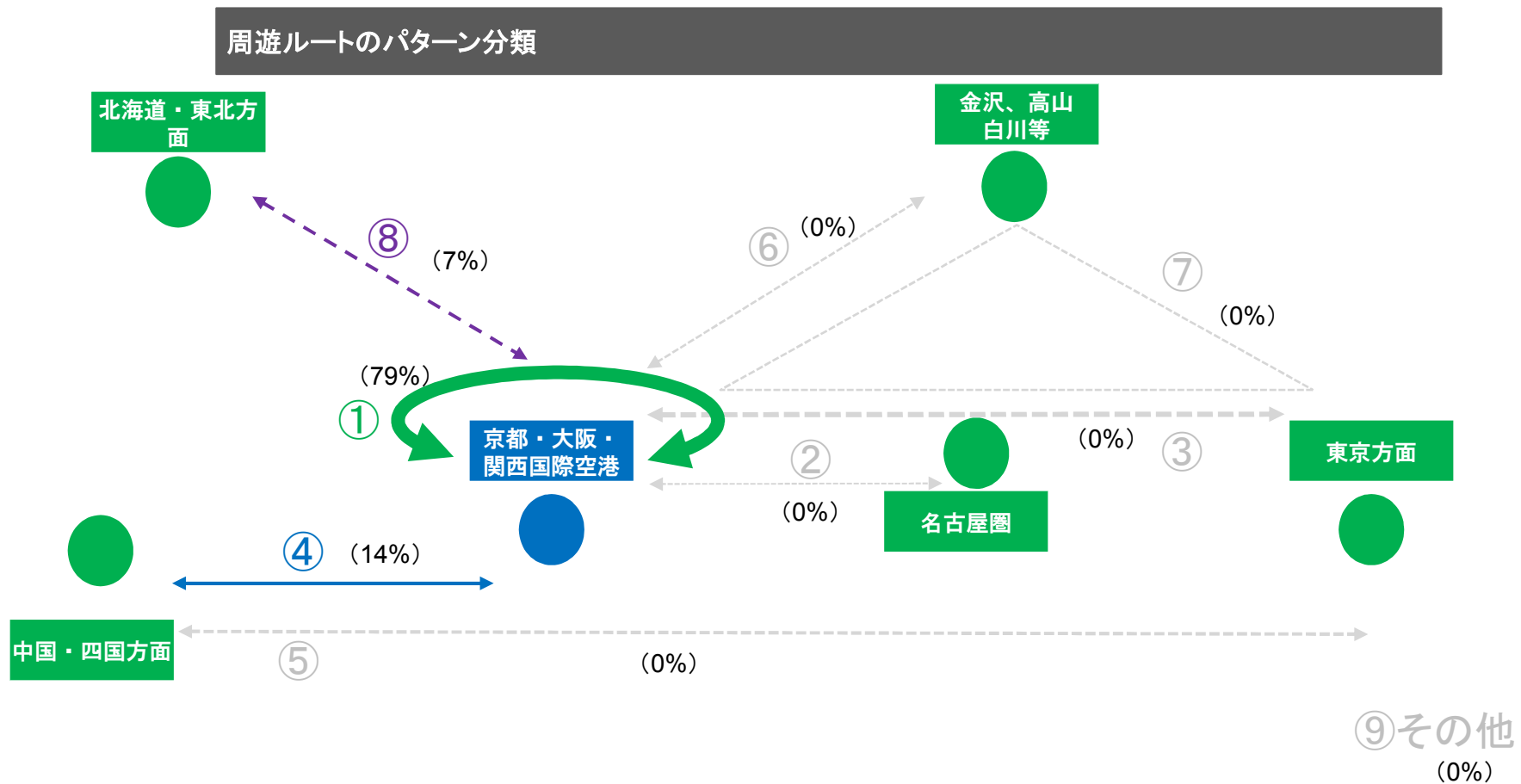
周遊ルートのパターン分類



観光のパターン分類 台湾(n=14)

関西国際空港調査

- 台湾はほとんど最も多いのは①関西のみ(50%)、③中国四国・関西(14%)
- ゴールデンルートがみられない。

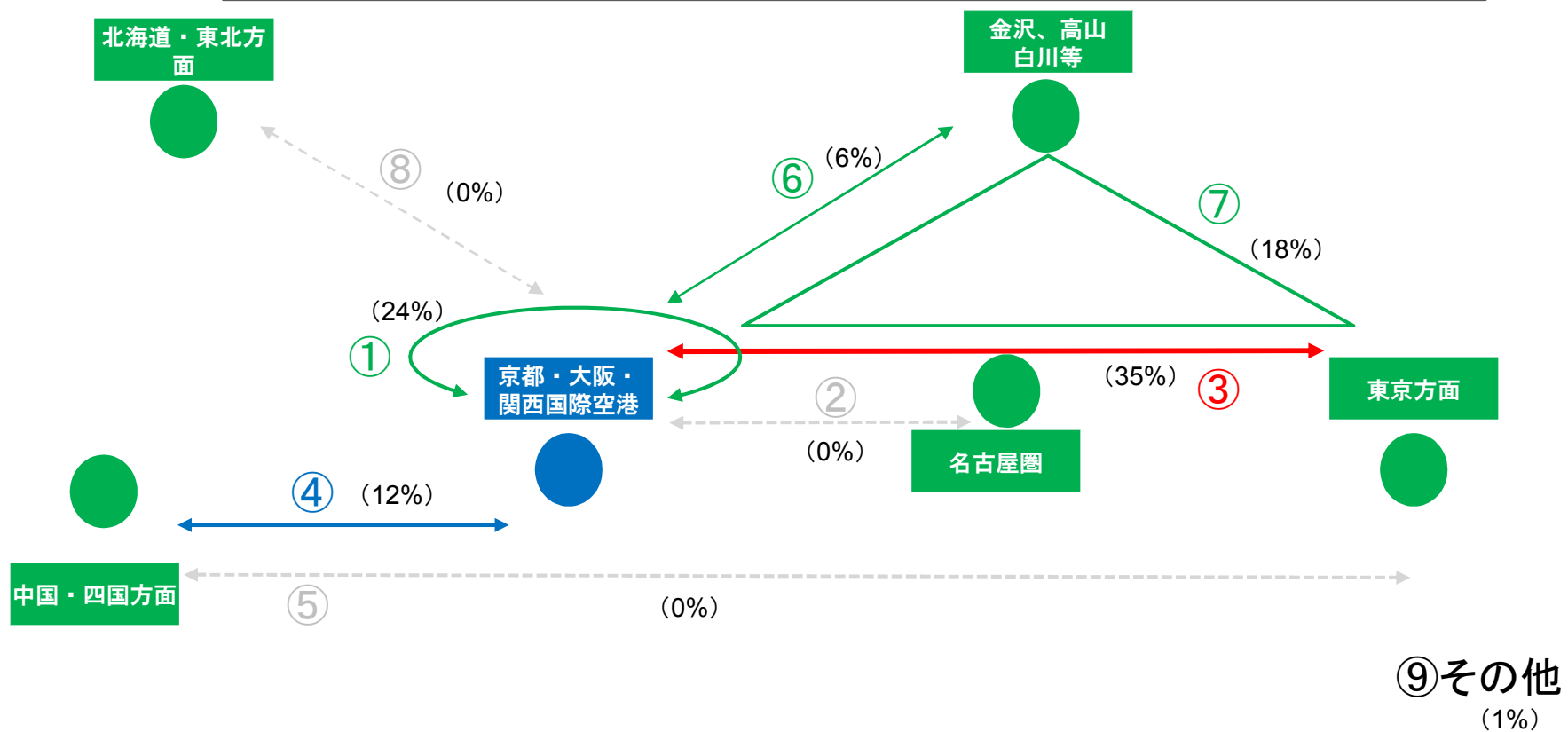


観光のパターン分類 東南アジア(n=17)

関西国際空港調査

- 東南アジアで最も多いのは③東京・関西(35%)、①関西のみ(24%)、④東京・北陸・関西(18%)。
- 他の国籍よりもゴールデンルート比率が高いほか、金沢等をセットで訪れる旅行者が多い。

周遊ルートのパターン分類

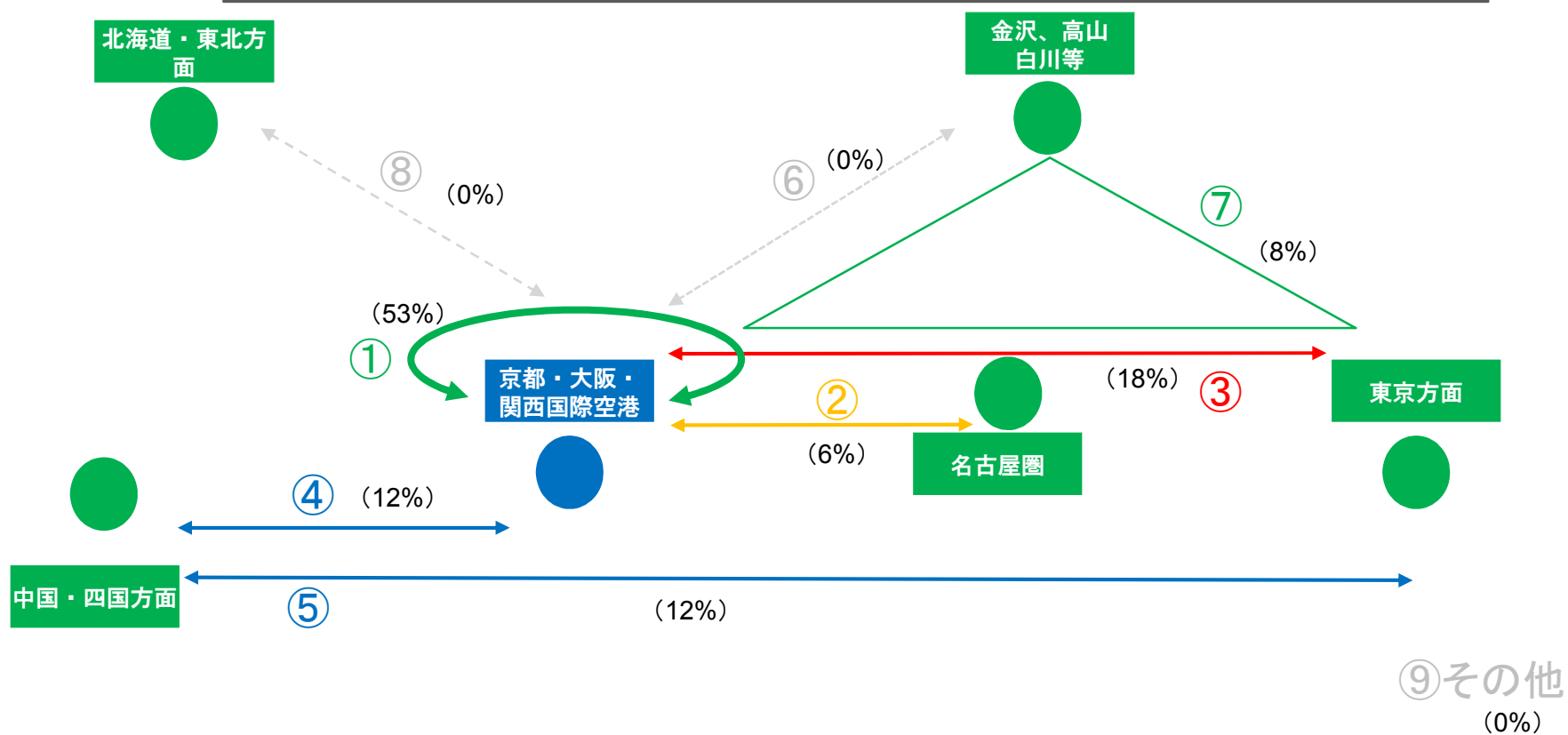


観光のパターン分類 欧州(n=17)

関西国際空港調査

- 欧州で最も多いのは①関西のみ(53%)、③東京・関西(18%)。
- 中国・四国の訪問が他の国籍よりも多い。

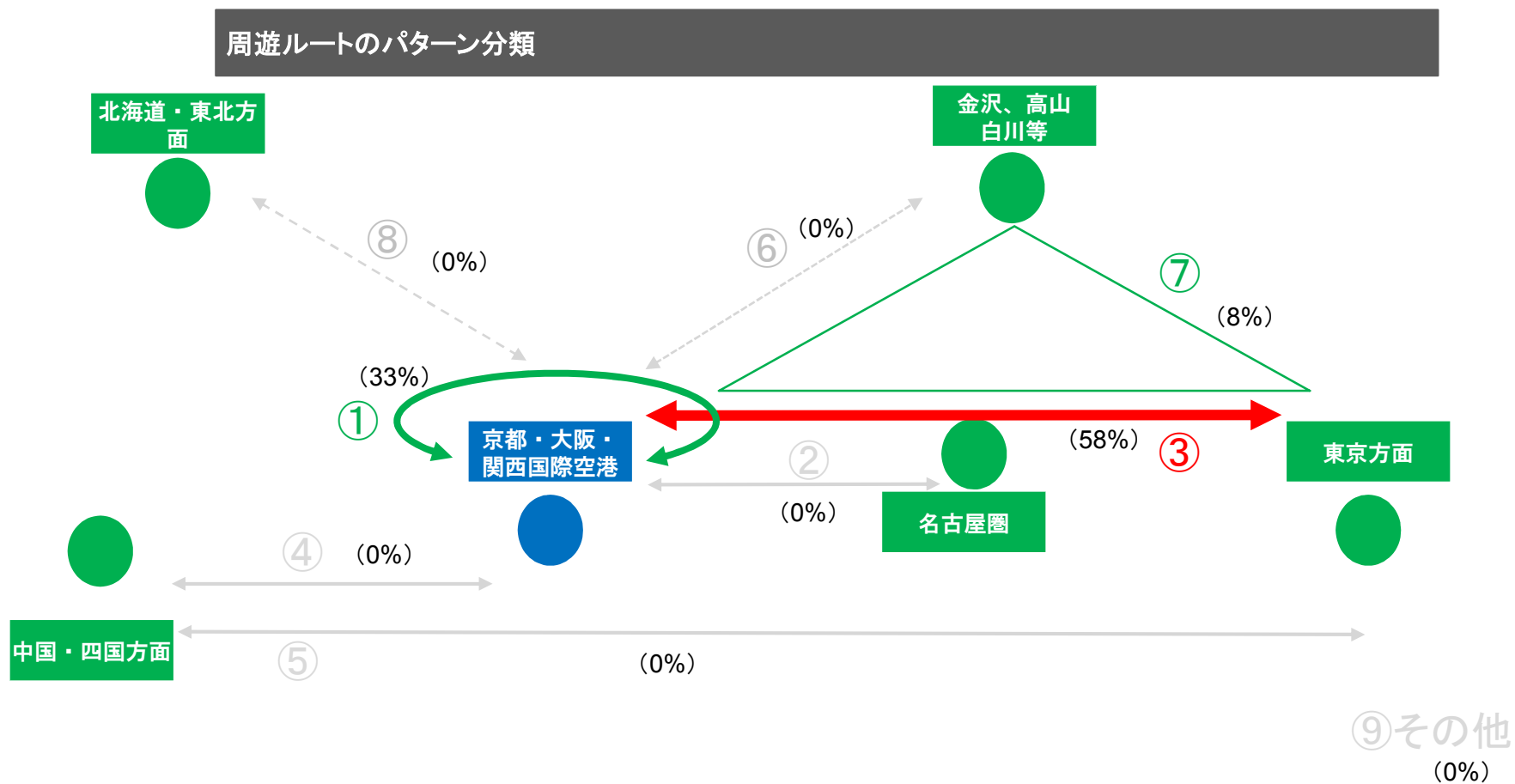
周遊ルートのパターン分類



観光のパターン分類 北米(n=12)

関西国際空港調査

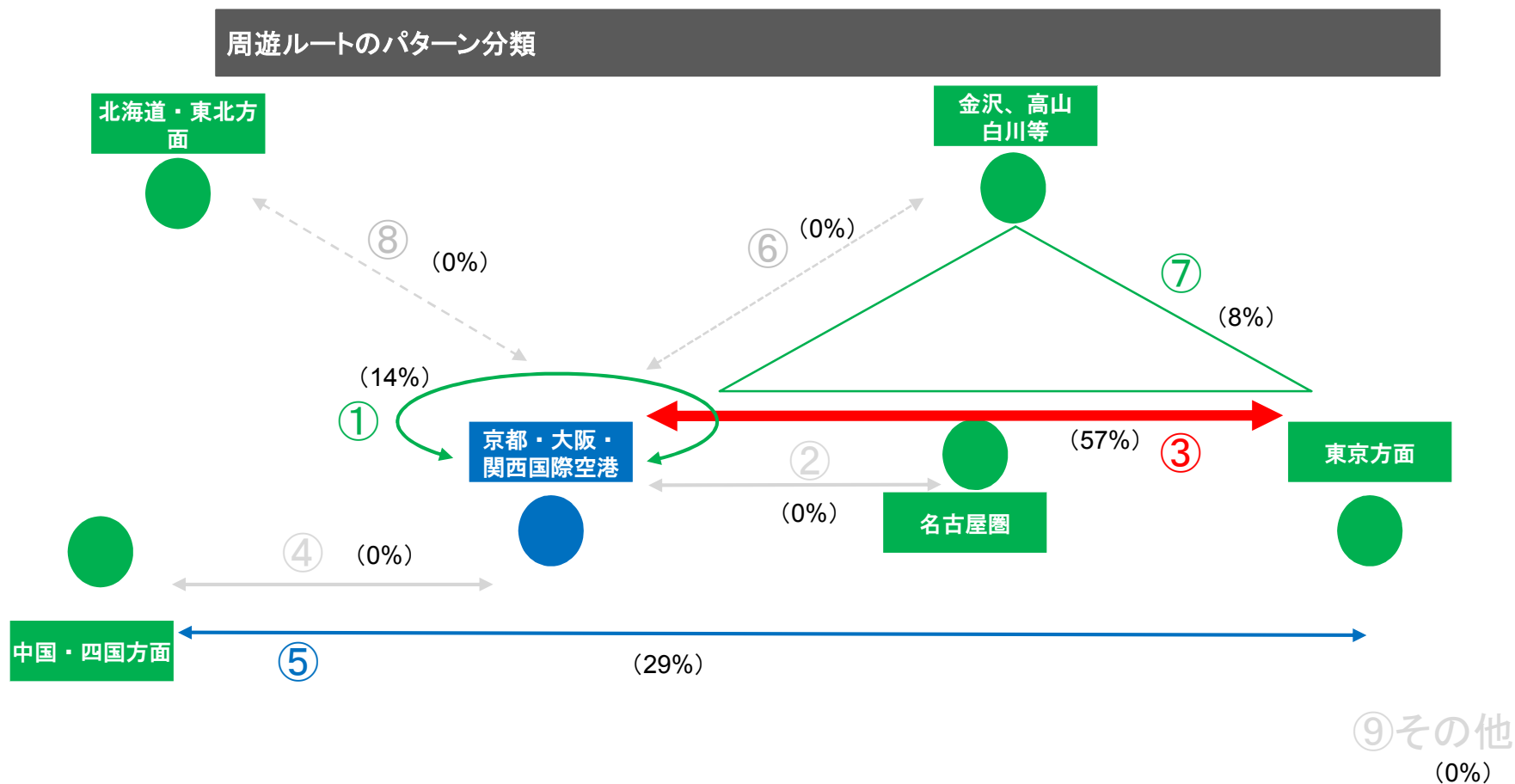
- 北米で最も多いのは③東京・関西(58%)、①関西のみ(33%)。
- 東京との結びつきが強い。



観光のパターン分類 オセアニア(n=12)

関西国際空港調査

- オセアニアで最も多いのは③東京・関西(57%)、①関西のみ(14%)。
- 東京との結びつきが強い。



まとめ

関西国際空港調査

■ 関西域外からの周遊について

- 関東⇔関西(⇔中国・四国等)(③⑤)の割合が高い国籍
 - － オセアニア(86%)、北米(58%)、東南アジア(35%)
- 関西での周遊(①)の割合が高い国籍
 - － 台湾(79%)、欧州(53%)
- 関西⇔中国・四国等(④)の割合が高い国籍
 - － 台湾(14%)、欧州(12%)、東南アジア(12%)
- 関西⇔北陸(⑥⑦)の割合が高い国籍
 - － 東南アジア(18%)、北米(8%)、オセアニア(8%)

②中部国際空港調査

基礎情報

調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 調査方法

- 調査員(5名)による訪日外国人に対する対面ヒアリング調査

■ 調査地点

- 中部国際空港周辺

■ 調査期間

- 2018年11月27日(水) 9時～18時

■ 有効回収数

- 102名

調査結果の概要

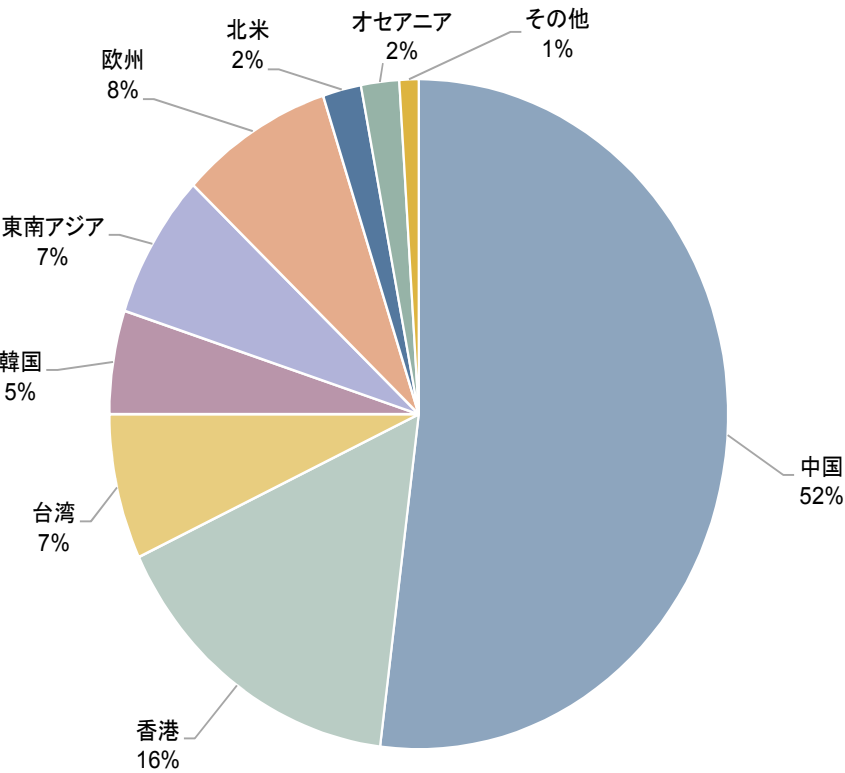
中部国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性

- 中国と香港の回収数が多かった。

国籍別の回答者属性

	人数（人）	割合（％）
全体	100	100
中国	52	52
香港	16	16
台湾	7	7
韓国	5	5
東南アジア	7	7
欧州	8	8
北米	2	2
オセアニア	2	2
その他	1	1



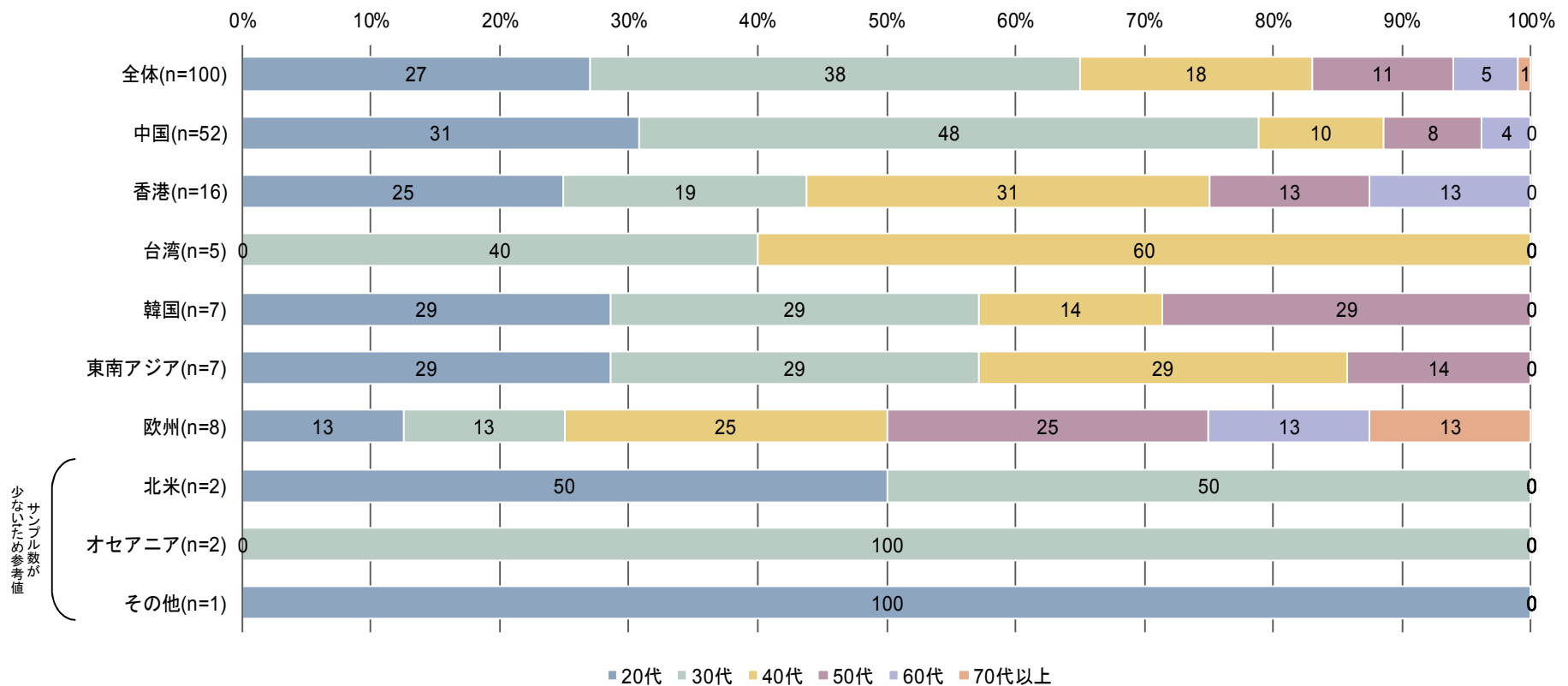
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性(年齢)

- 全体では20代、30代が多い。香港、台湾、欧州は40代以上が多い。

国籍別の回答者属性(年齢)



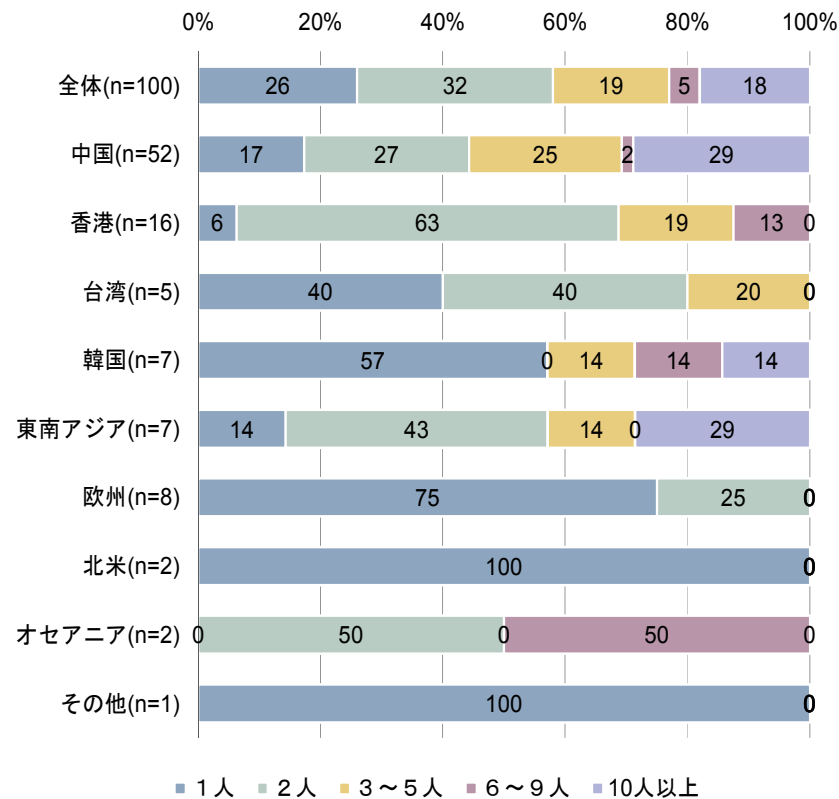
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性(同行人数)

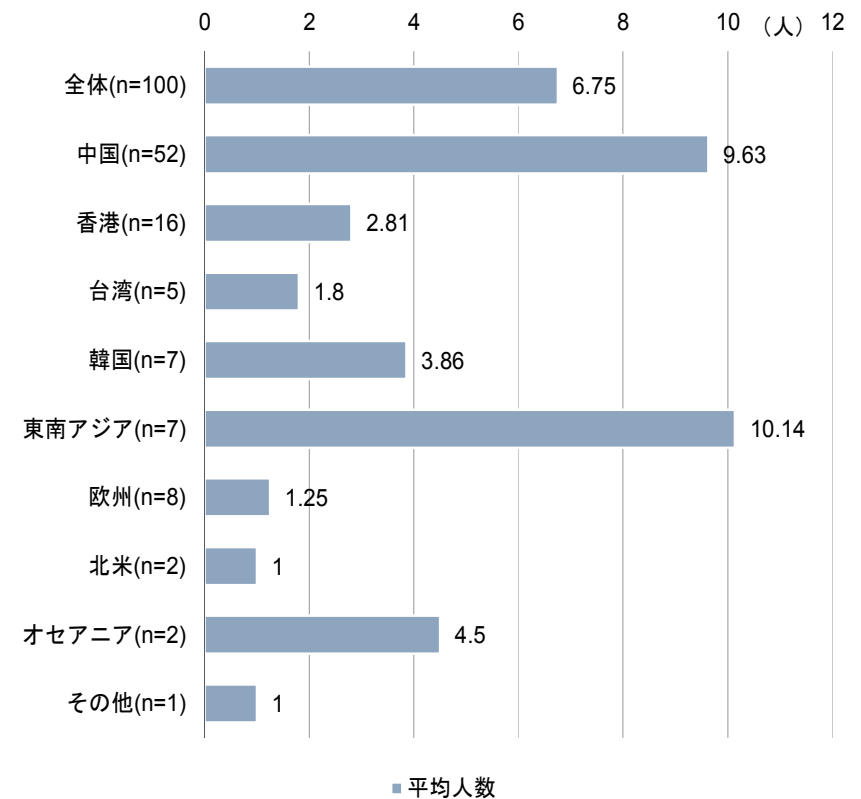
- 中国、香港、韓国、東南アジアは他の国籍と比べて3人以上の比率が高い。

国籍別の回答者属性(同行人数)



少ないため参考値

国籍別の回答者属性(平均同行人数)



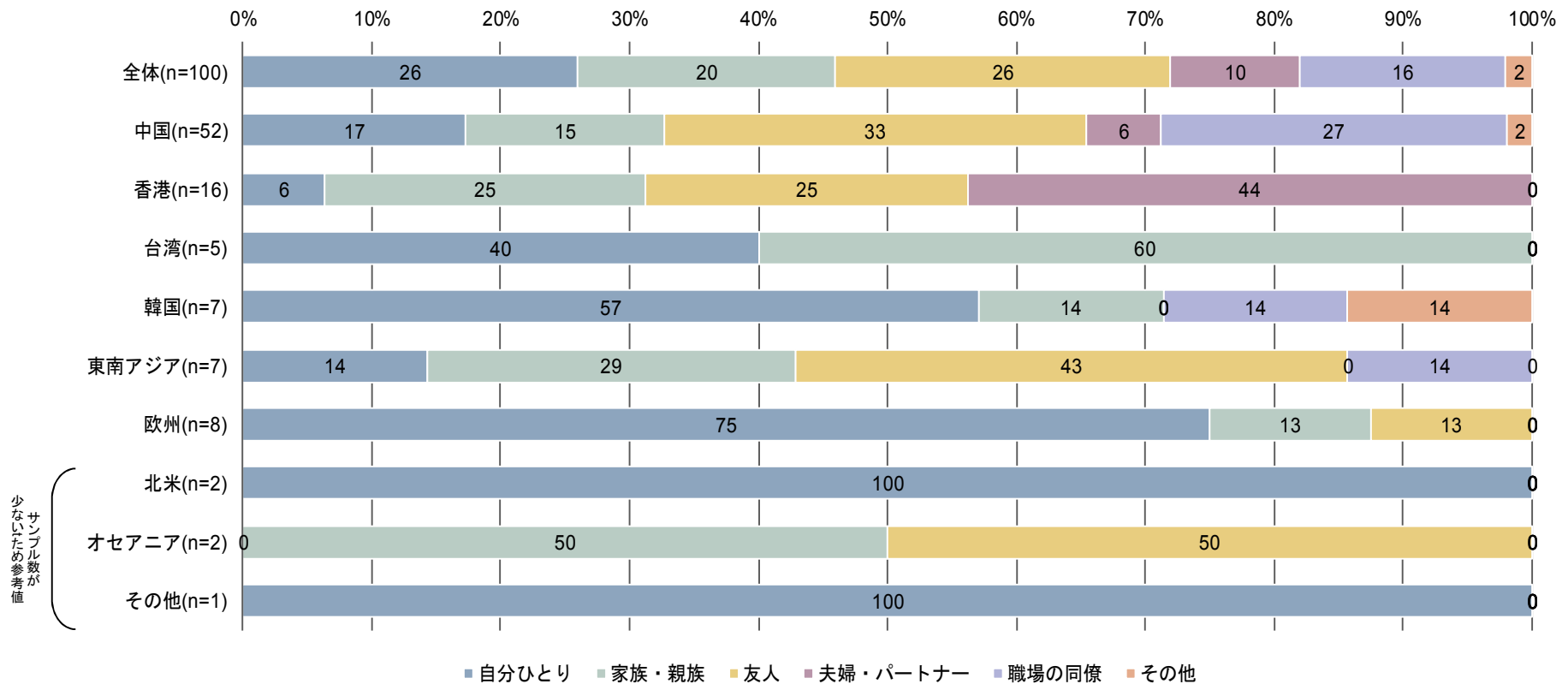
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の回答者属性(同行者)

- 欧州は自分ひとりが多く、台湾は家族・親族が多い。友人が多いのは東南アジア、中国。

国籍別の回答者属性(同行者)

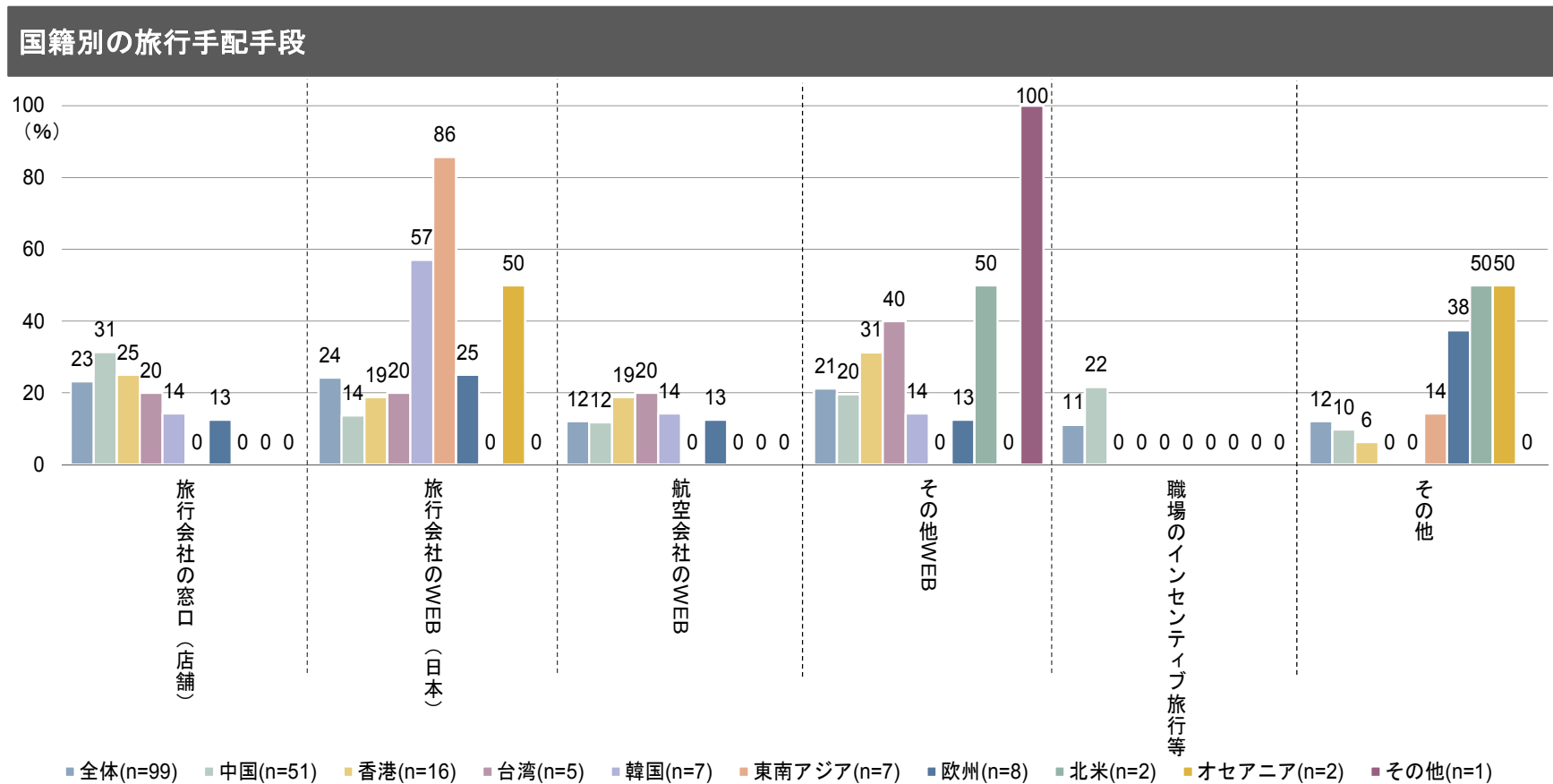


調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の旅行手配手段

- 旅行会社のWEBが多く、次いでその他WEB、旅行会社の窓口（店舗）となっている。



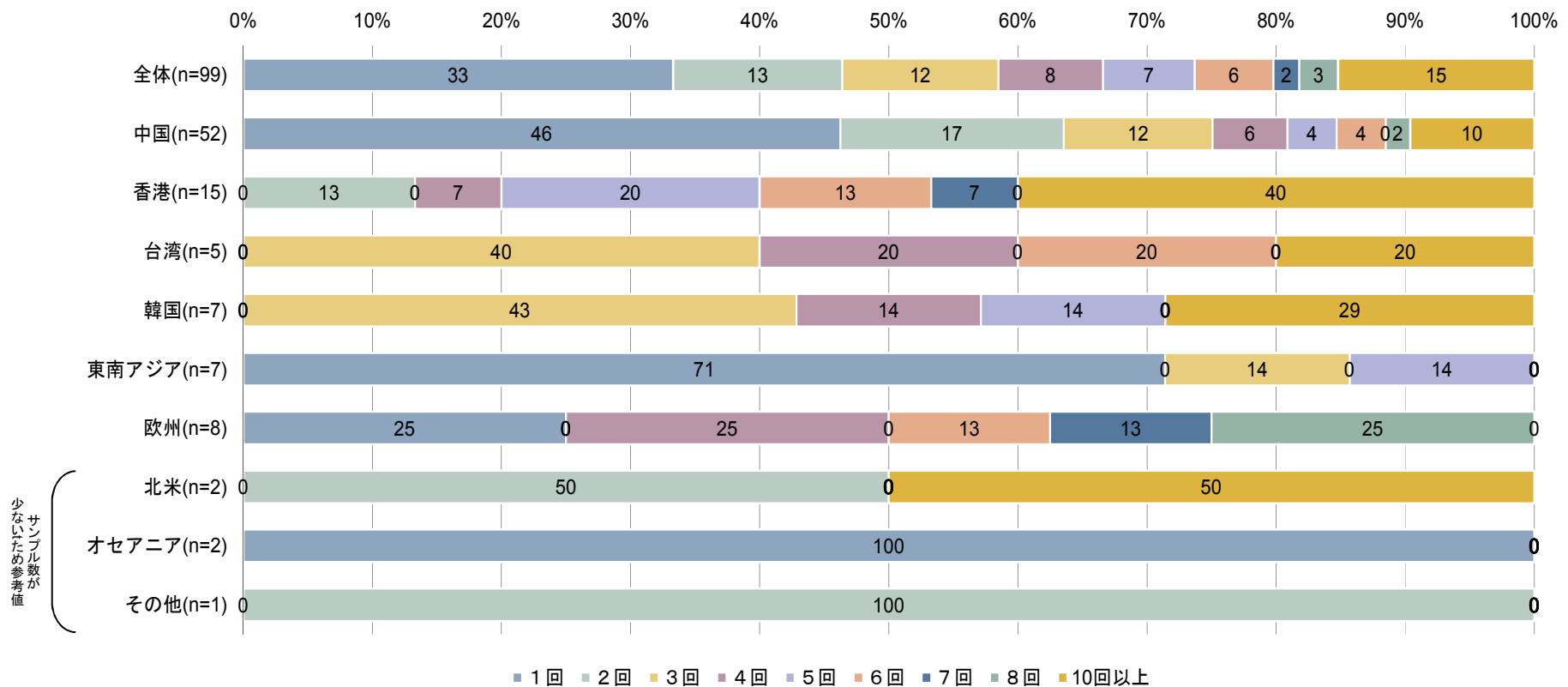
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の訪日回数

- 初訪日が多いのは中国、東南アジアとなっている。台湾、韓国は全ての回答者が3回以上である。

国籍別の訪日回数



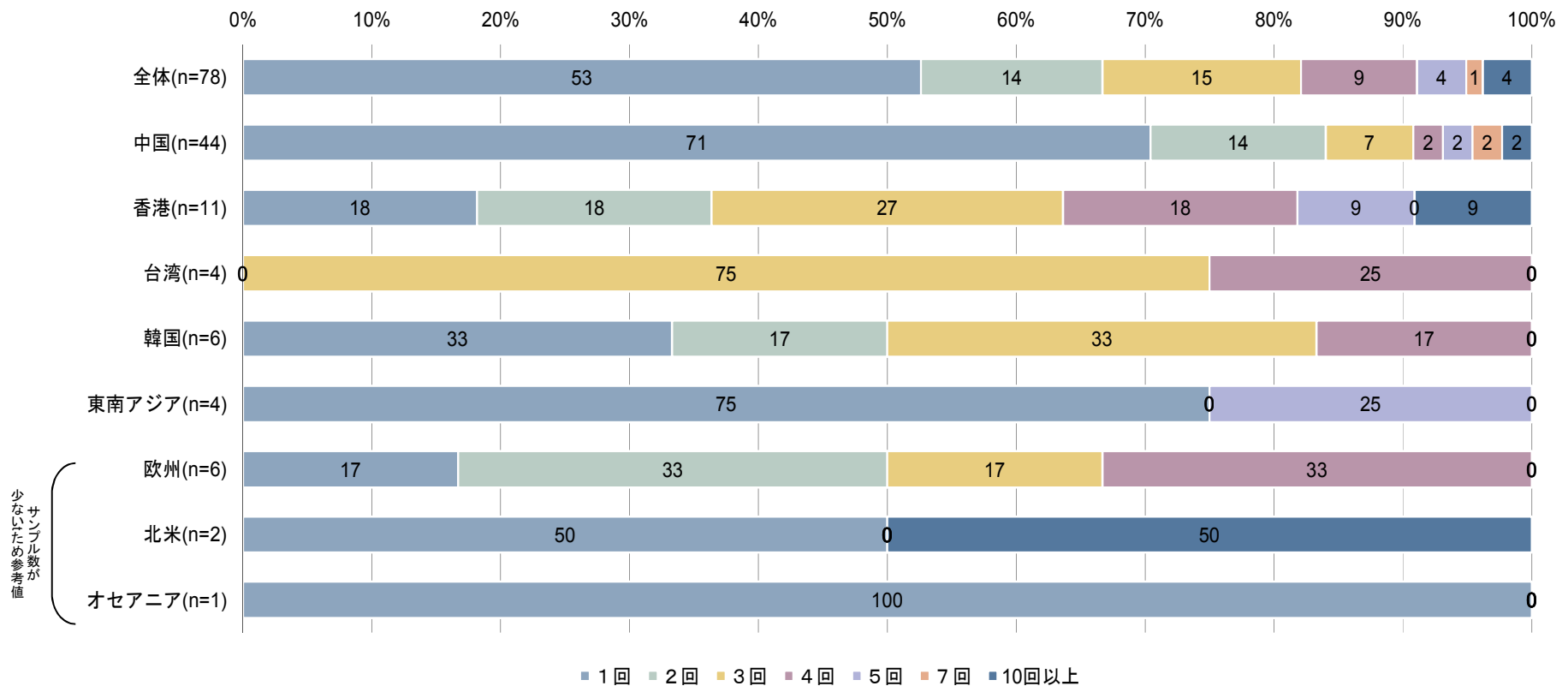
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の関西訪問回数

- 関西の訪問回数は1回が多いのは東南アジア、中国である。

国籍別の関西訪問回数



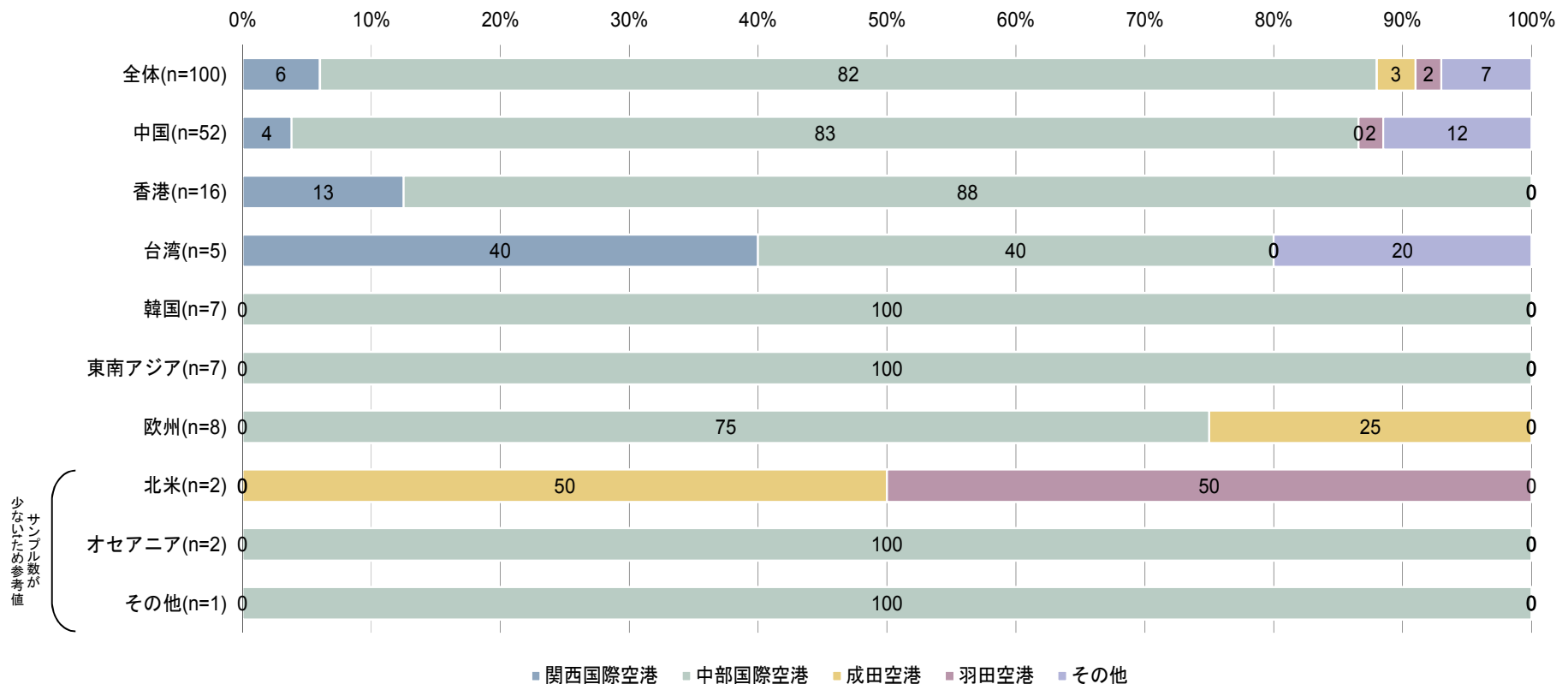
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 中部空港での調査のため入国空港はほぼ同空港となっている。
- 台湾は関西国際空港、欧州は成田空港が一定割合存在する。

国籍別の入国空港



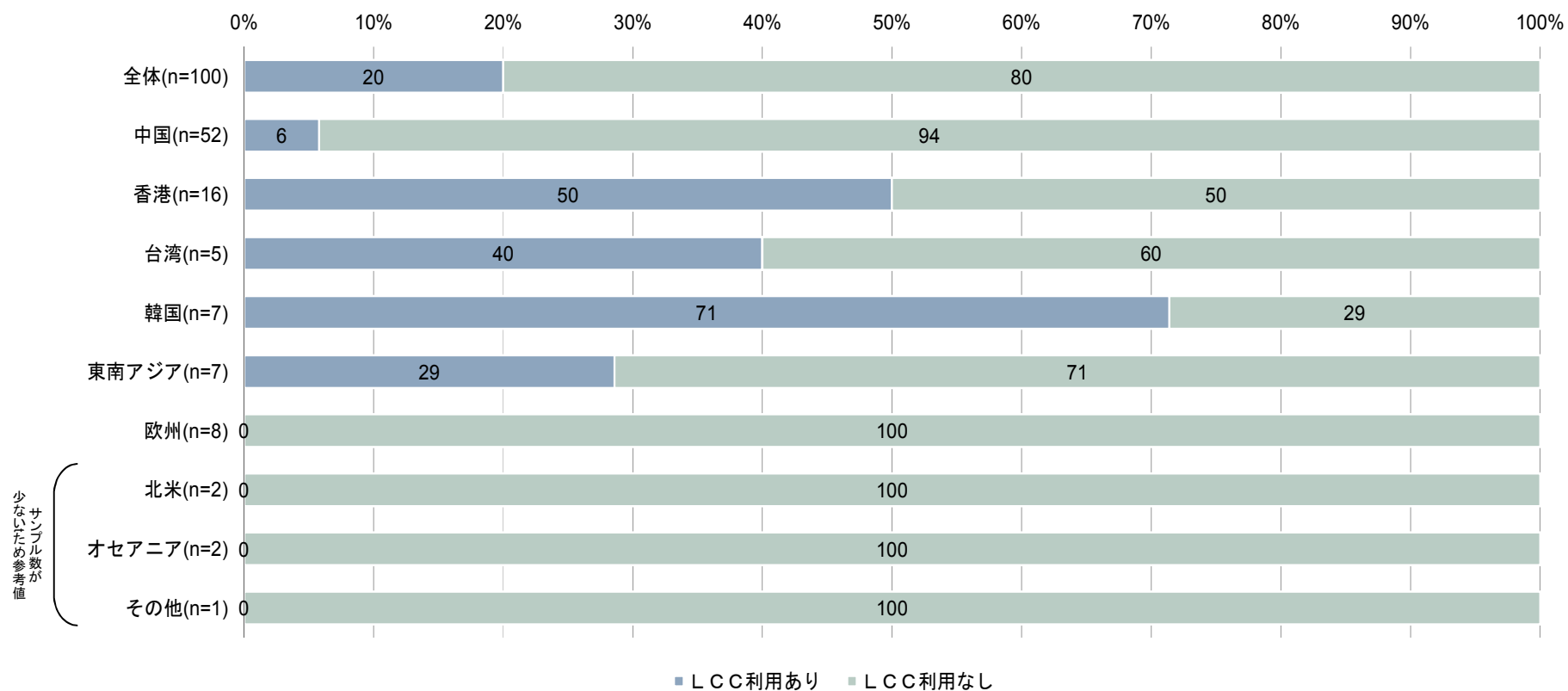
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 香港、台湾、韓国、東南アジアはLCCの利用が多い。その他の国籍は利用が少ない。

国籍別のLCC利用の有無



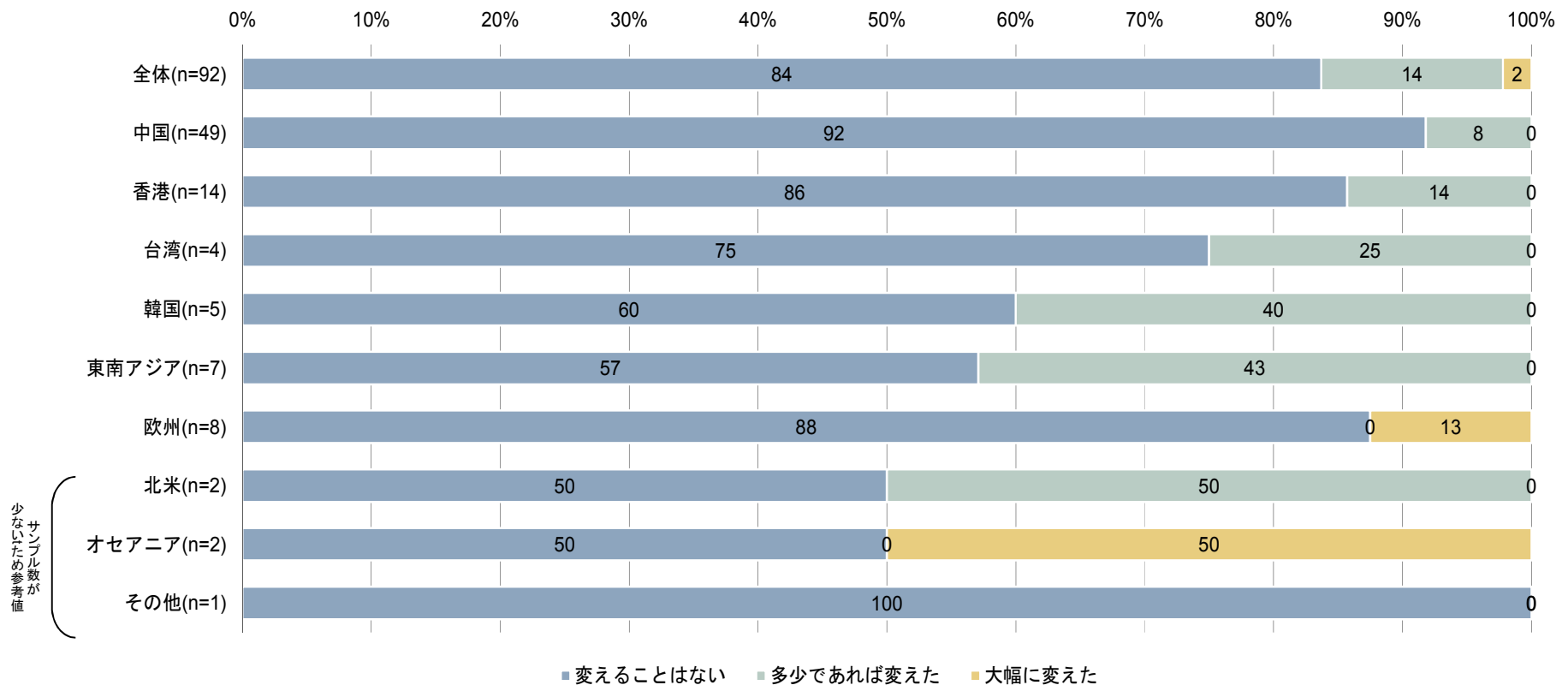
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の旅程

- 「変えることが無い」が84%と大半を占めている。
- 「多少であれば変えた」が多いのは東南アジア、韓国等となっている。

国籍別の旅程変更の有無



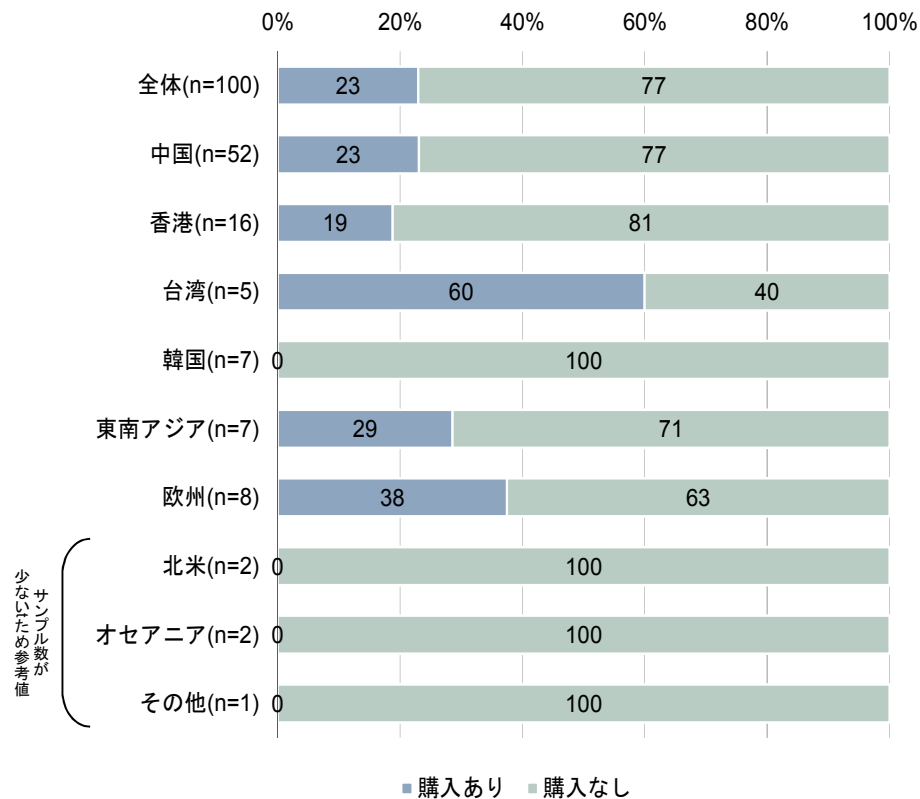
調査結果の概要

中部国際空港調査

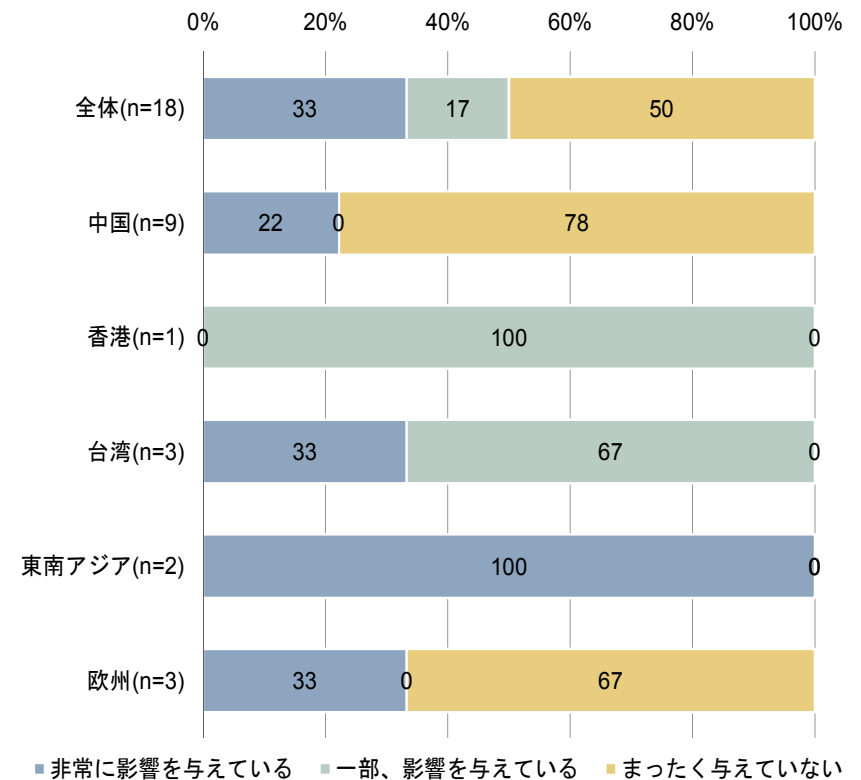
■ 国籍別の旅程

- 購入なしが77%となっている。購入有の比率が高いのは台湾(60%)である。

国籍別のパス購入の有無



国籍別のパスの影響の有無

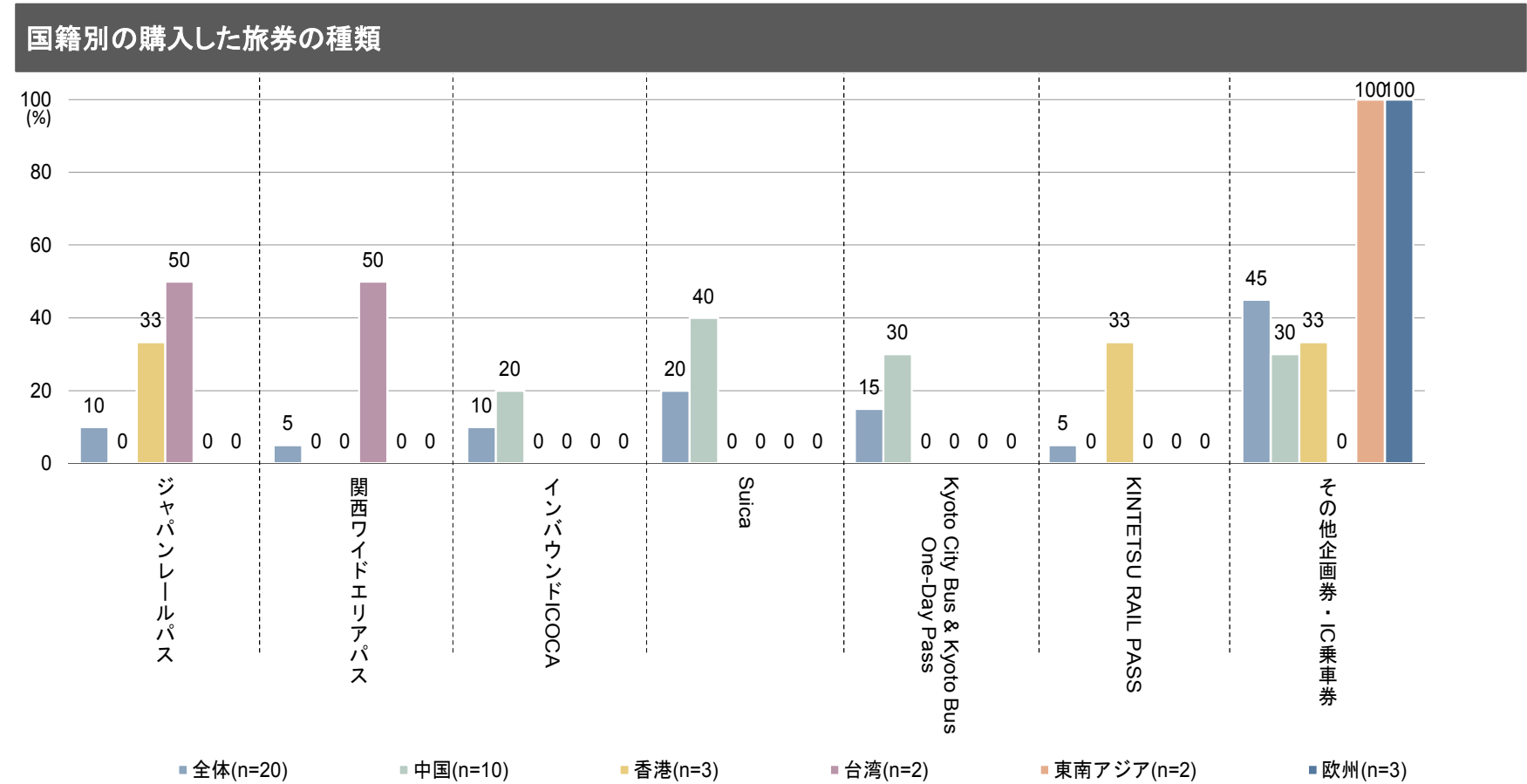


調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の購入した旅券種別

- 購入したパスはその他企画券が多い(中部国際空港調査なので、関西系のパスを利用していないことが理由と推察)

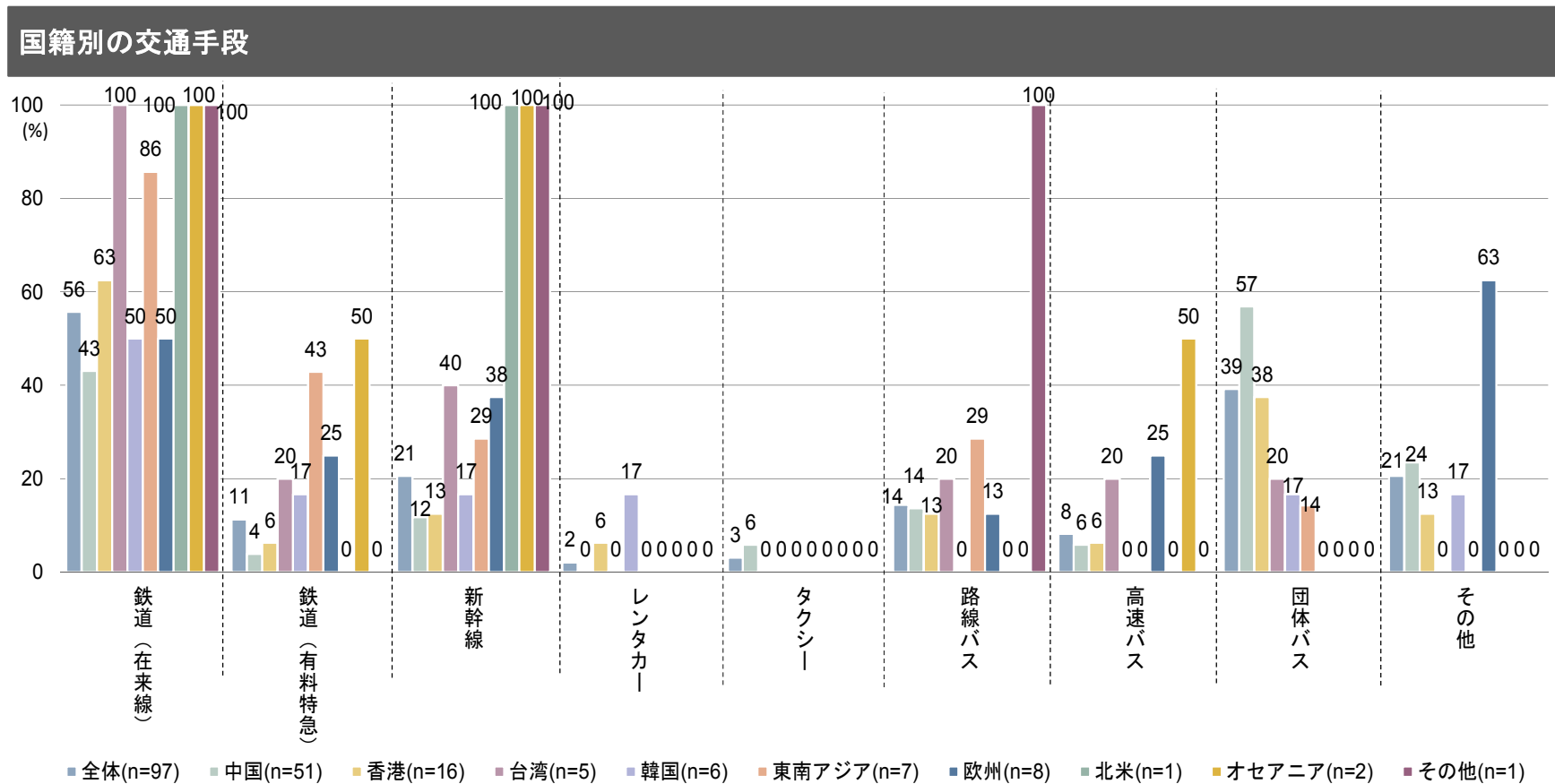


調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の交通手段

- 鉄道、新幹線が多い。中国は団体バスが多い。

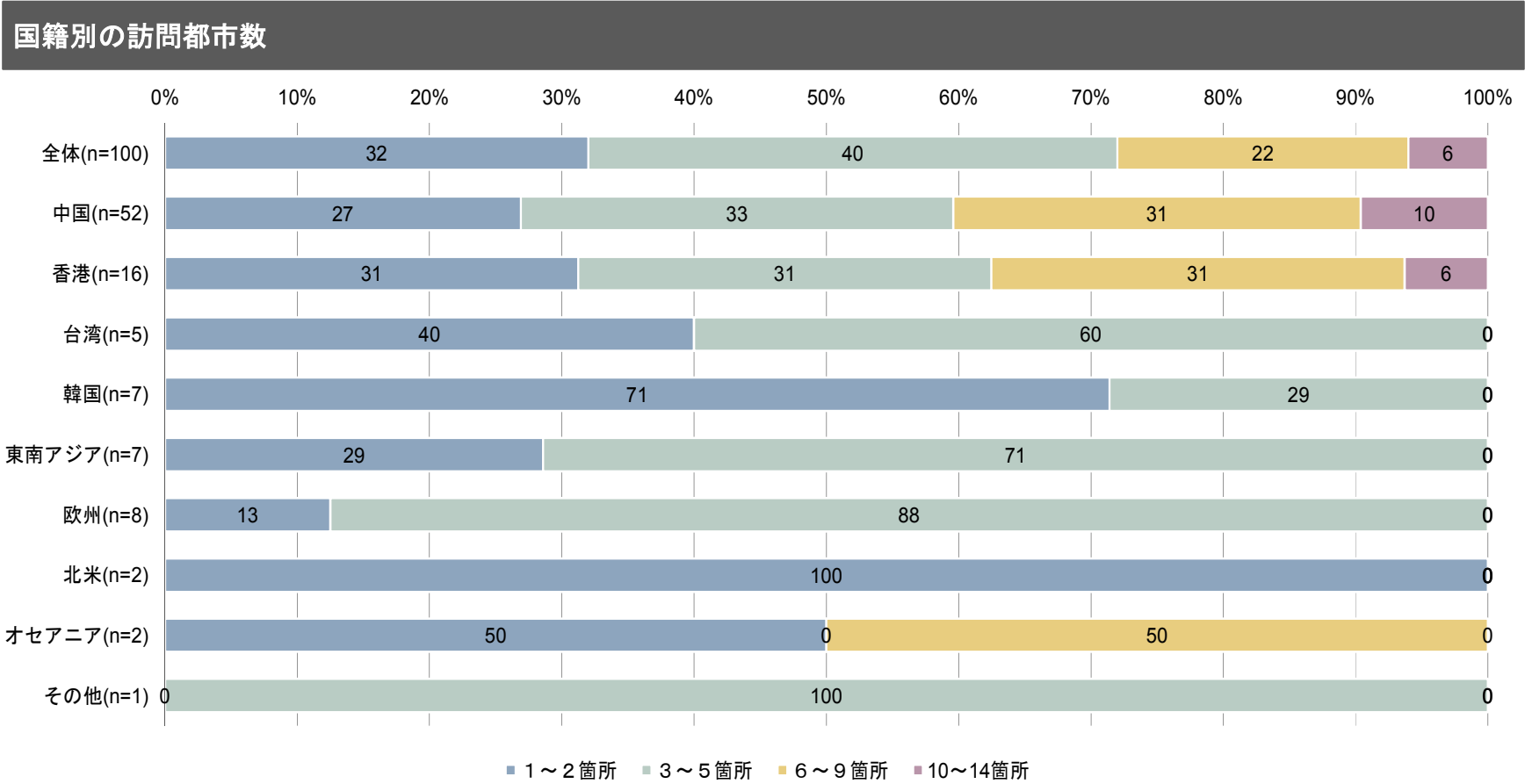


調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の訪問都市数

- 欧州、東南アジア、台湾の訪問都市数が多い。



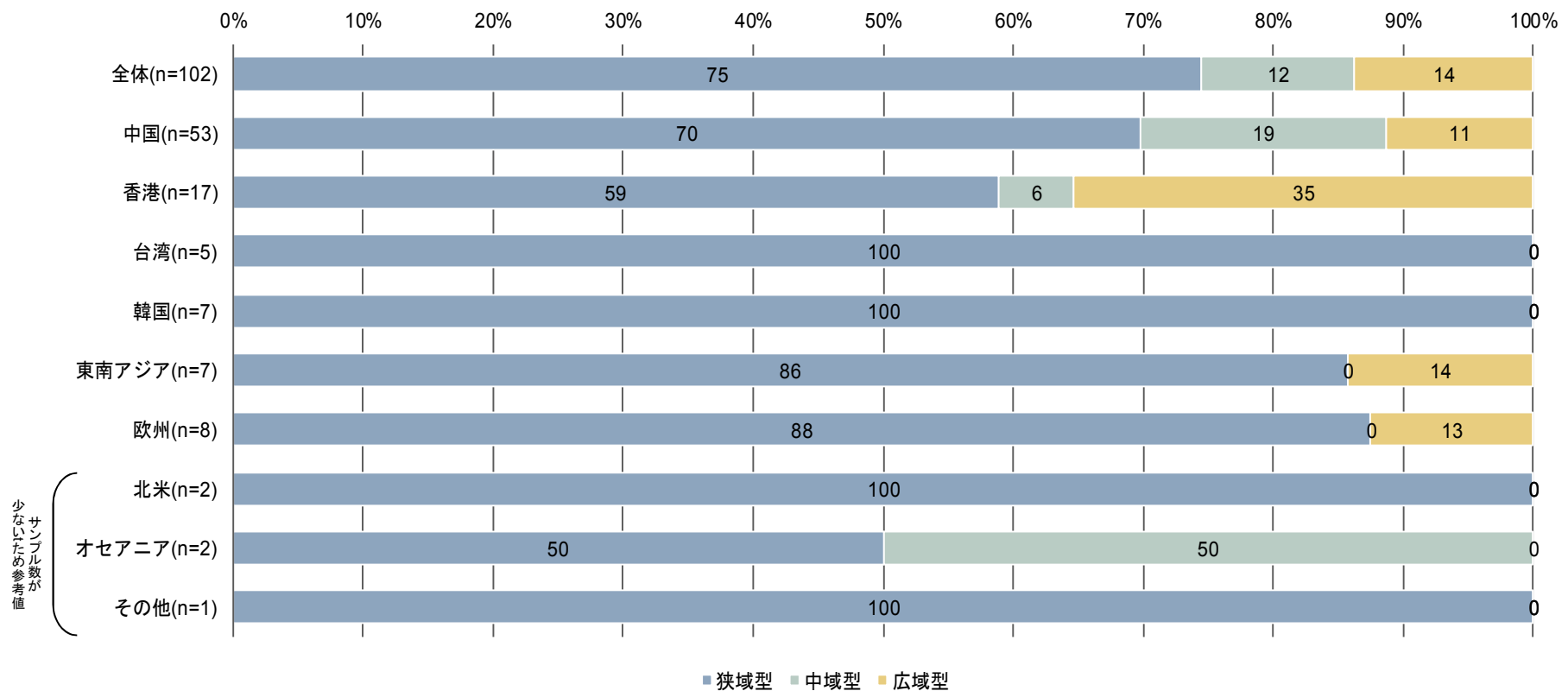
調査結果の概要

中部国際空港調査

■ 国籍別の周遊パターン

- 関西内の周遊について、広域型、中域型が多いのは、香港、中国となっている。

国籍別の周遊パターン



※周遊パターンは関西内の訪問地によって分類。訪問地は以下の定義に基づいて分類。

狭域: 大阪市周辺エリア、関空周辺エリア、中間エリア(大阪・関空・京都の間に位置する市町)、京都市エリアのみ

中域: 狭域を除き、大阪駅または京都駅から概ね1時間以内に位置する市町

広域: 狭域・中域以外

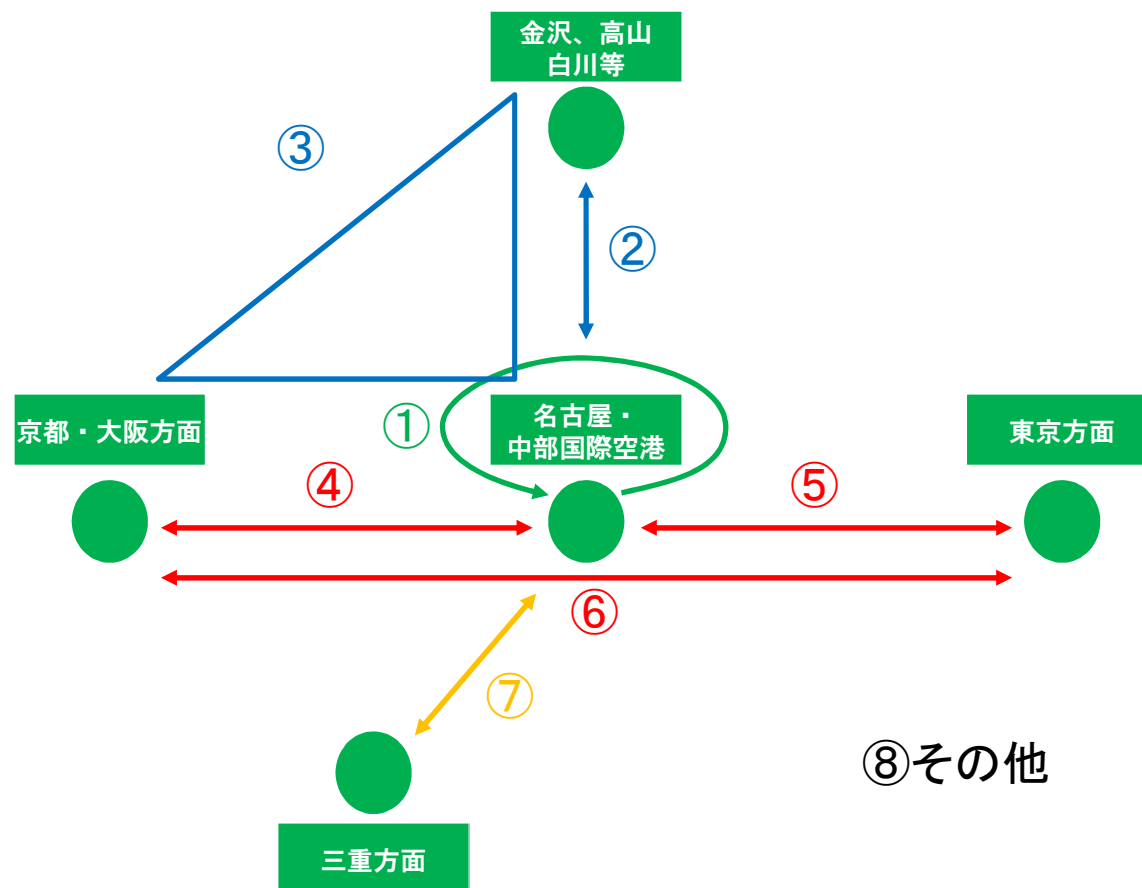
周遊ルートのパターン分類

中部国際空港調査

■ 分類

- 周遊ルートの結果から以下のパターンに分類した。

周遊ルートのパターン分類

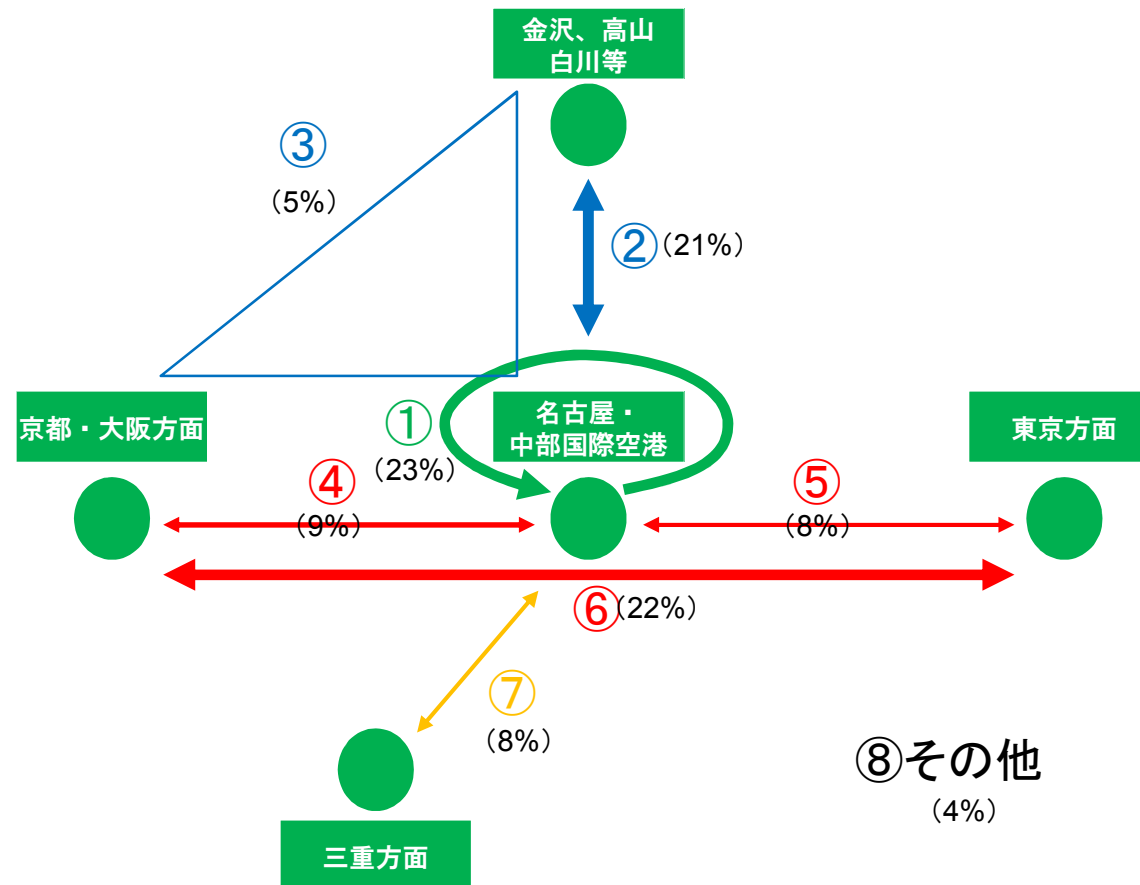


【周遊パターンの結果】 全体(N=100)

中部国際空港調査

- 最も多いのは①名古屋周辺(23%)、⑥関西・名古屋・東京(22%)、②名古屋・金沢(21%)

全国籍の周遊ルート

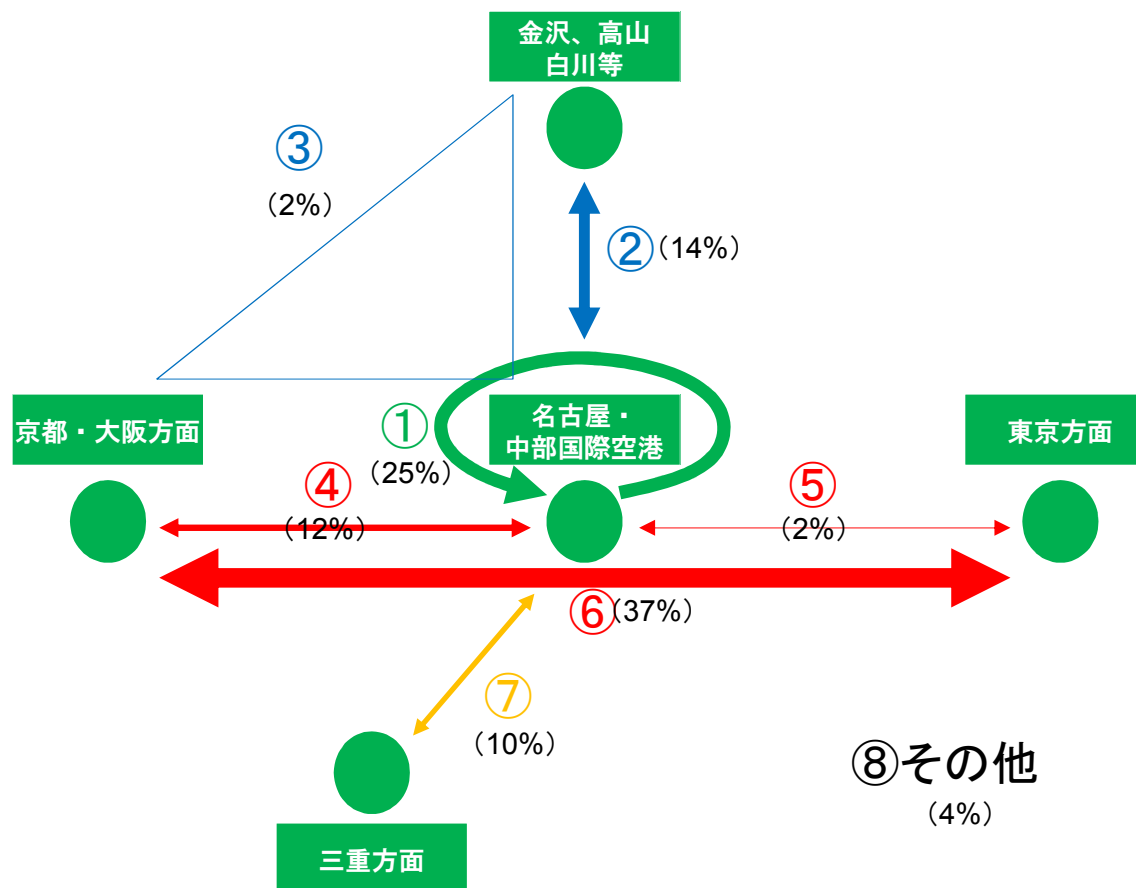


【周遊パターンの結果】 中国(n=52)

中部国際空港調査

- 中国で最も多いのは⑥関西・名古屋・東京(37%)、次いで①名古屋周辺(25%)
- 他の国籍に比べて、②名古屋・北陸方面(14%)がやや少ない。

中国の周遊ルート

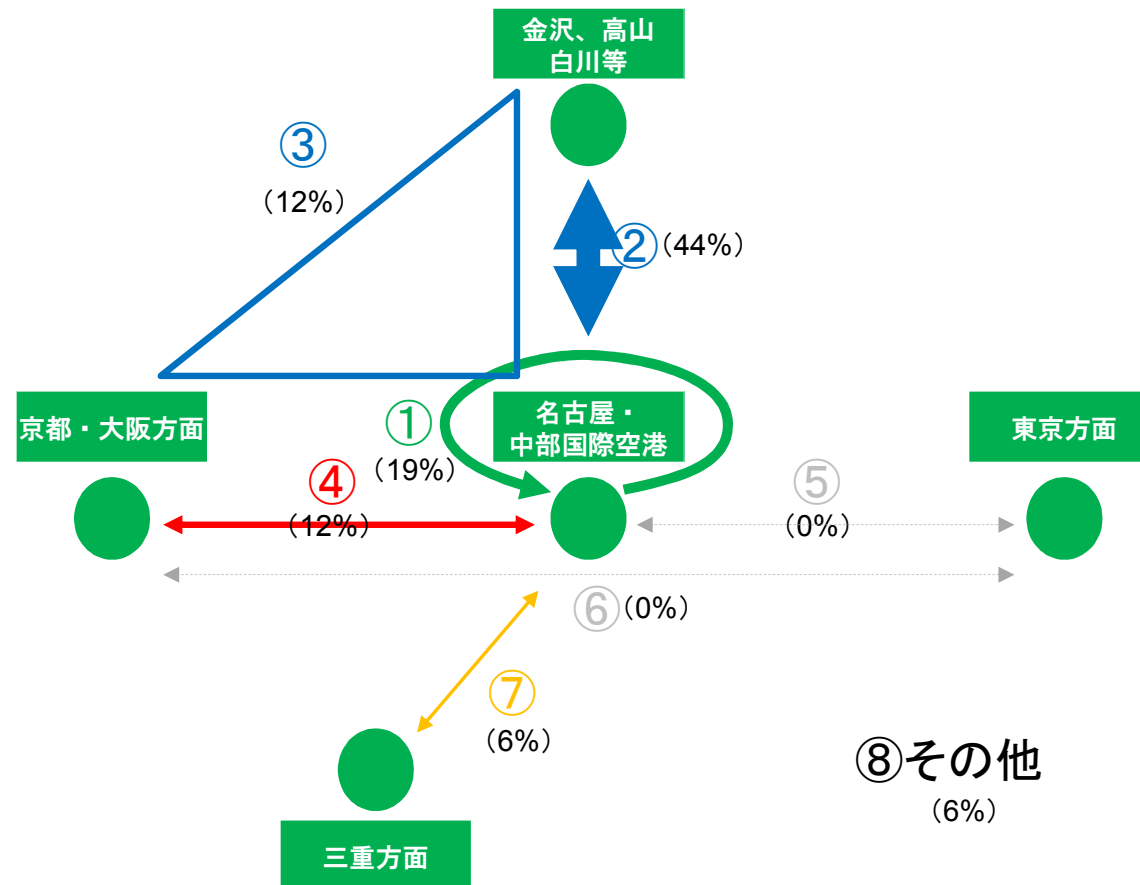


【周遊パターンの結果】 香港(n=16)

中部国際空港調査

- 香港は圧倒的に②名古屋・北陸方面(44%)。次いで①名古屋周辺(19%)
- 関東とセットになった周遊(⑤⑥)がない。

香港の周遊ルート

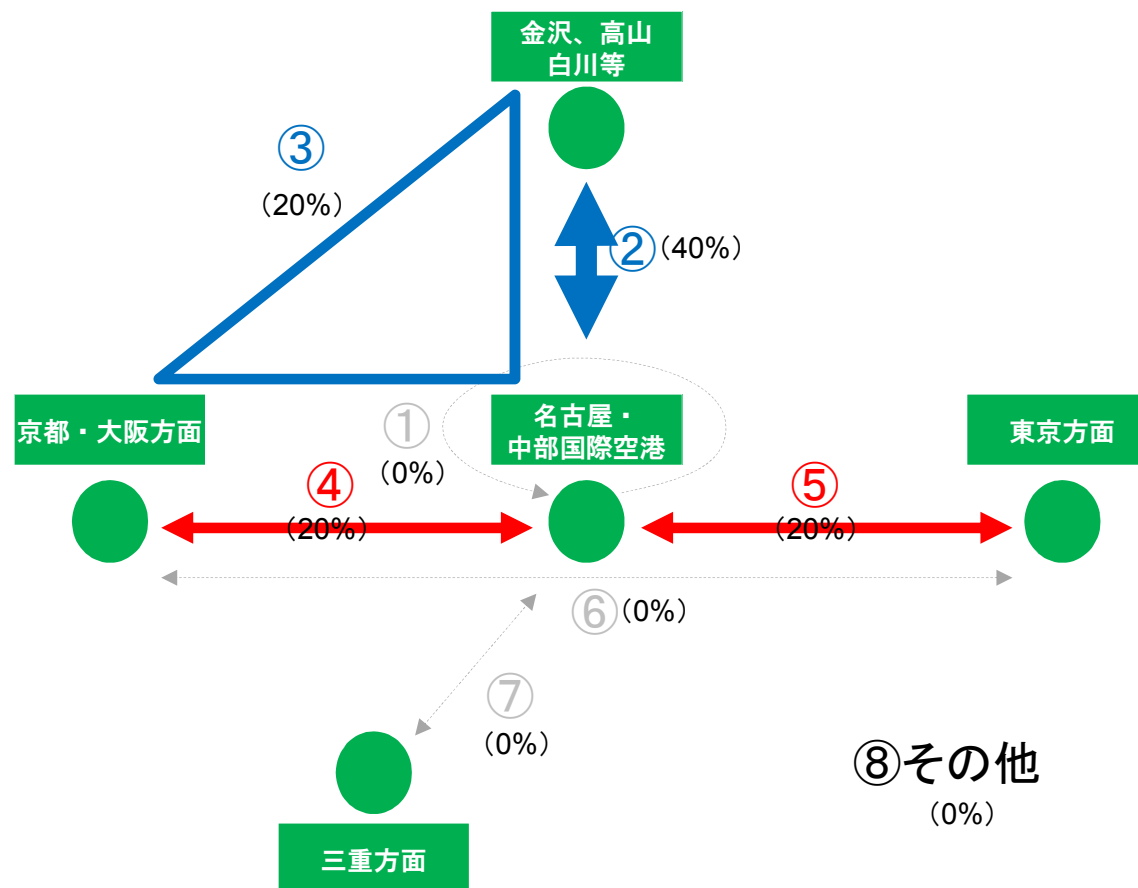


【周遊パターンの結果】 台湾(n=5)

中部国際空港調査

- 台湾が最も多いのは②名古屋・北陸方面(40%)。③④⑤がいずれも20%。
- 意外にも①名古屋周辺がみられない。

台湾の周遊ルート

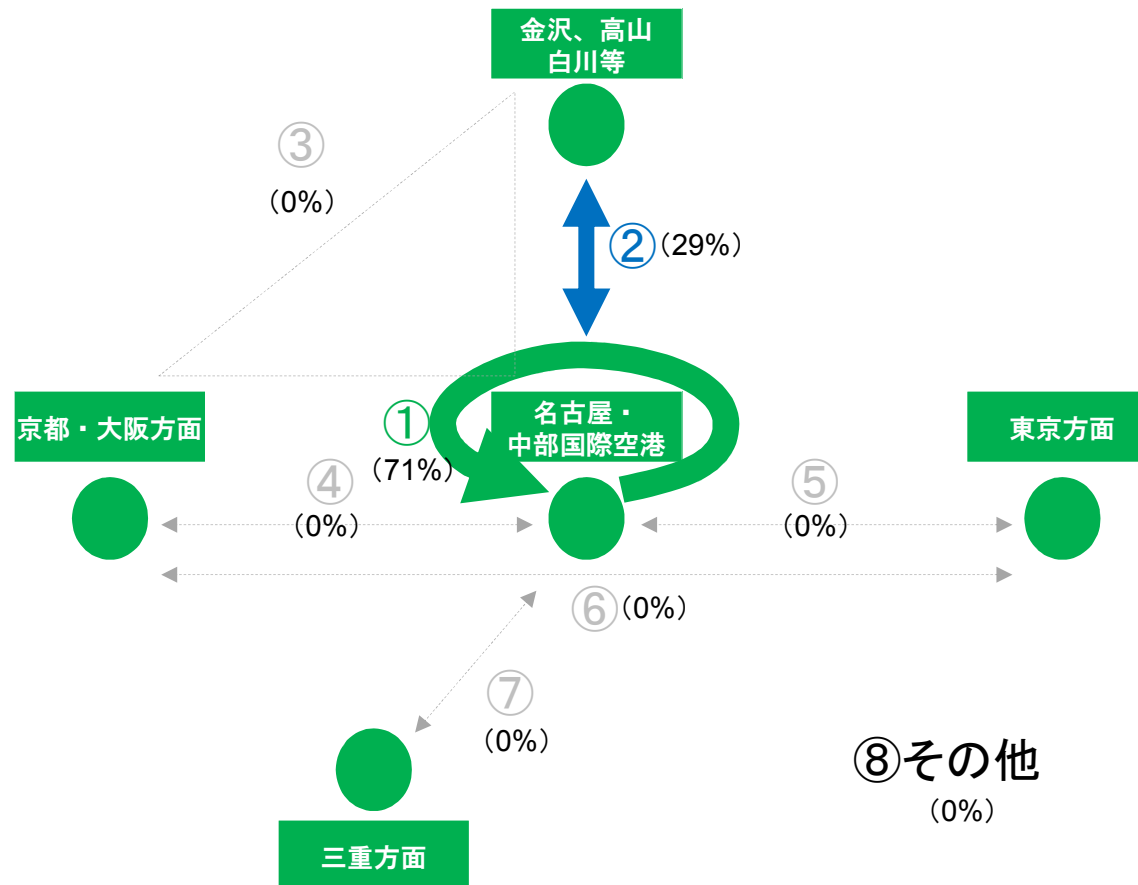


【周遊パターンの結果】 韓国(n=7)

中部国際空港調査

- 最も多いのは①名古屋周辺(71%)、②名古屋・北陸方面(29%)。
- それ以外の周遊パターンがみられない。

韓国の周遊ルート

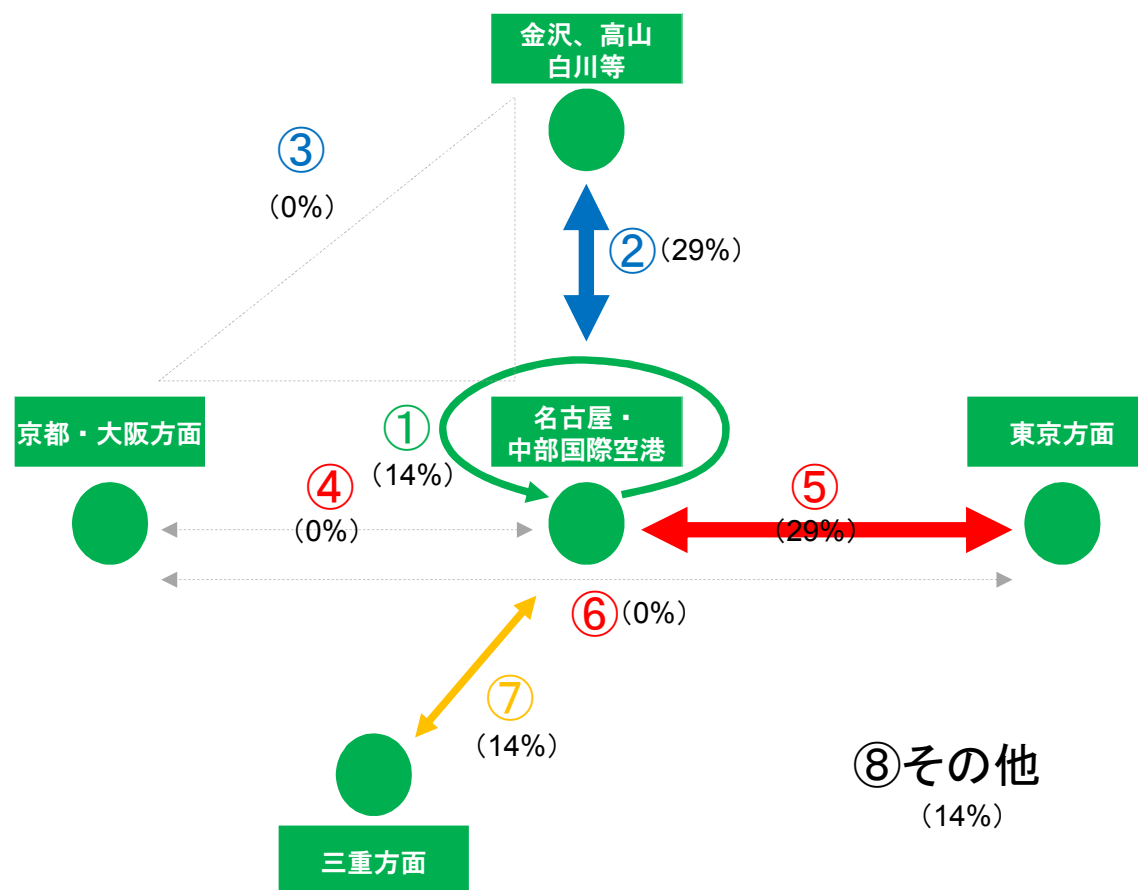


【周遊パターンの結果】 東南アジア (n=7)

中部国際空港調査

- 東南アジアで最も多いのは①名古屋・北陸方面(29%)、⑤名古屋・東京方面(29%)。
- 関西方面への周遊が少ない。⑦三重県への周遊が他の国籍に比べ多い。

東南アジアの周遊ルート

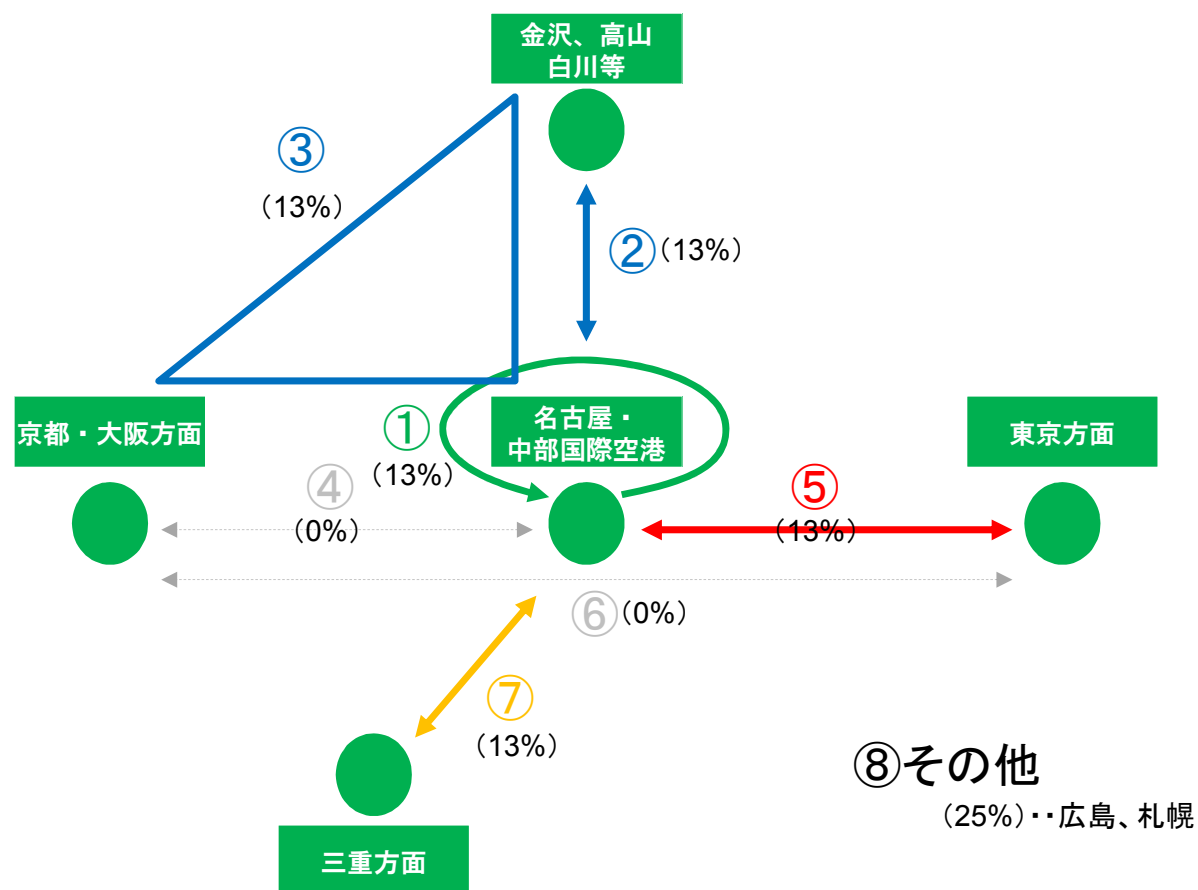


【周遊パターンの結果】 欧州 (n=8)

中部国際空港調査

- 欧州は④⑥のルートがなく、他のルートはいずれも13%で同率。
- その他も25%存在。

欧州の周遊ルート



- (北米、オセアニアはサンプル数が2と少ないため割愛)

まとめ

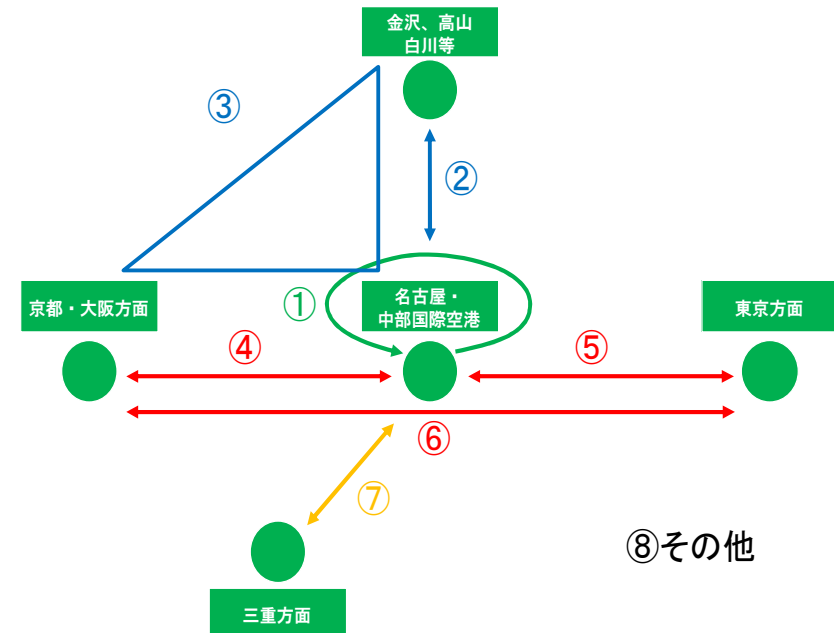
中部国際空港調査

■ 関西への周遊について

- 関西⇄中部⇄関東(④⑥)の割合が高い国籍
 - － 中国(39%)
- 関西⇄北陸(③)の割合が高い国籍
 - － 台湾(20%)、欧州(13%)、香港(12%)

■ 【参考】中部での周遊について

- 名古屋周辺の周遊(①)の割合が高い国籍
 - － 韓国(71%)、中国(25%)
- 名古屋⇄北陸(②)の割合が高い国籍
 - － 香港(44%)、台湾(40%)



③京都駅調査

基礎情報

調査結果の概要

京都駅調査

■ 調査方法

- 調査員(4名)による訪日外国人に対する対面ヒアリング調査

■ 調査地点

- JR京都駅周辺

■ 調査期間

- 2018年11月19日(月) 9時～18時

■ 有効回収数

- 109名

調査結果の概要

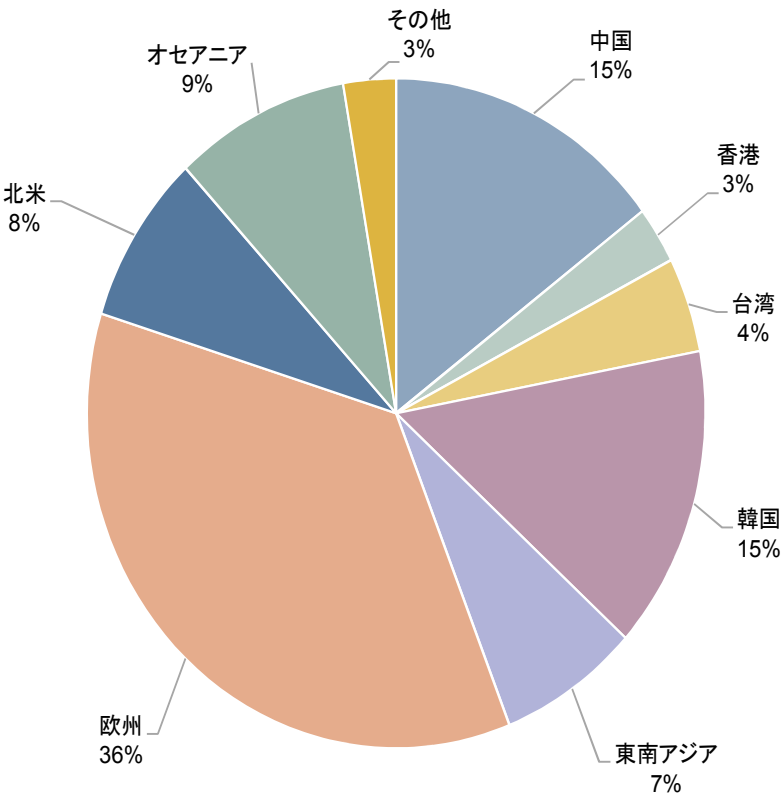
京都駅調査

■ 国籍別の回答者属性

- 欧州が最も多く36%、次いで中国15%、韓国15%と続く

国籍別の回答者属性

	人数（人）	割合（％）
全体	109	100
中国	16	15
香港	3	3
台湾	5	5
韓国	16	15
東南アジア	8	7
欧州	39	36
北米	9	8
オセアニア	10	9
その他	3	3

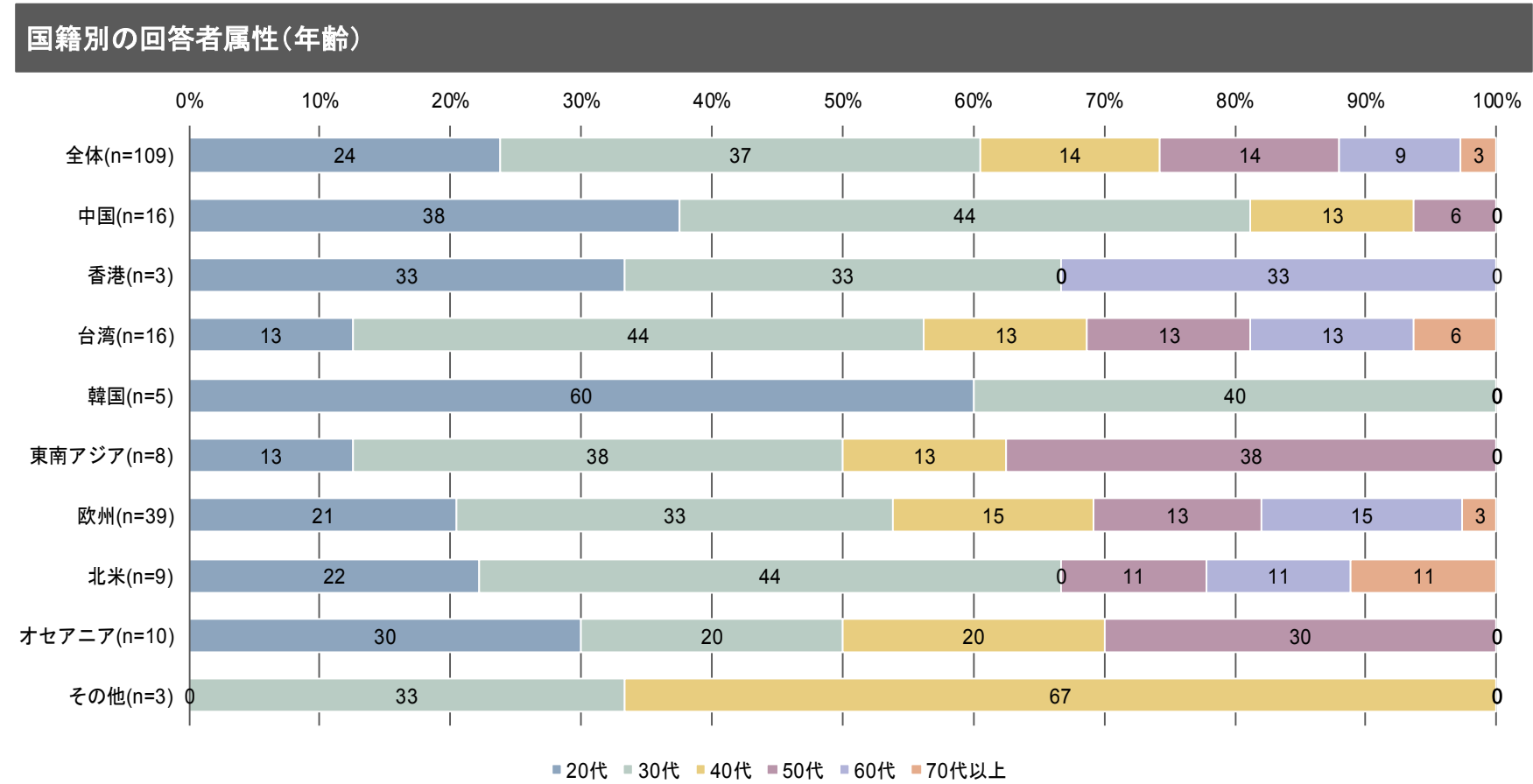


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の回答者属性(年齢)

- 30代未満が全体の約6割。国籍別には、中国、韓国、北米などで比較的若年層が多い。

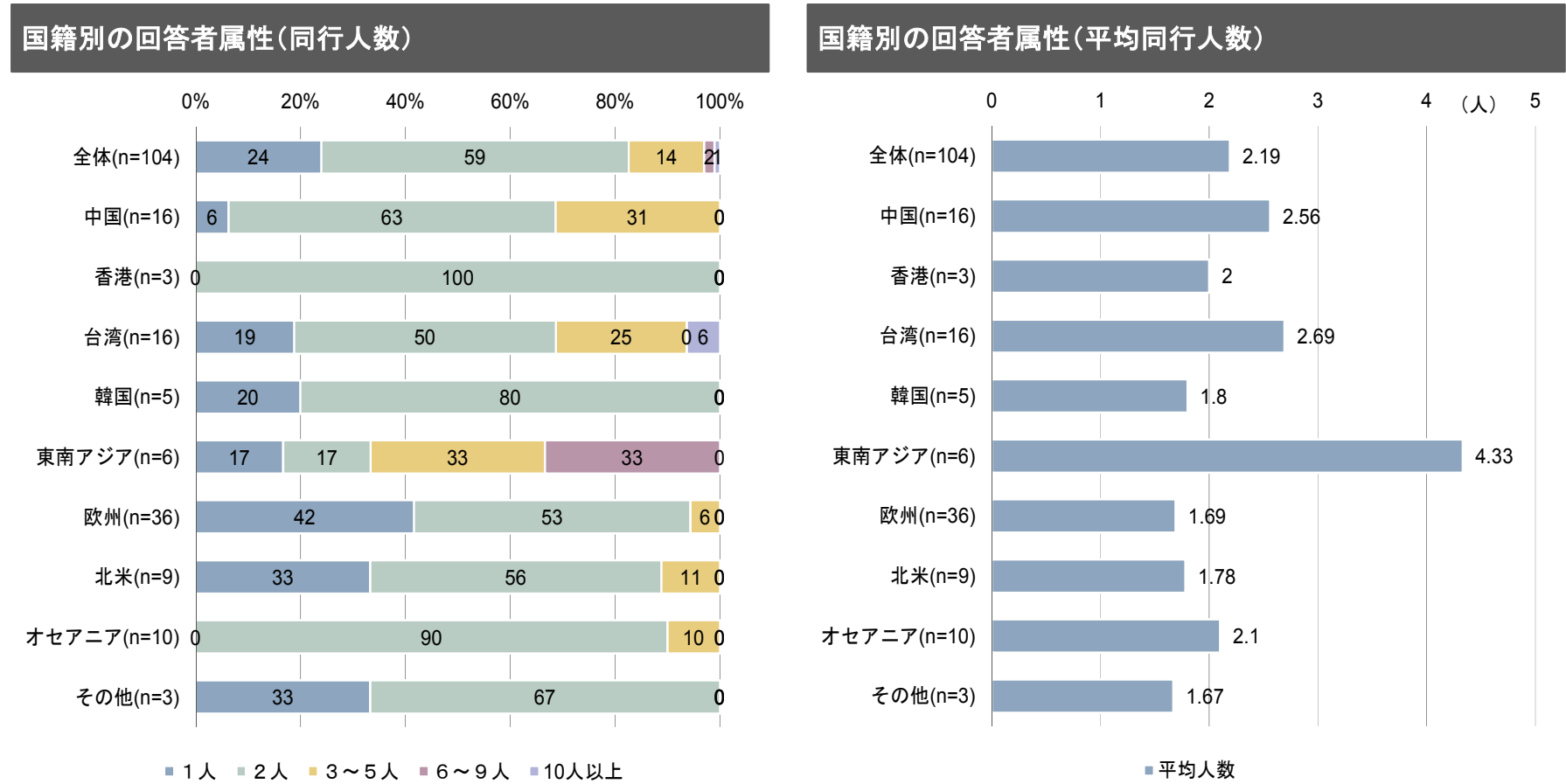


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の回答者属性(同行人数)

- 2人が最も多く約6割。国籍別には、東南アジアの人数が最も多く、欧米は一人旅が3割以上と比較的人数が少ない。

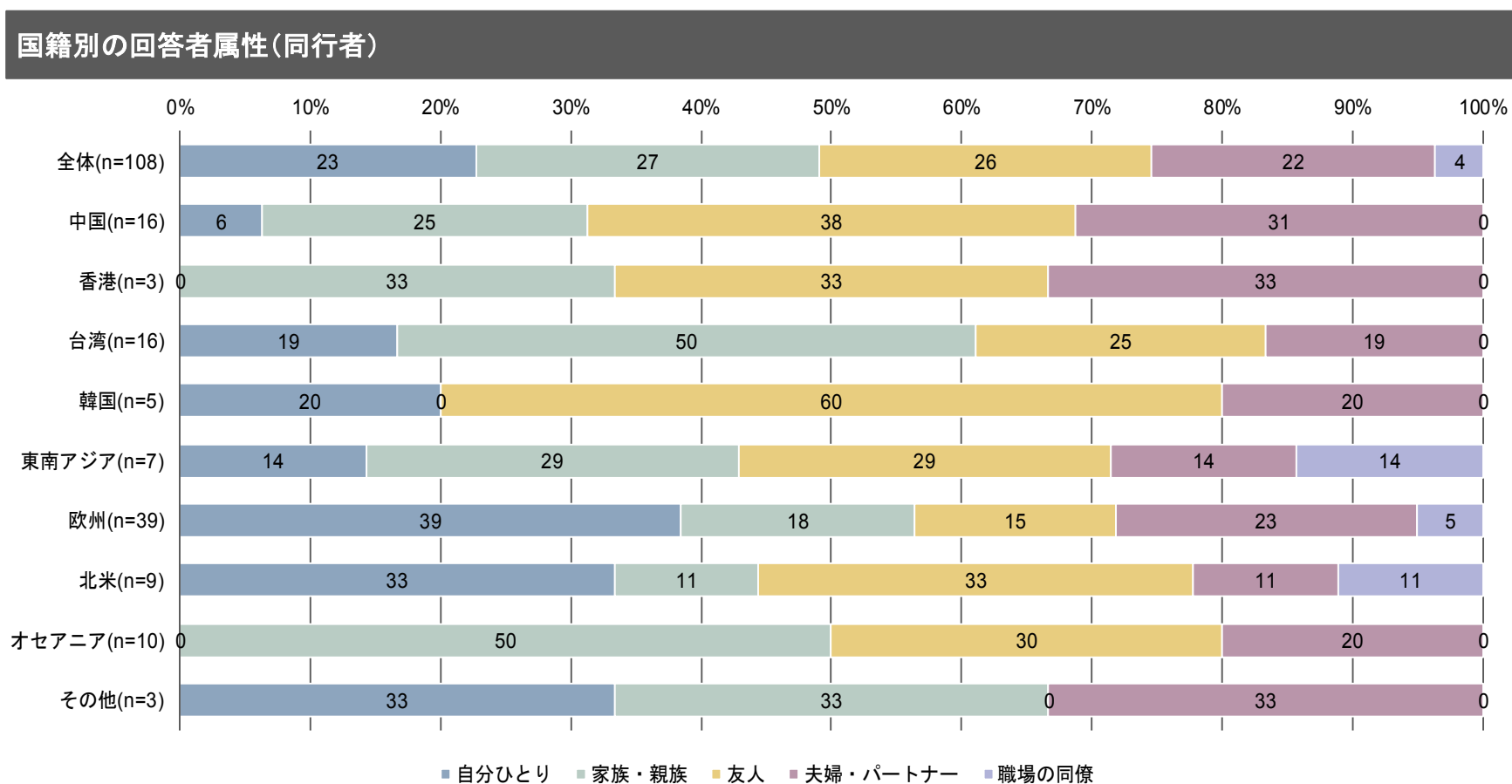


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の回答者属性(同行者)

- 中国は夫婦、台湾・オセアニアは家族・親族、欧米はひとりが多い傾向



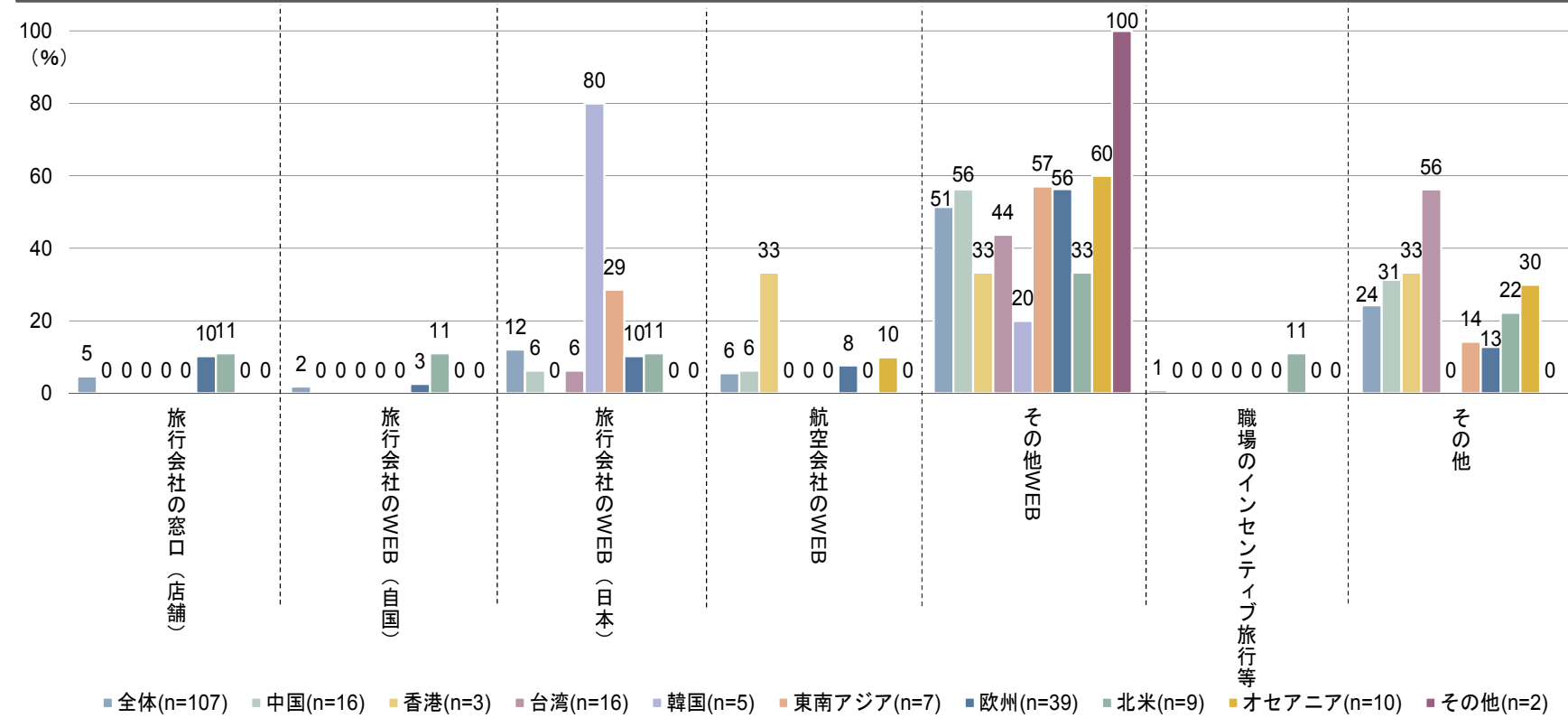
調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の旅行手配手段

- 全般的にBooking.com等のその他WEBの利用者が多いが、韓国は日本の旅行会社のWEBでの手配が多い。

国籍別の旅行手配手段

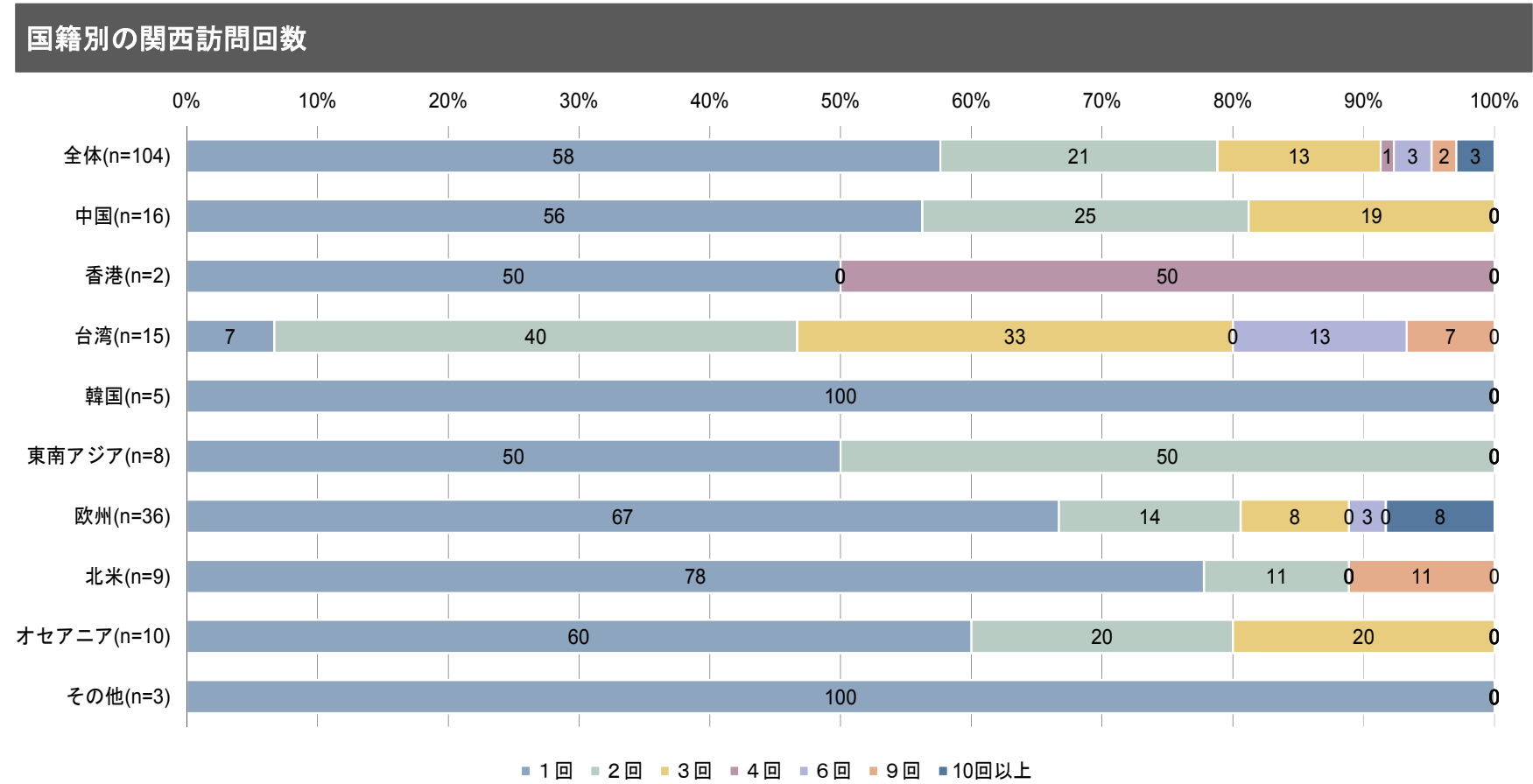


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の関西訪問回数

- 欧米で1回目の比率が高く、台湾は9割以上が2回以上の訪問者



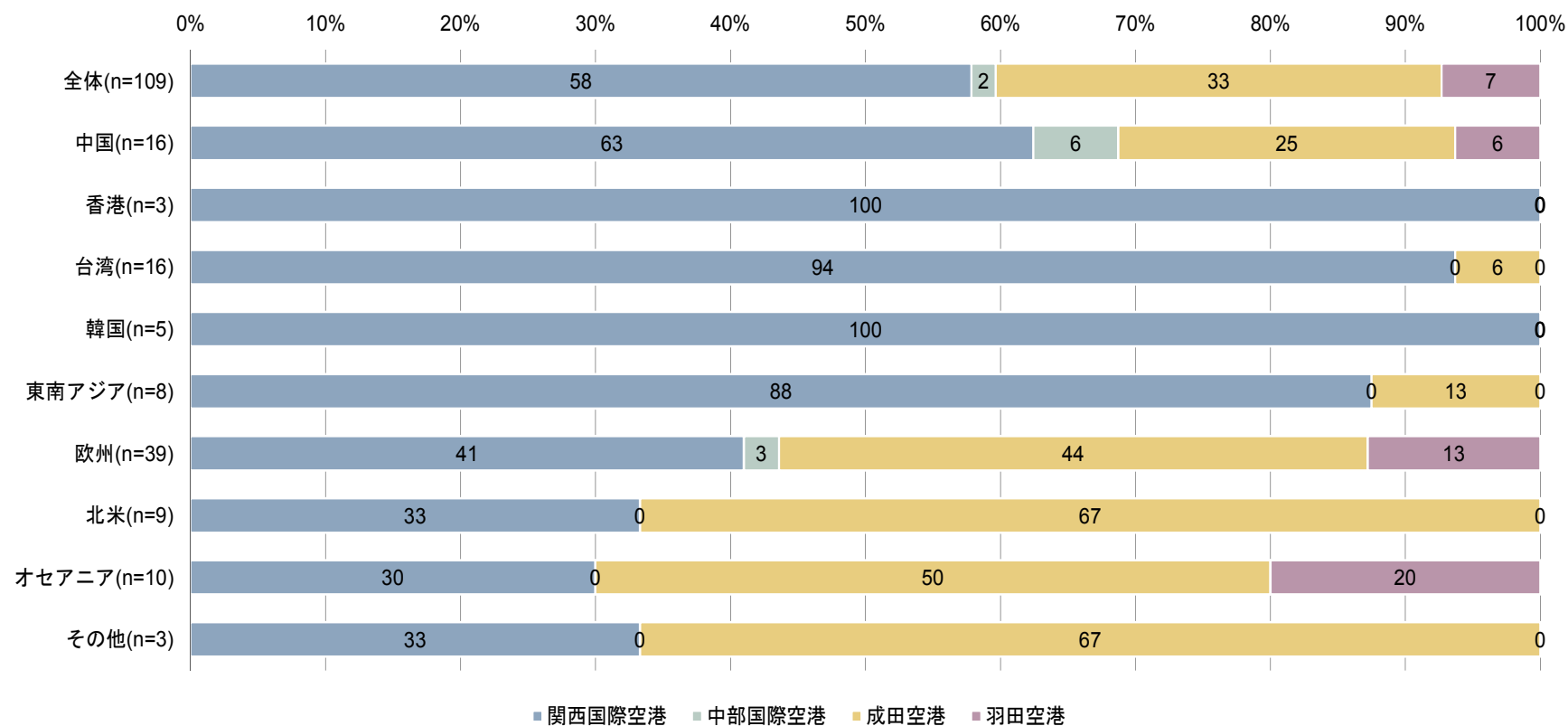
調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の旅程

- 約6割が関空入国、約4割が成田・羽田入国。欧米豪で成田や羽田入国者が多くみられる

国籍別の入国空港

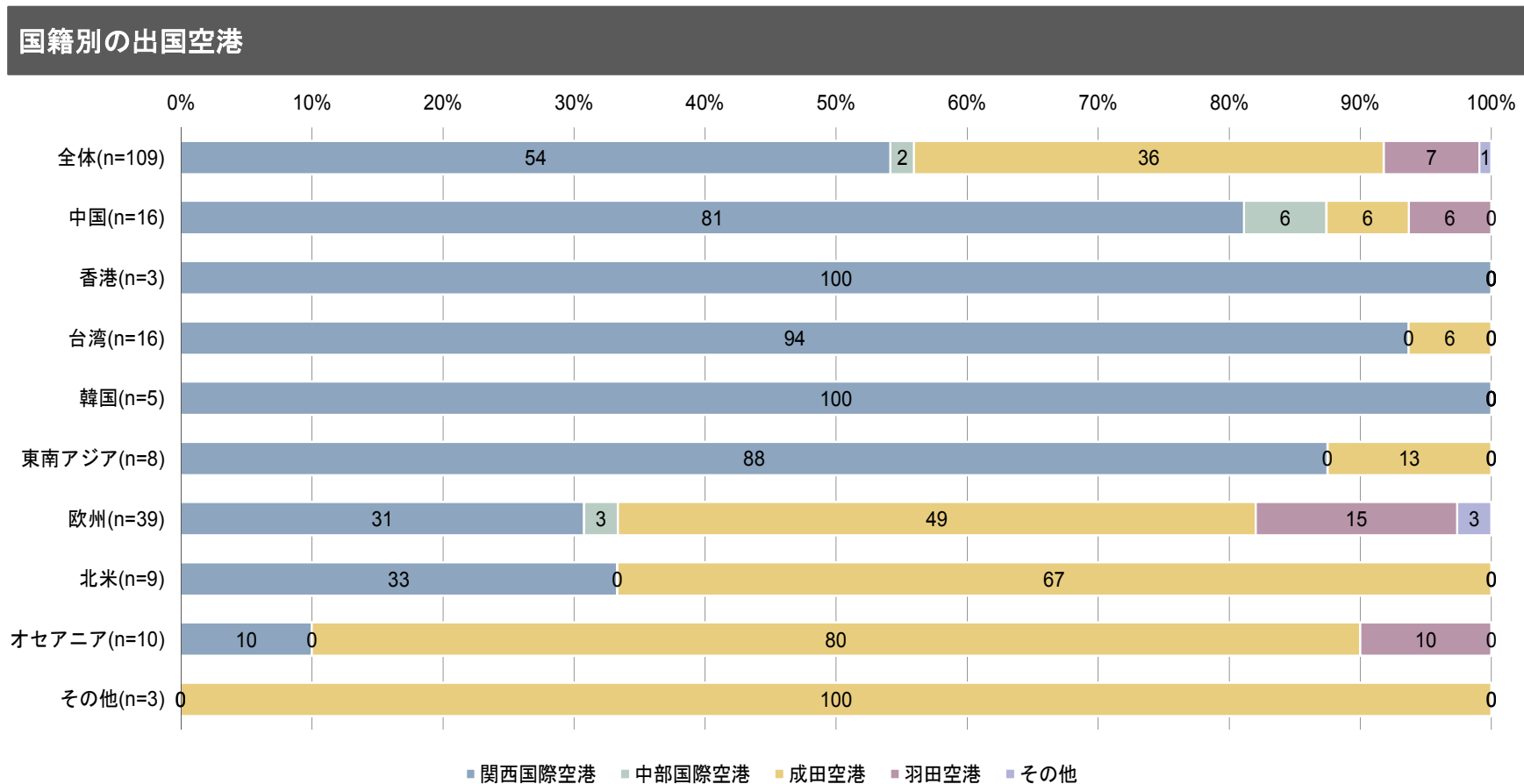


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の旅程

- 約6割が関空出国、約4割が成田・羽田出国。欧米豪で成田や羽田出国者が多くみられる

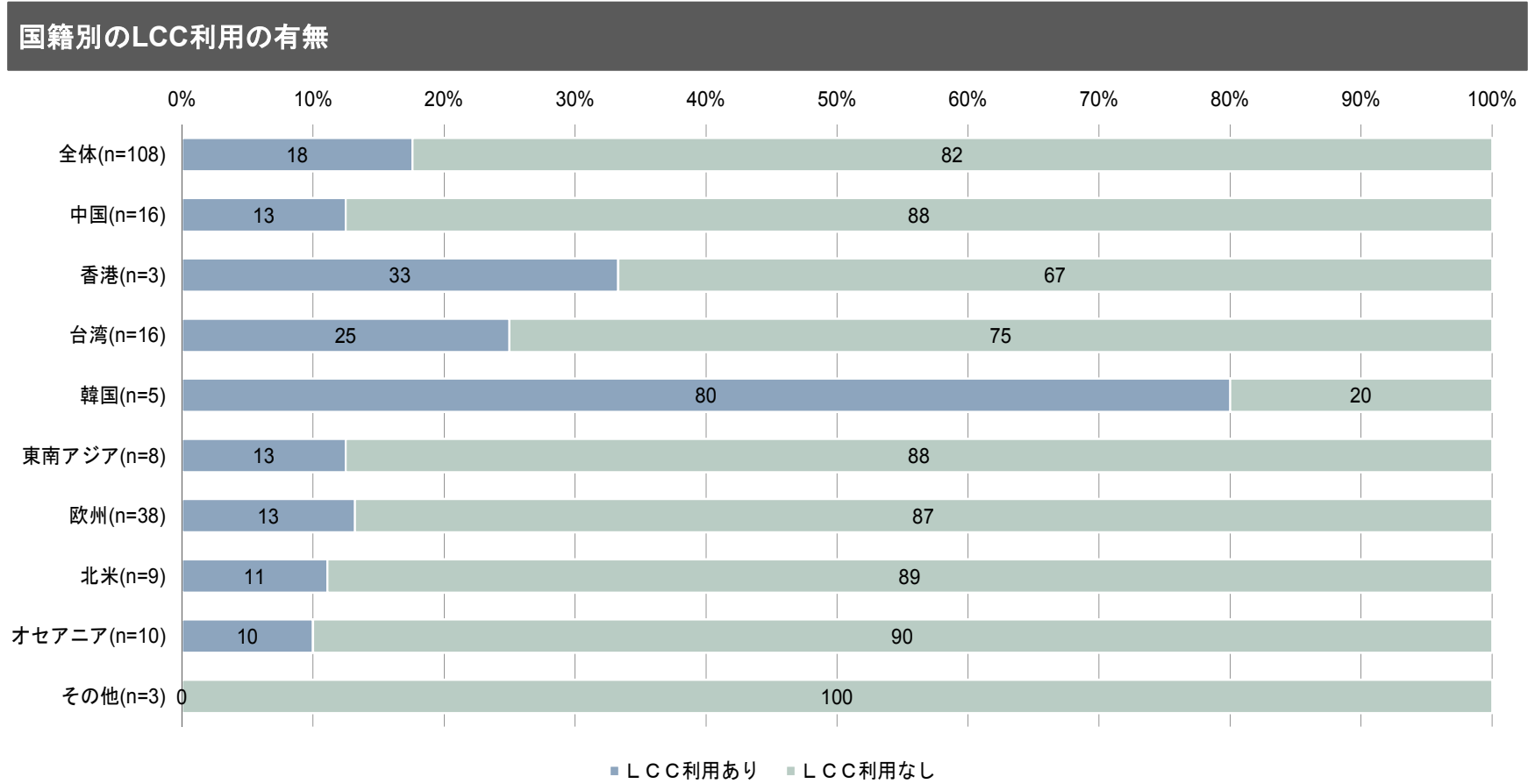


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の旅程

- 韓国はLCC利用者が多い

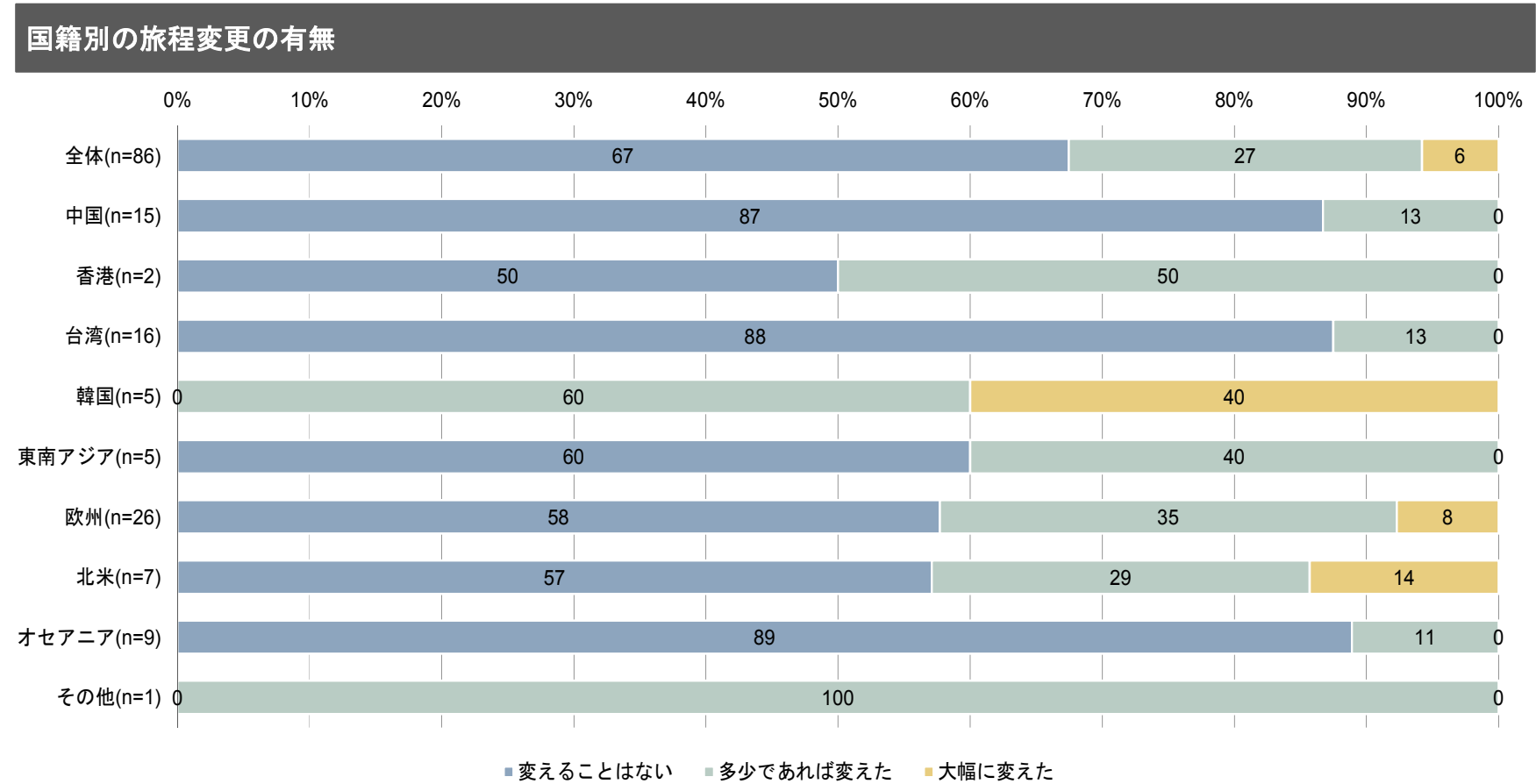


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の旅程

- 欧米、東南アジアは4割程度が旅程を変更。



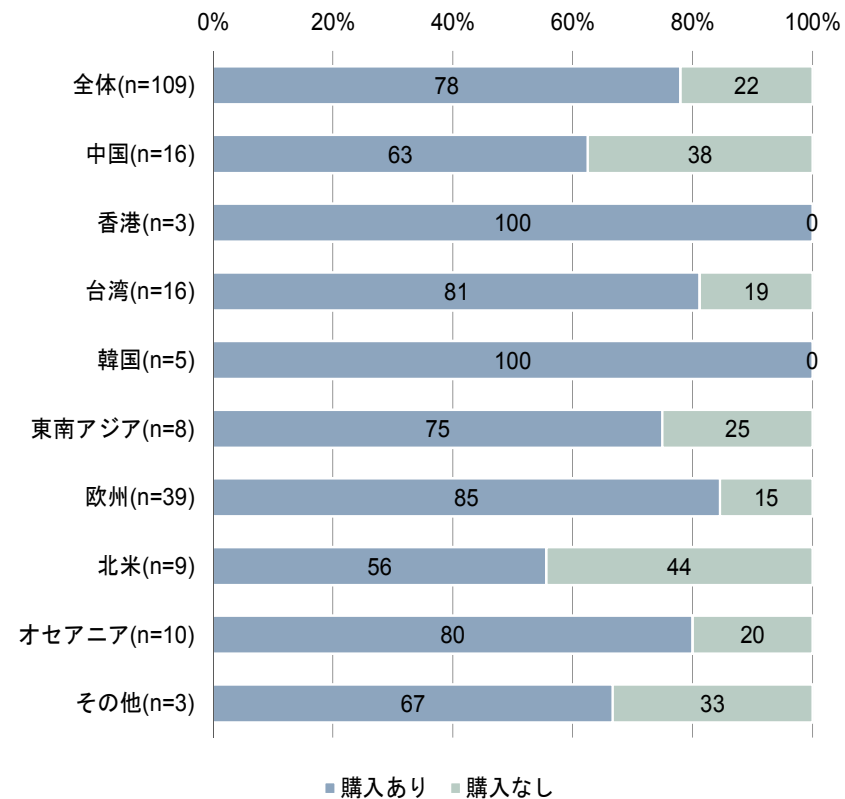
調査結果の概要

京都駅調査

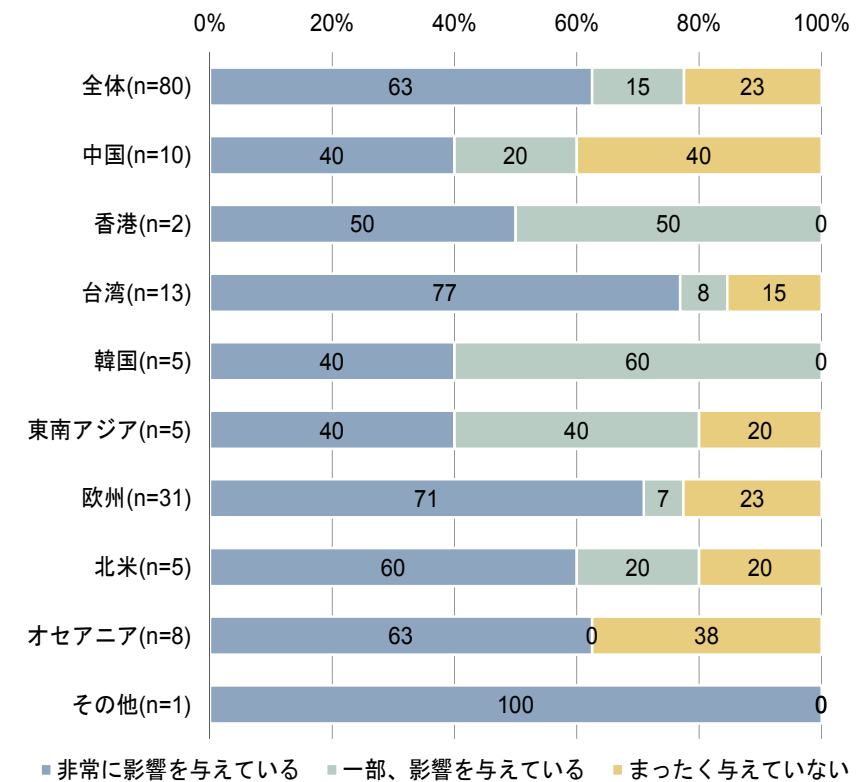
■ 国籍別の旅程

- 約8割がパスを購入。うち、8割程度が旅程に何らかの影響を与えたと回答。

国籍別のパス購入の有無



国籍別のパスの影響の有無

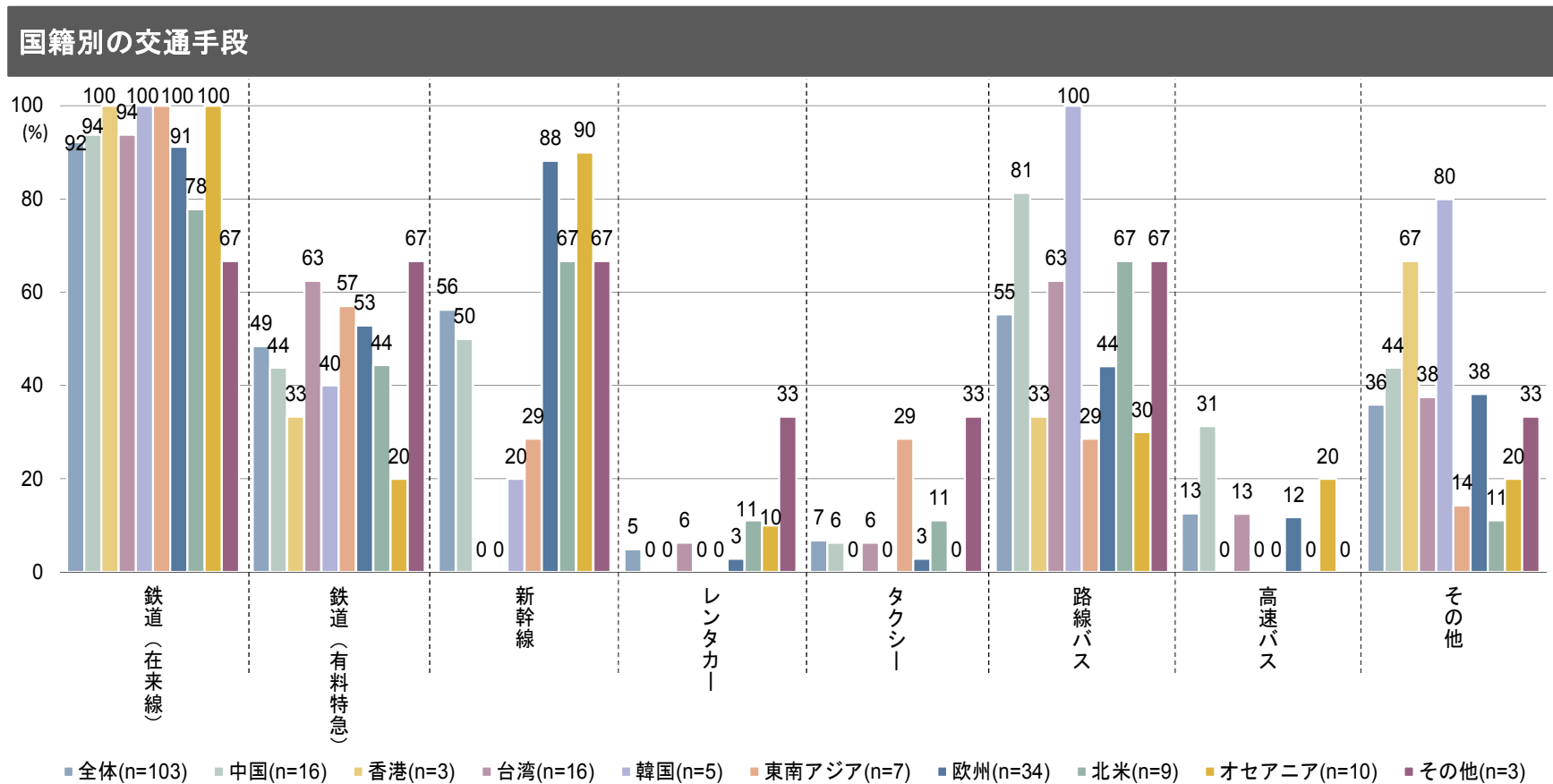


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の交通手段

- 大半が鉄道を利用。路線バスの利用も55%存在。レンタカー利用は全体のわずか5%



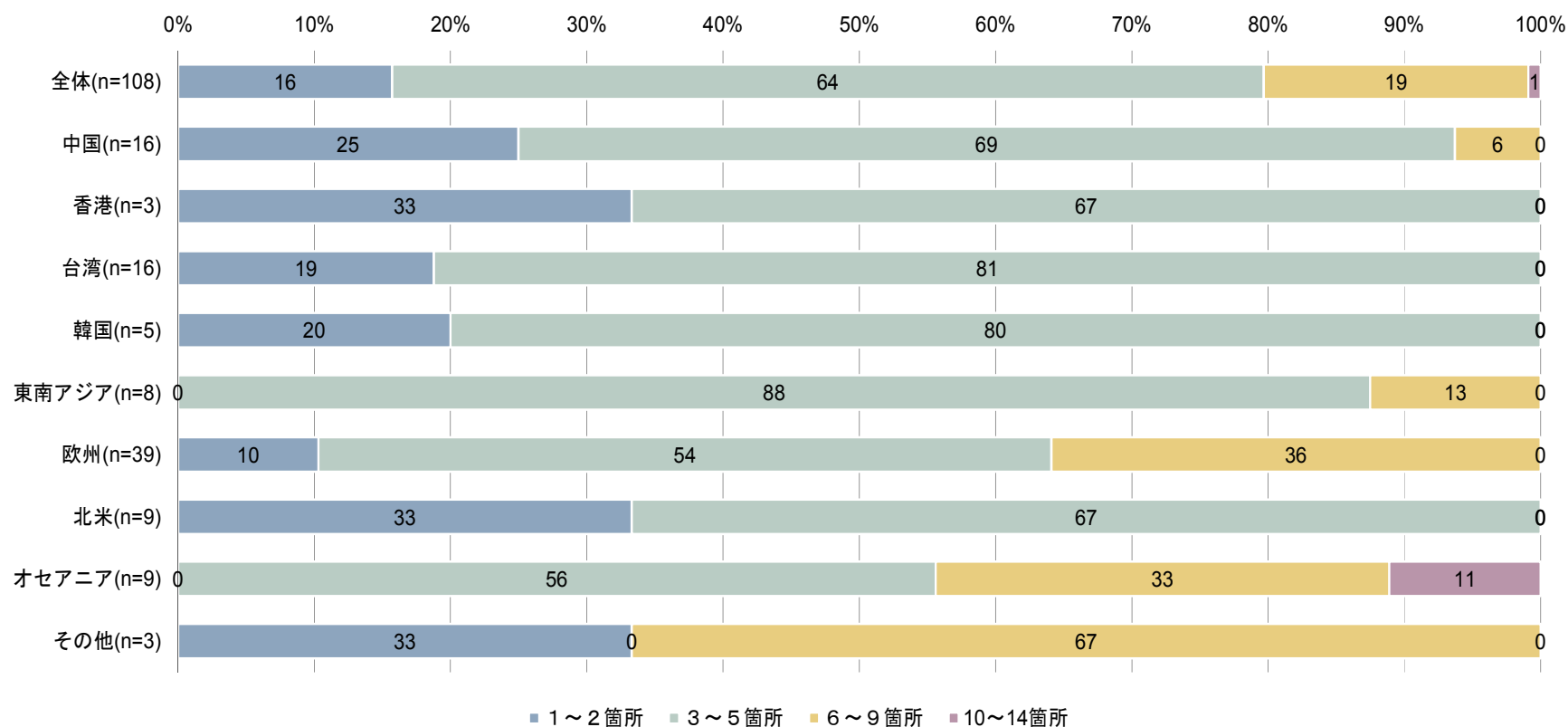
調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の訪問都市数

- 3～5か所を訪問する人が全体の6割以上。国籍別には、欧州、オセアニアで6箇所以上の訪問者が3割以上と多い。

国籍別の訪問都市数



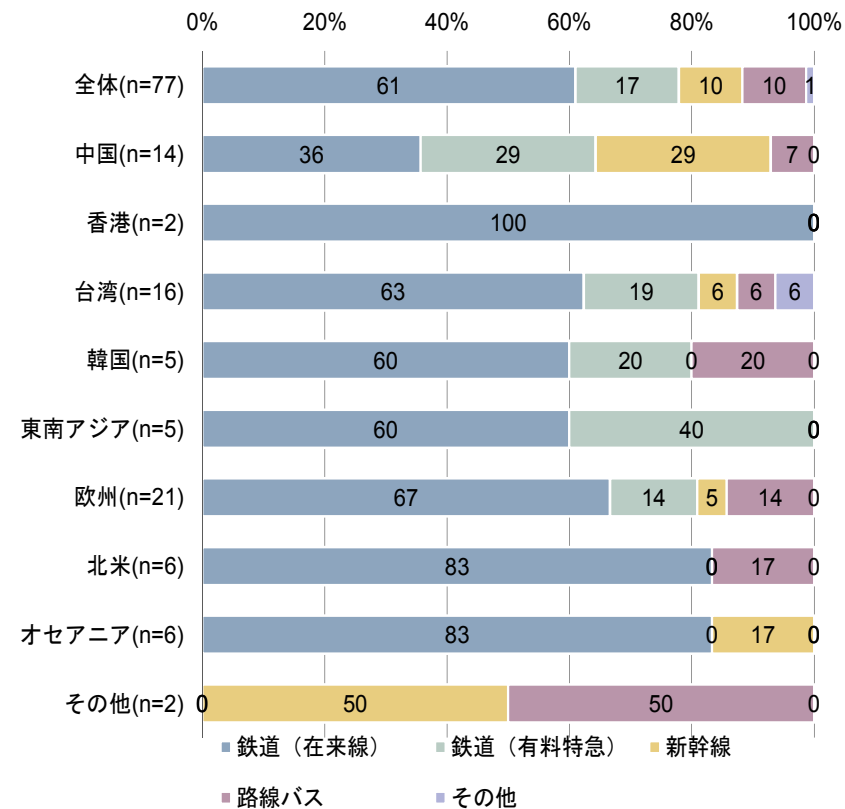
調査結果の概要

京都駅調査

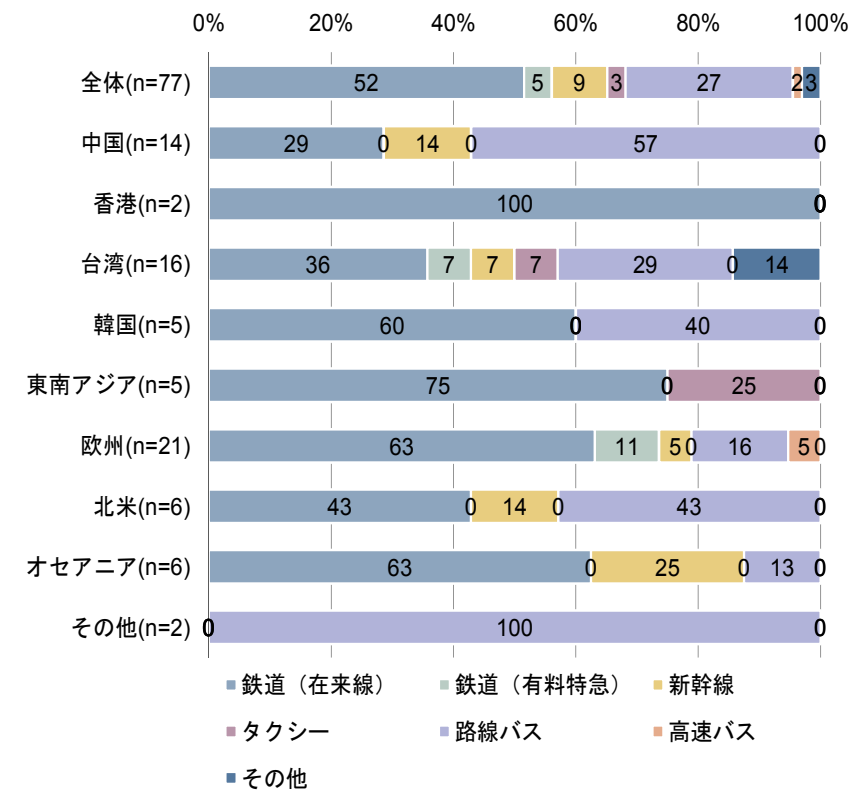
■ 国籍別の交通手段

- 鉄道による流入入が最も多く約6割。

国籍別の流入交通手段



国籍別の流出交通手段

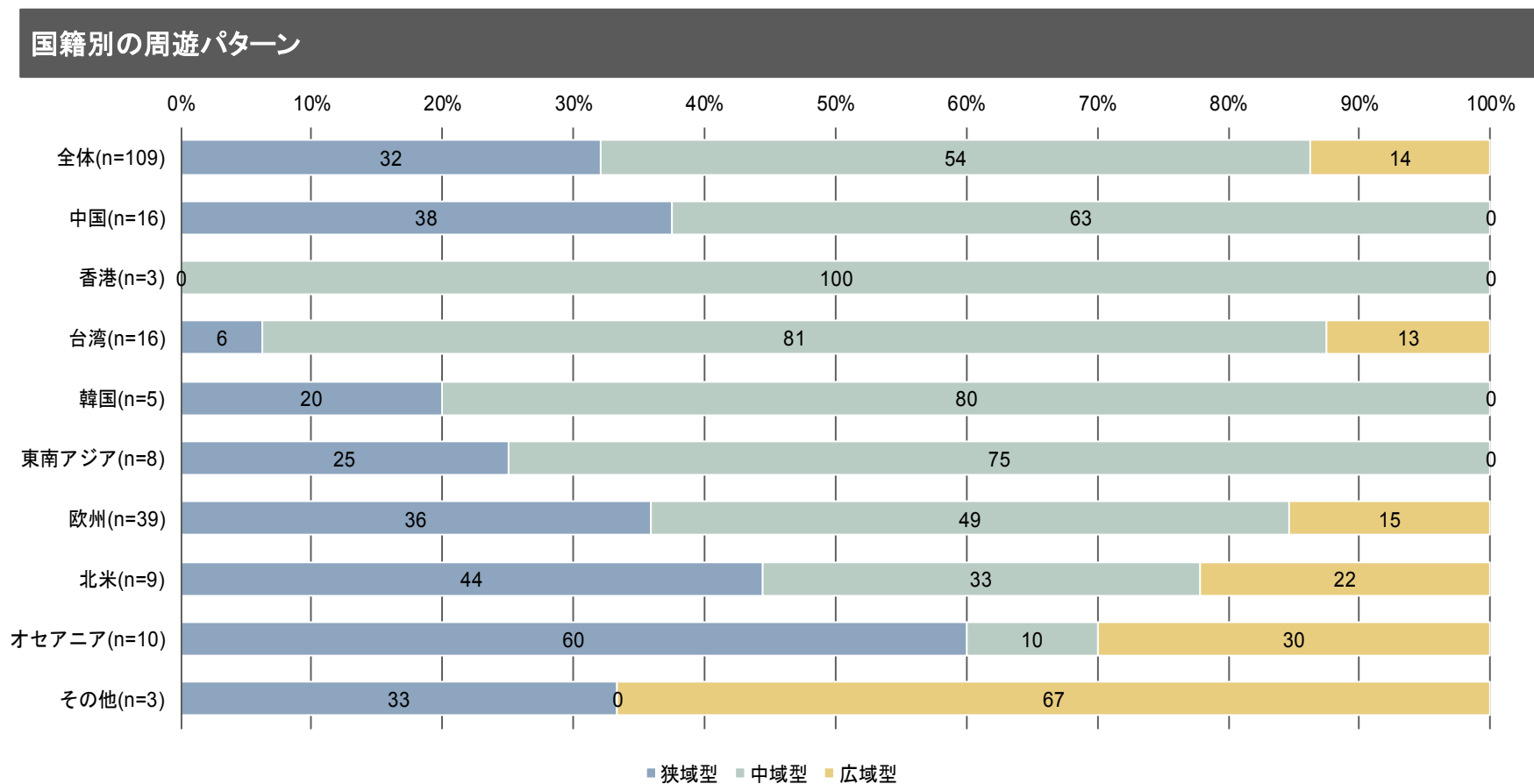


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の周遊パターン

- 狭域型が多いのは、中国、欧米豪。中域型が多いのは、香港、台湾、東南アジア。広域型が多いのは米豪。

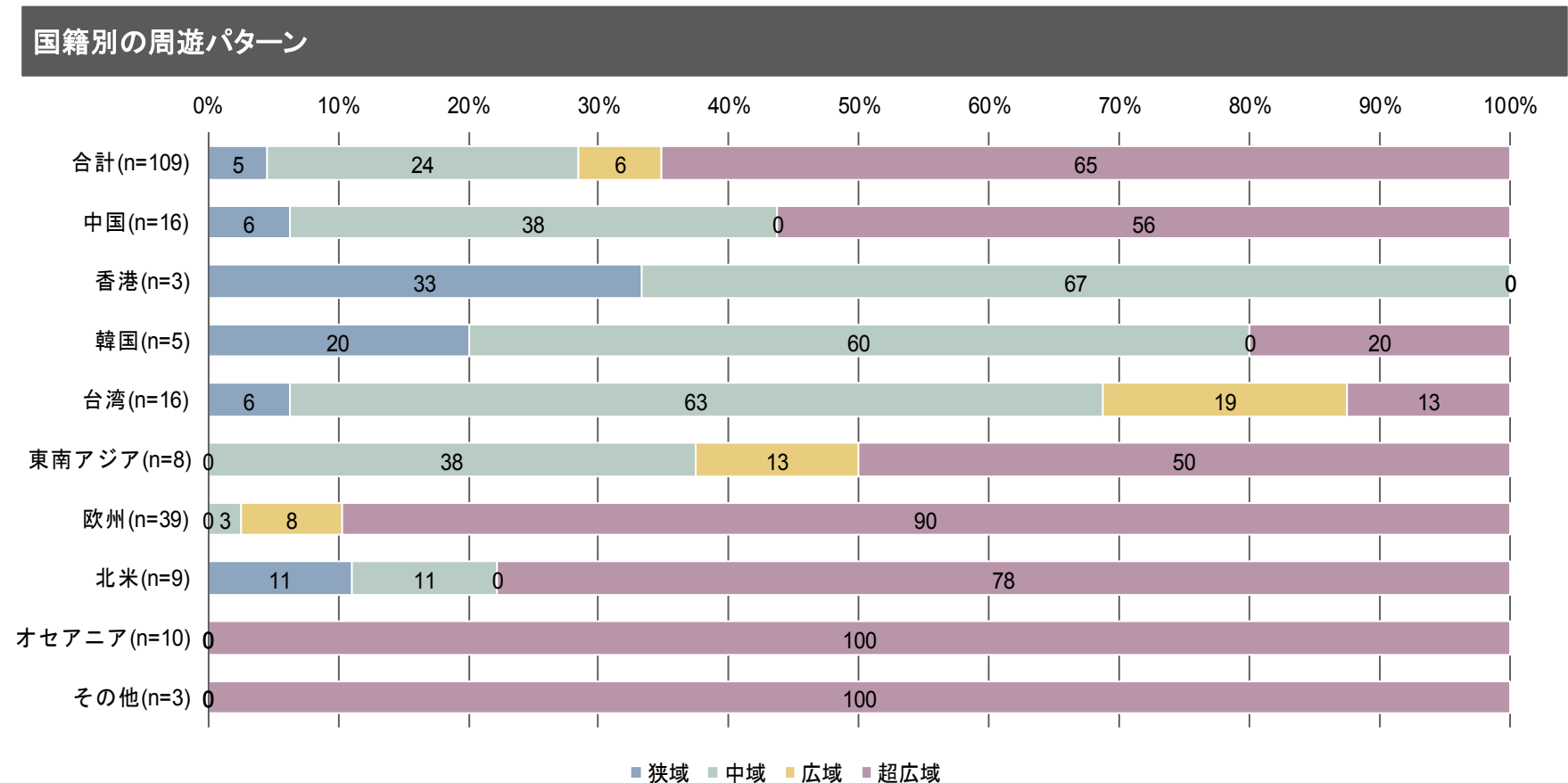


調査結果の概要

京都駅調査

■ 国籍別の周遊パターン

- 香港、台湾・韓国は中域型、中国・東南アジアは中域型と超広域型、欧米豪は超広域型が多い。



※周遊パターンは関西内の訪問地によって分類。訪問地は以下の定義に基づいて分類。

狭域: 大阪市周辺エリア、関西空港周辺エリア、中間エリア(大阪・関西・京都の間に位置する市町)、京都市エリアのみ

中域: 狭域を除き、大阪駅または京都駅から概ね1時間以内に位置する市町

広域: 狭域・中域以外

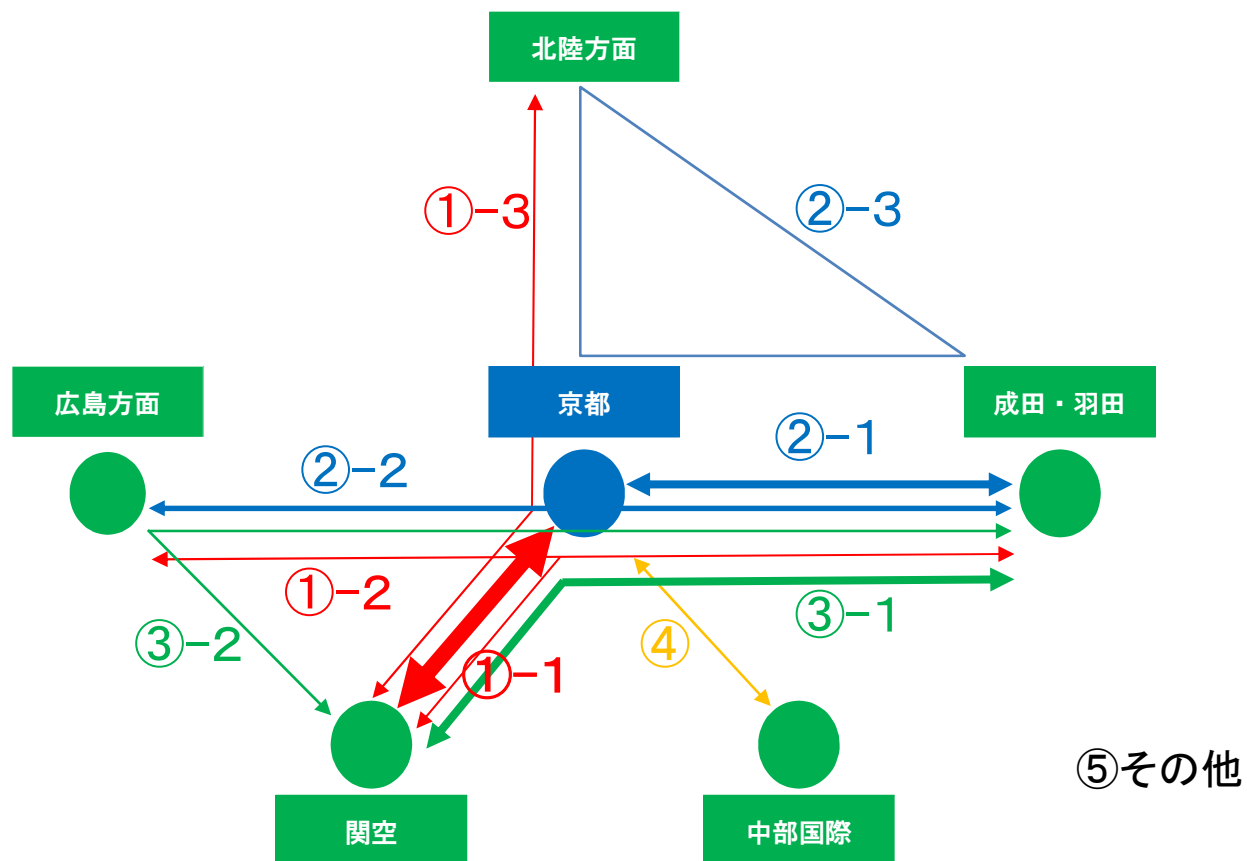
観光のパターン分類

京都駅調査

■ 分類

- 周遊ルートの結果から以下のパターンに分類した。

周遊ルートのパターン分類



観光のパターン分類

京都駅調査

- 最も多いのはルート①-1(35%)、次いで②-1(20%)、③-1(16%)
- 国籍別には、香港・台湾・韓国・東南アジアでルート①が多く、欧米豪でルート②, ③が多い

周遊ルートのパターン分類

	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	③-1	③-2	④	⑤
合計(n=109)	35	6	5	20	8	3	16	6	2	1
中国(n=16)	44	0	6	0	0	0	44	0	6	0
香港(n=3)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台湾(n=16)	88	0	6	6	0	0	0	0	0	0
韓国(n=5)	80	20	0	0	0	0	0	0	0	0
東南アジア(n=8)	50	13	25	0	0	13	0	0	0	0
欧州(n=39)	10	10	3	31	13	5	10	13	3	3
米(n=9)	22	0	0	56	0	0	22	0	0	0
豪(n=10)	0	0	0	20	40	0	40	0	0	0
その他(n=3)	0	0	0	67	0	0	0	33	0	0

関空インアウト

成田・羽田インアウト

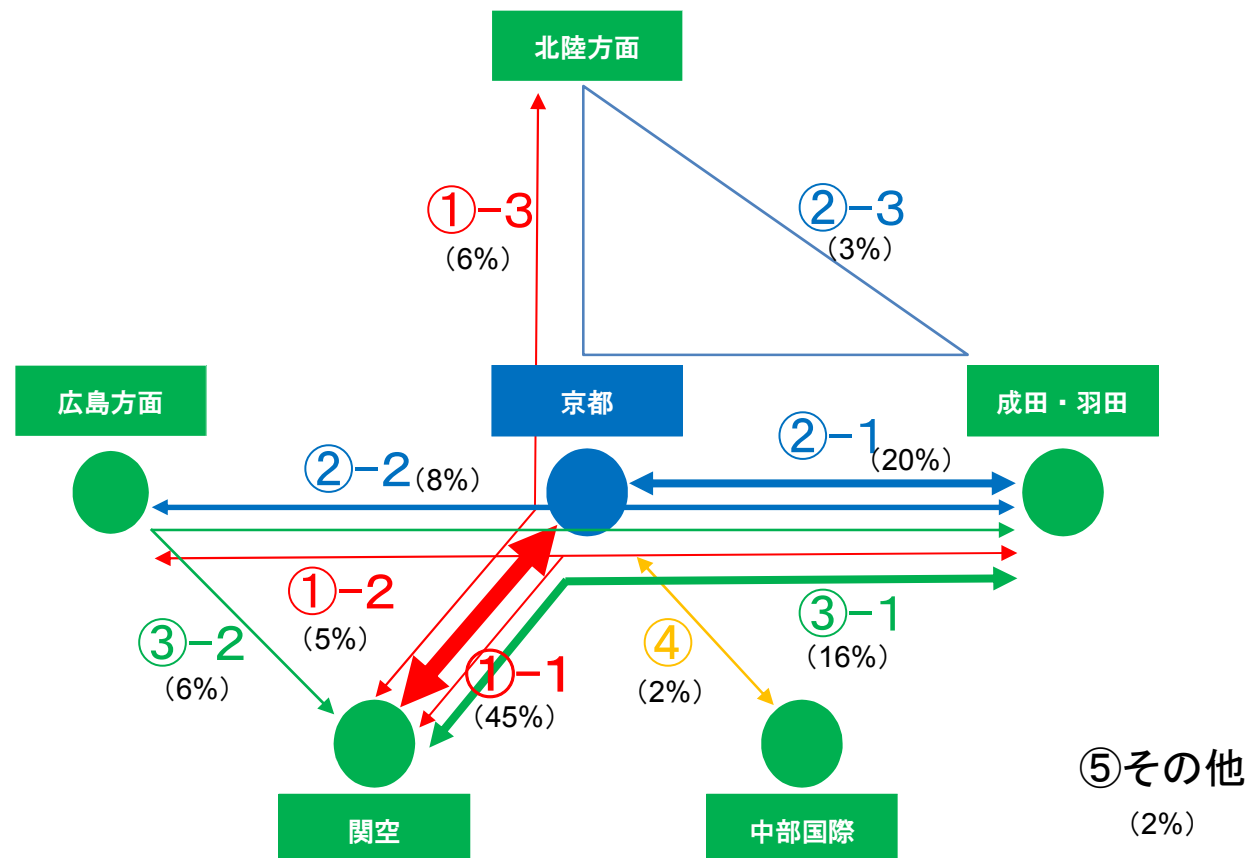
関空⇄成田・羽田

【周遊パターンの結果】 全体(n=109)

京都駅調査

- 最も多いのは①-1 (35%)、次いで②-1 (20%)、③-1 (16%)

周遊ルートのパターン分類

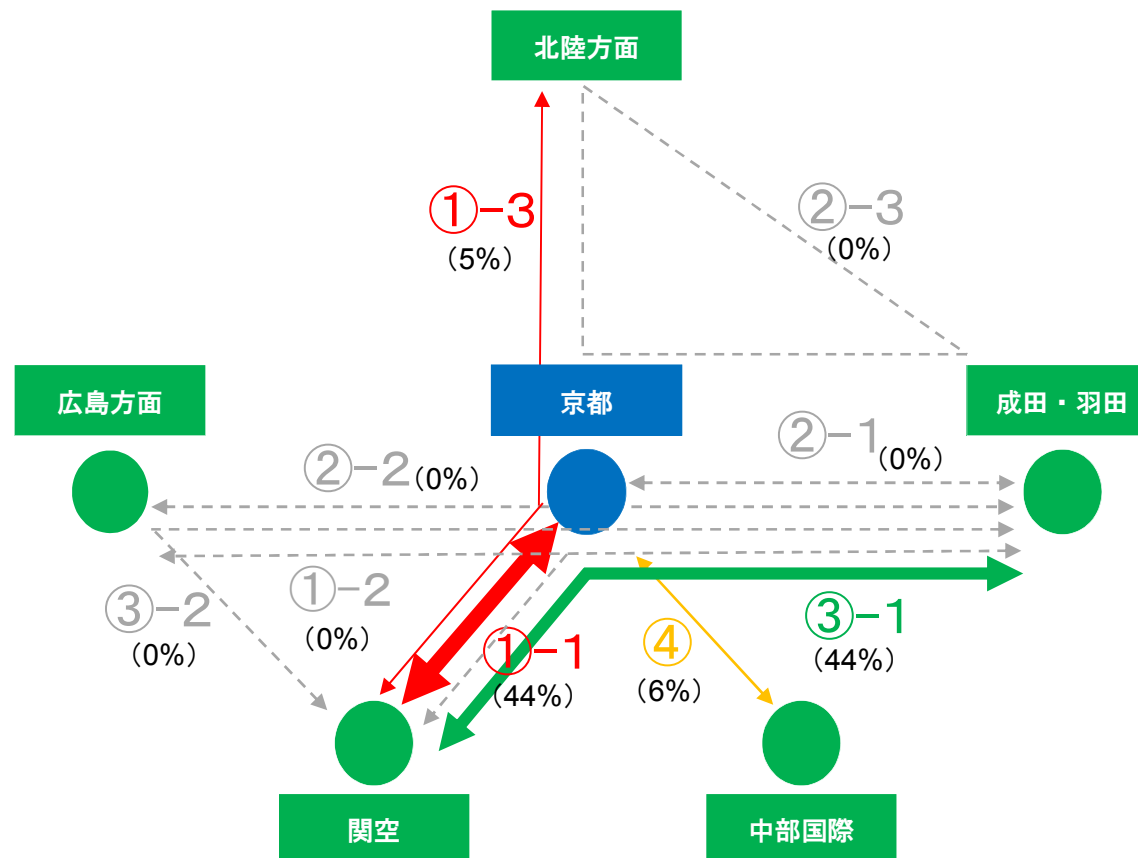


【周遊パターンの結果】 中国(n=16)

京都駅調査

- 多いのは①-1(関空インアウト、44%)及び③-1(東京⇔関空、44%)、

周遊ルートのパターン分類

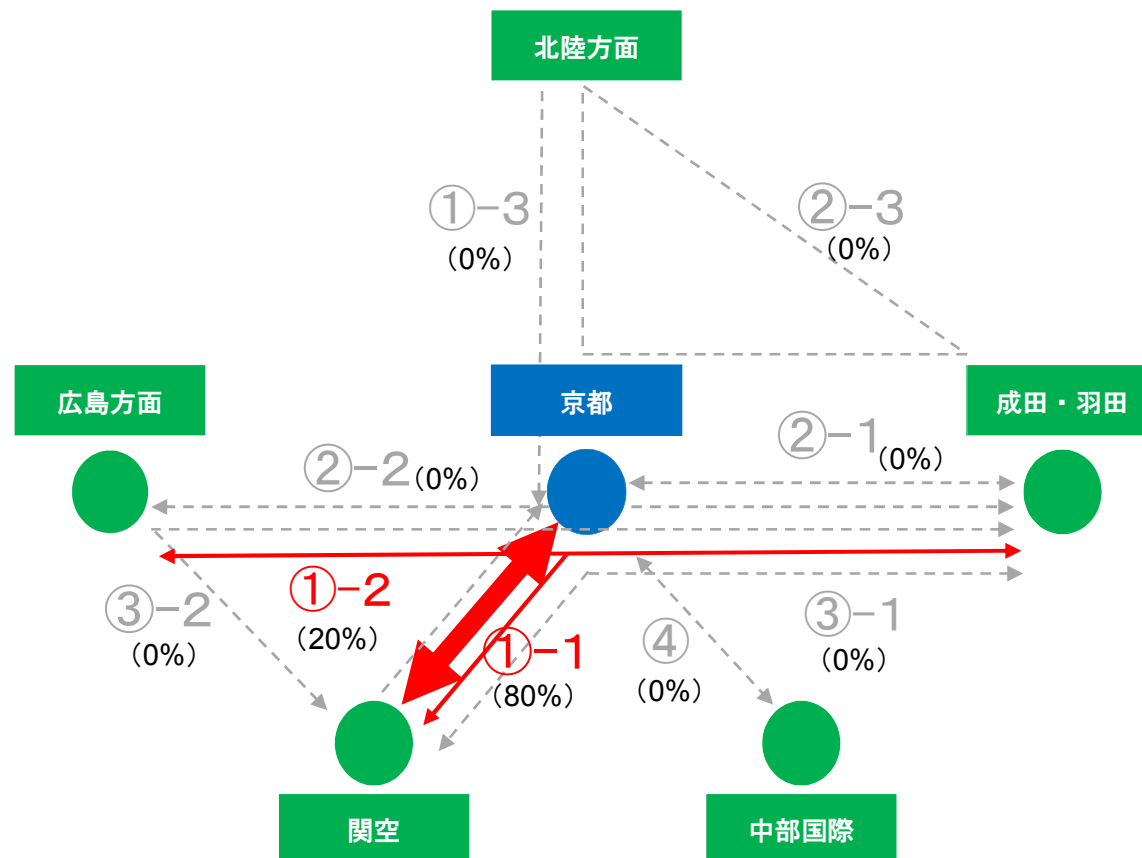


【周遊パターンの結果】 韓国(n=5)

京都駅調査

- 関空インアウトのみ。うち、①-1が最多で80%

周遊ルートのパターン分類

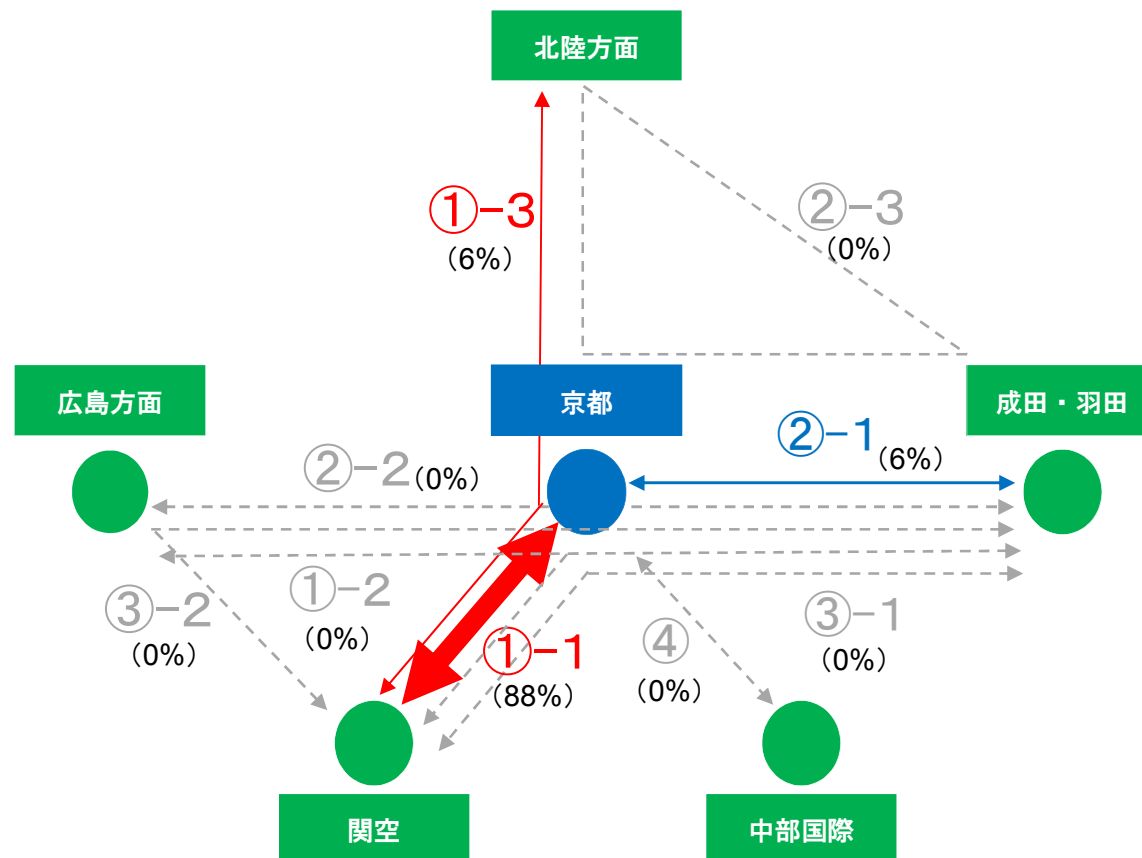


【周遊パターンの結果】 台湾(n=16)

京都駅調査

- 最も多いのは①－１(88%)、その他、①－３及び②－１が6%

周遊ルートのパターン分類

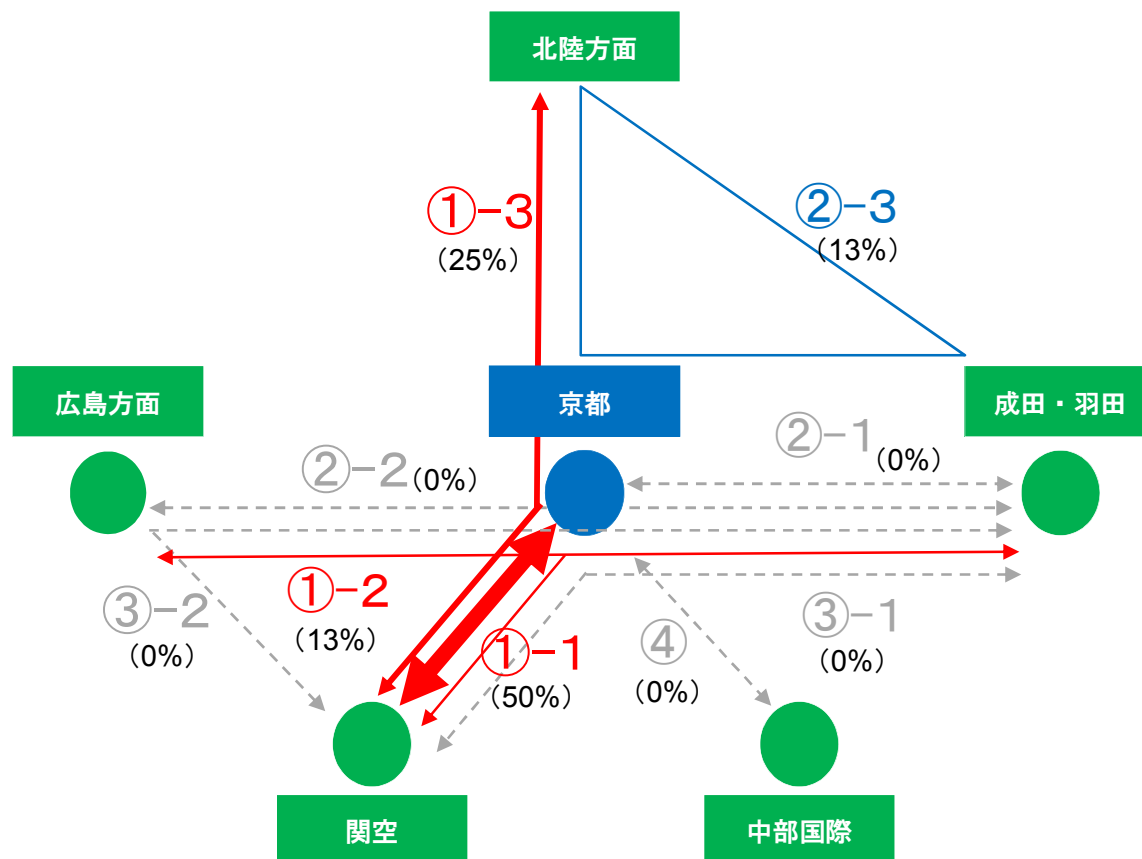


【周遊パターンの結果】 東南アジア (n=8)

京都駅調査

- 最も多いのは①-1 (50%)、次いで①-3 (25%)、②-3 (13%)
- 北陸方面と組み合わせた観光が比較的多い(①-3、②-3を合わせて38%)

周遊ルートのパターン分類

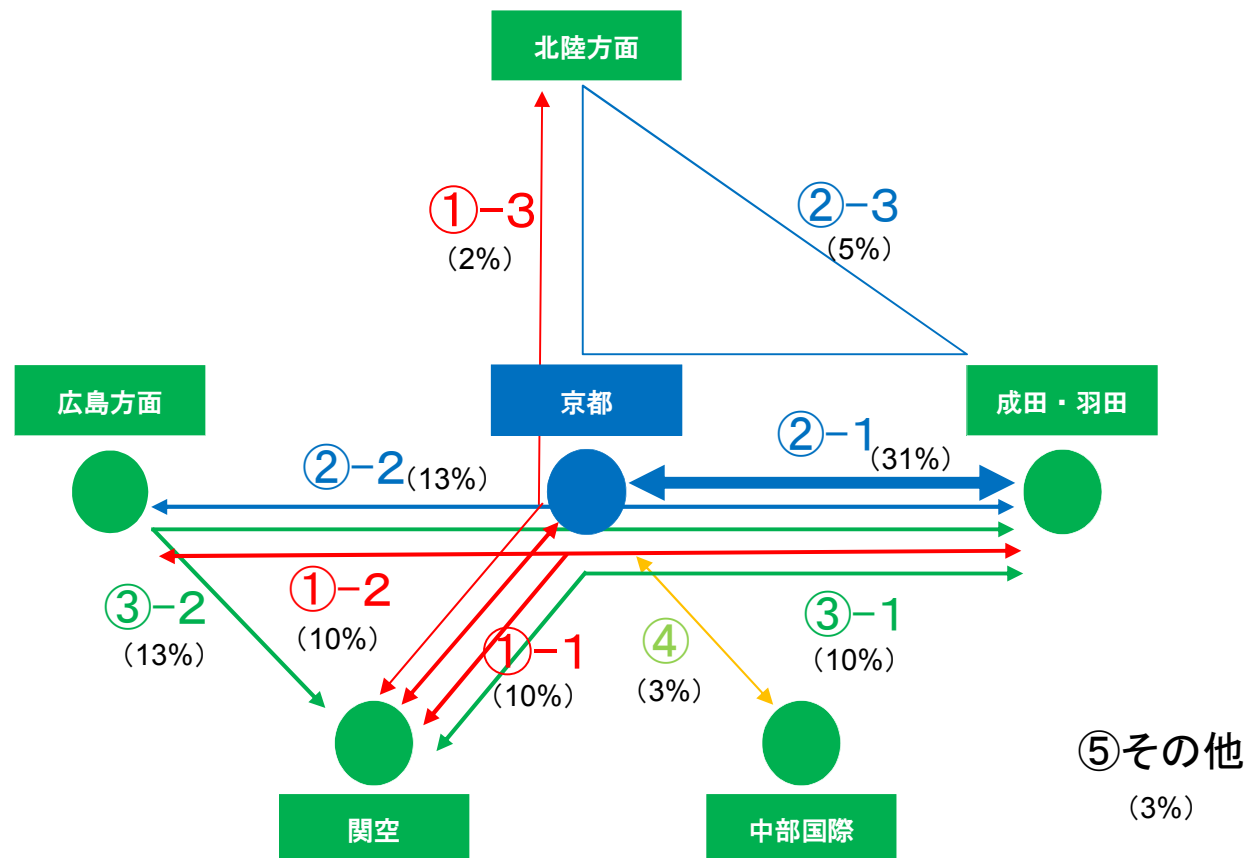


【周遊パターンの結果】 欧州(n=39)

京都駅調査

- 最も多いのは②-1 (31%)、次いで②-2 (13%)、③-2 (13%)

周遊ルートのパターン分類

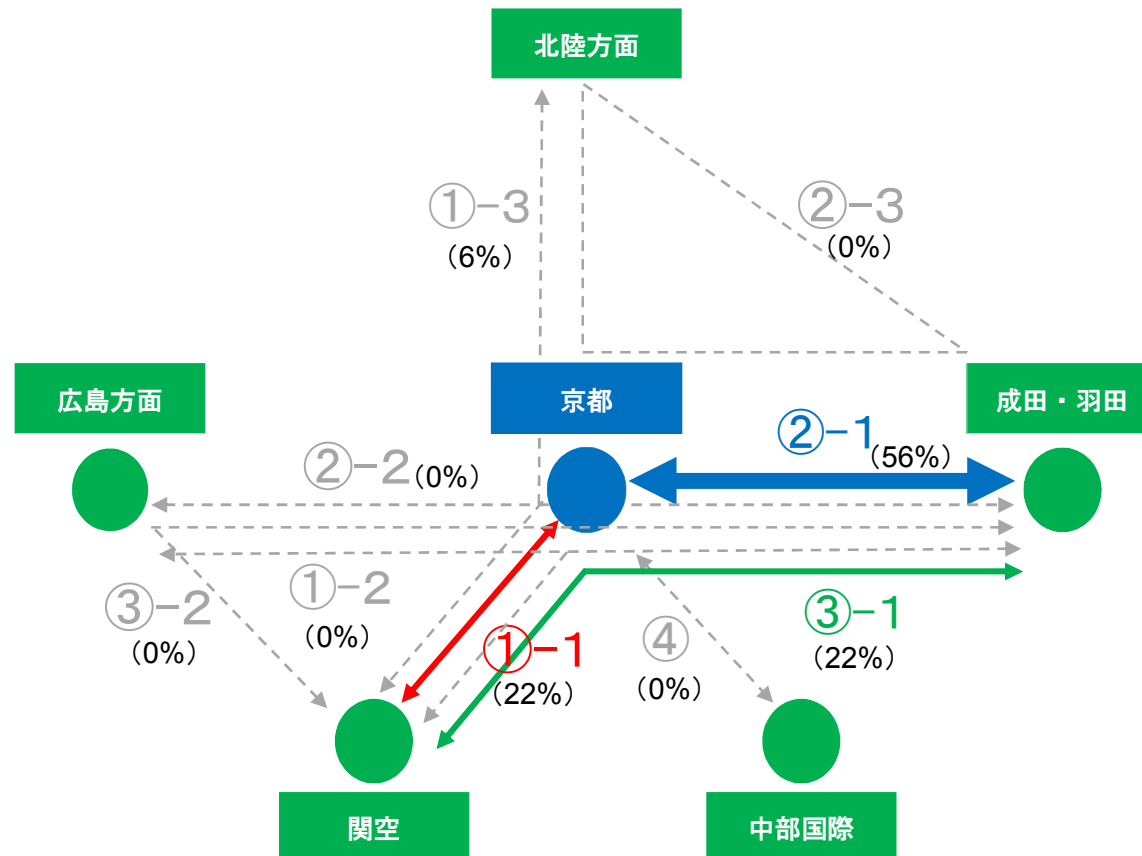


【周遊パターンの結果】 米 (n=9)

京都駅調査

- 最も多いのは②-1 (56%)、次いで①-1 (22%)、③-1 (22%)

周遊ルートのパターン分類

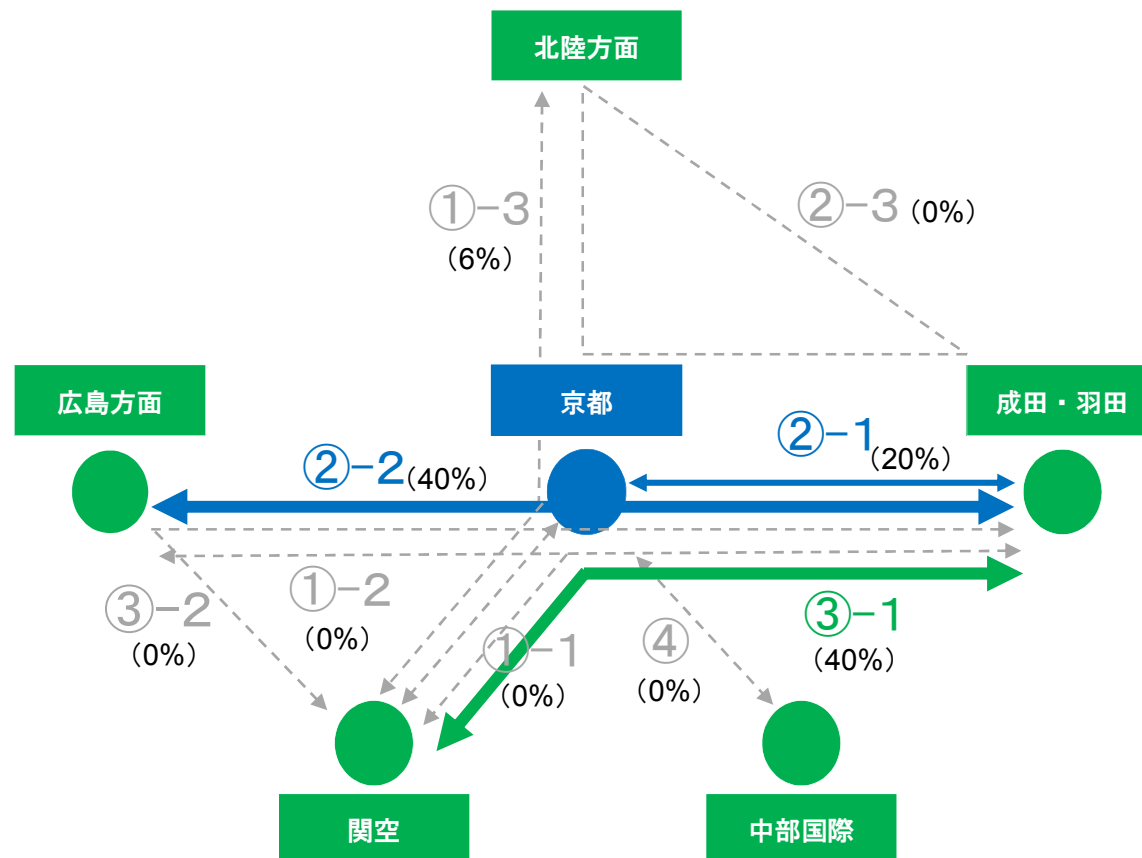


【周遊パターンの結果】 豪 (n=8)

京都駅調査

- 最も多いのは②-3 (40%) 及び③-1 (40%)、次いで②-1 (20%)

周遊ルートのパターン分類



まとめ

京都駅調査

■ 関西域外からの周遊について

- 関西のみ周遊(①－１)の割合が高い国籍
 - － 香港(100%)、台湾(88%)、韓国(80%)、東南アジア(50%)、中国(44%)
- ゴールデンルートによる周遊(①－２、②－１、②－２、③)の割合が高い国籍
 - － 豪(100%)、北米(78%)、欧州(77%)、中国(44%)
- 関西⇄北陸(①－３、②－３)の割合が高い国籍
 - － 東南アジア(38%)、欧州(8%)、中国(6%)、台湾(6%)
- 関西⇄中部(④)の割合が高い国籍
 - － 中国(6%)、欧州(3%)

④新大阪駅調査

基礎情報

調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 調査方法

- 調査員(4名)による訪日外国人に対する対面ヒアリング調査

■ 調査地点

- JR新大阪駅周辺

■ 調査期間

- 2018年11月28日(水) 9時～18時

■ 有効回収数

- 102名

調査結果の概要

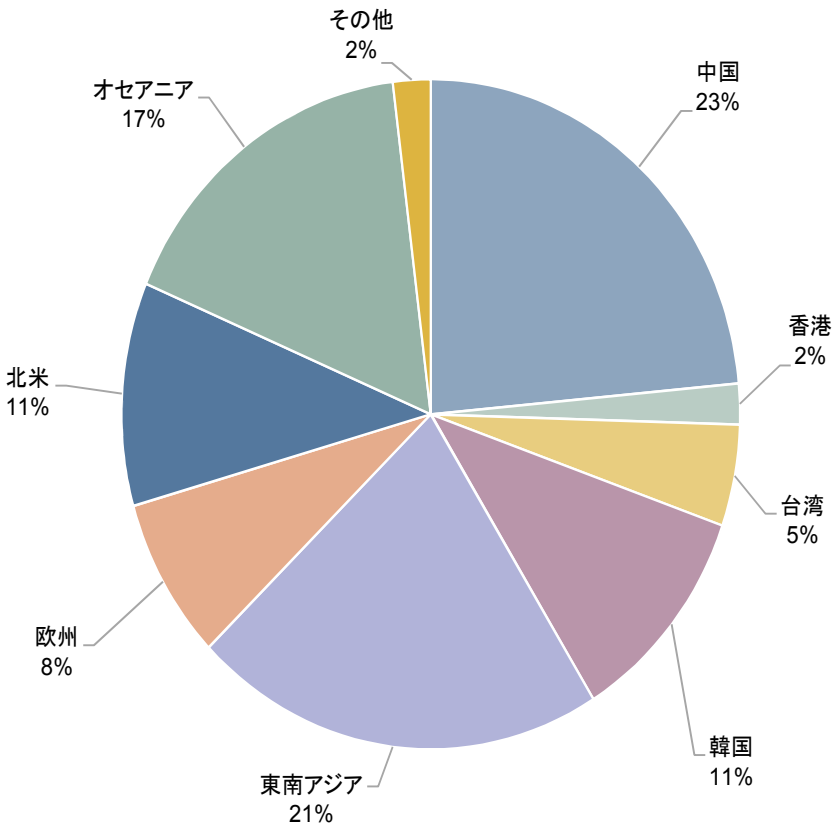
新大阪駅調査

■ 国籍別の回答者属性

- アジアが64%、欧州8%、北米11%、オセアニアが17%であった。

国籍別の回答者属性

	人数（人）	割合（％）
全体	102	100
中国	24	24
香港	2	2
台湾	5	5
韓国	11	11
東南アジア	22	22
欧州	8	8
北米	11	11
オセアニア	17	17
その他	2	2

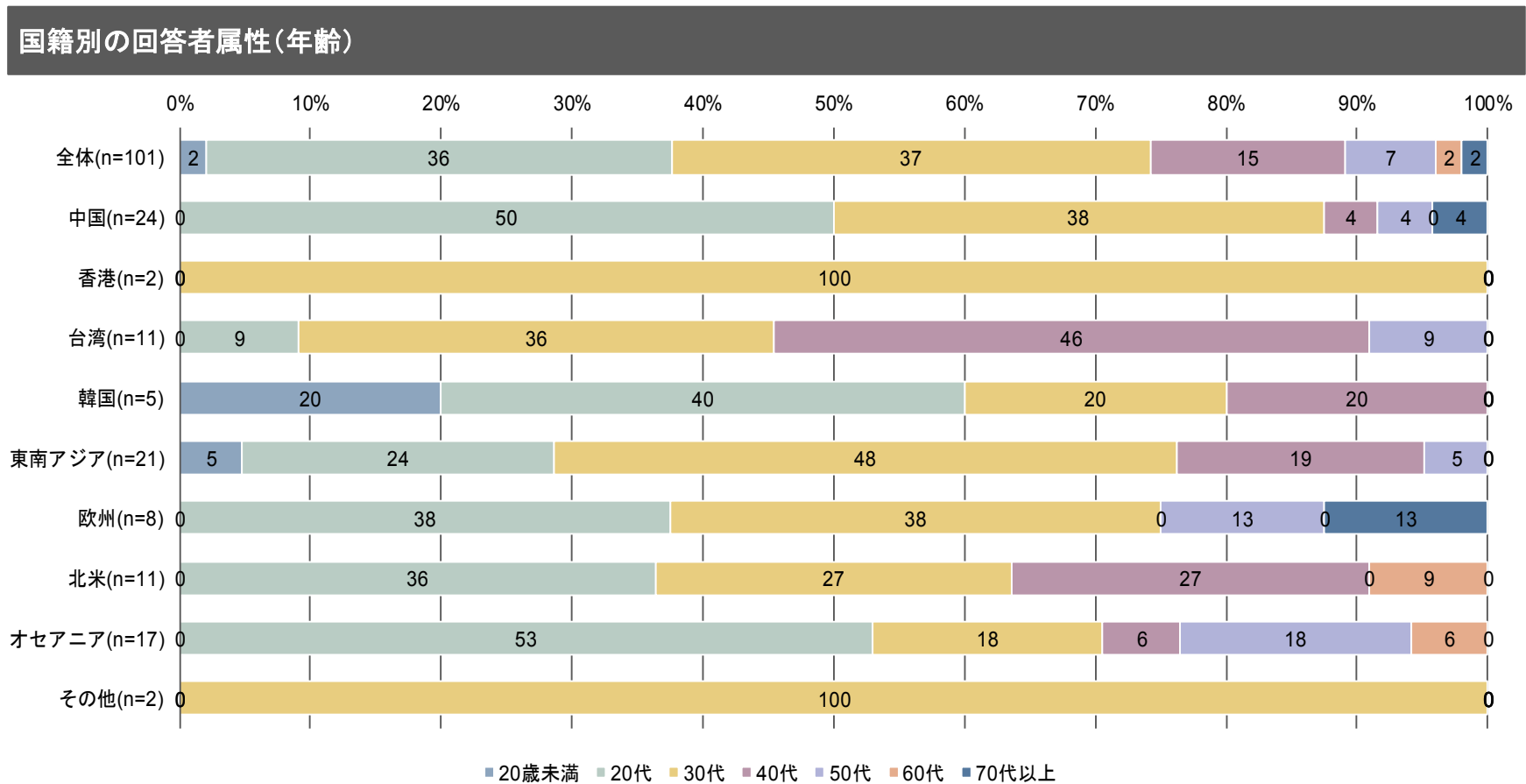


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の回答者属性(年齢)

- 20代、30代が多い。台湾は40歳代が多い。韓国は20歳未満が一定数みられた。



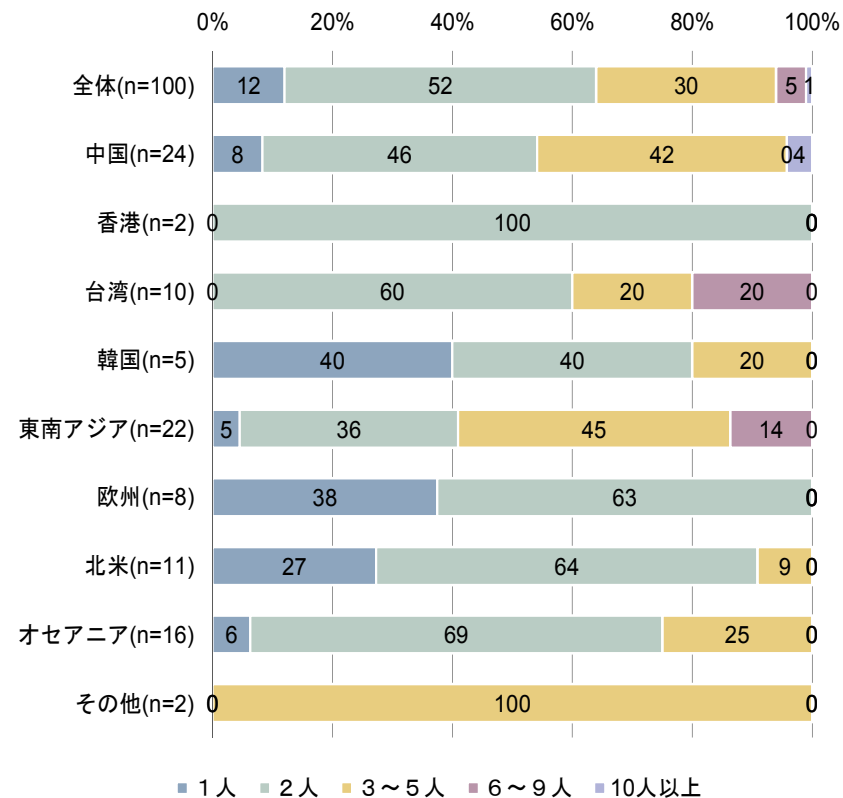
調査結果の概要

新大阪駅調査

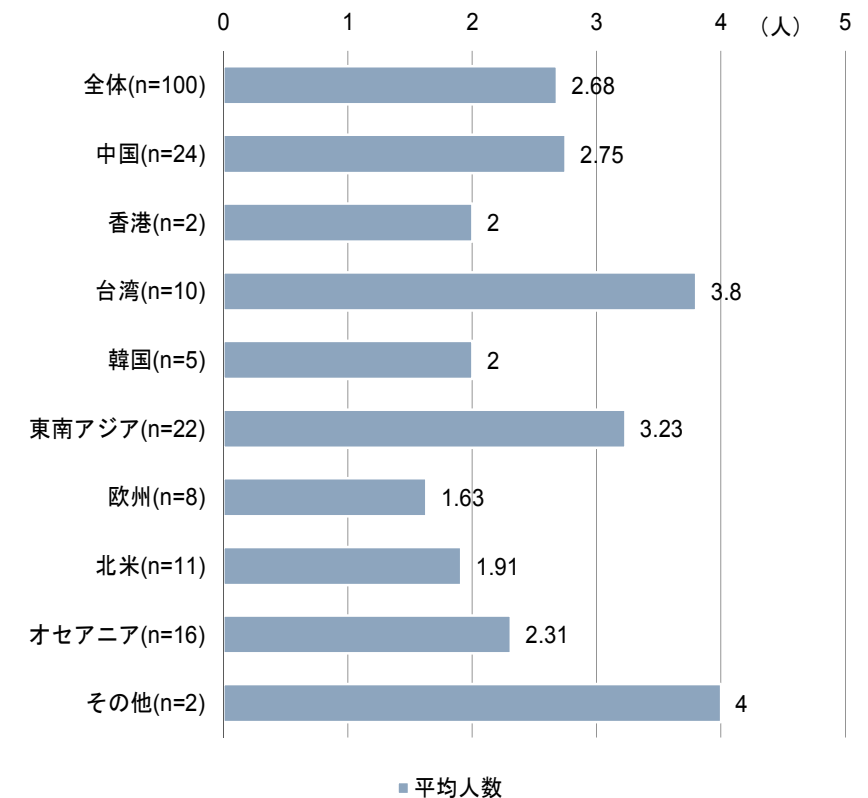
■ 国籍別の回答者属性(同行人数)

- 1人旅行が12%、2人旅行が52%となっている。
- 中国、台湾、東南アジアでは3人以上が比較的多くみられた。

国籍別の回答者属性(同行人数)



国籍別の回答者属性(平均同行人数)



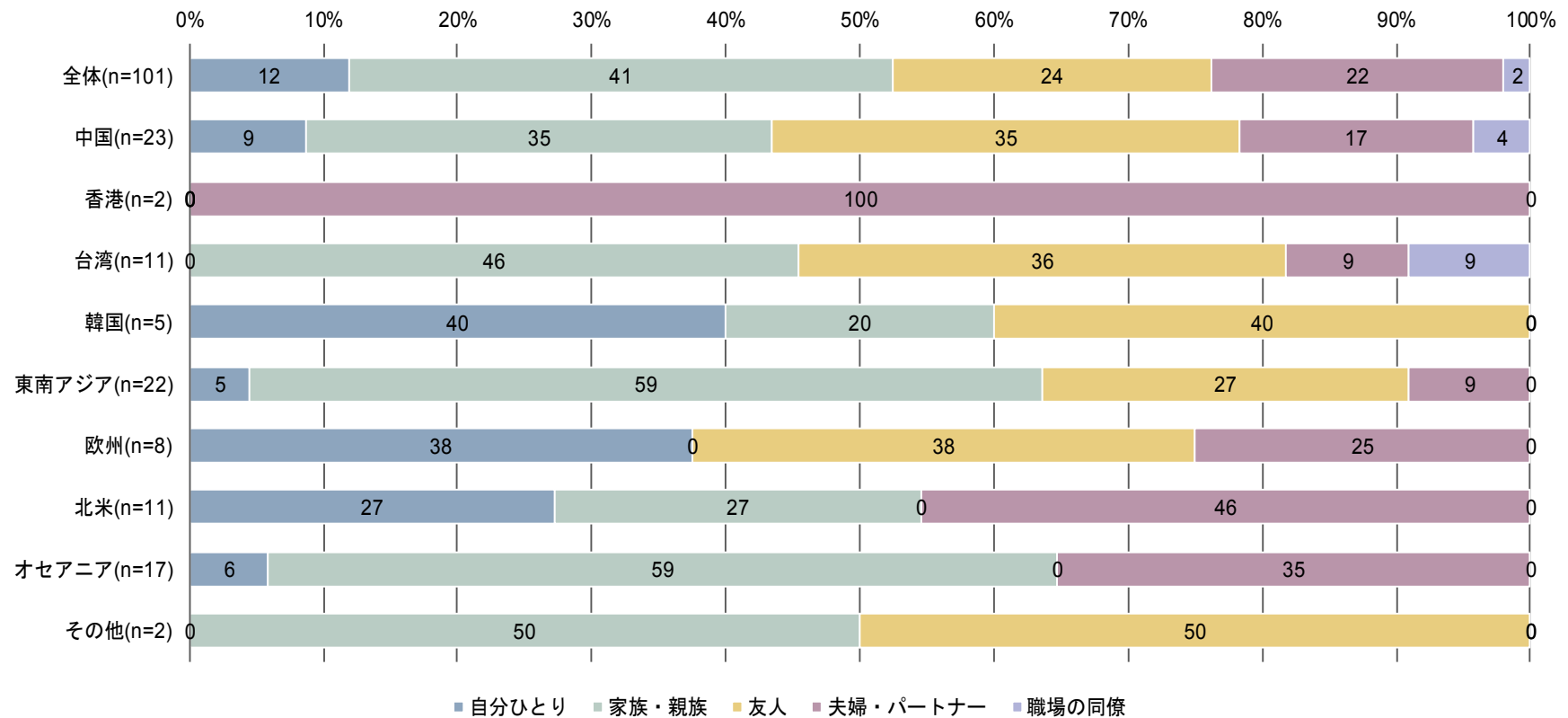
調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の回答者属性(同行者)

- 韓国、欧州、北米が1人旅行が多い。北米、オセアニア、欧州は夫婦・パートナーの割合が高い。

国籍別の回答者属性(同行者)

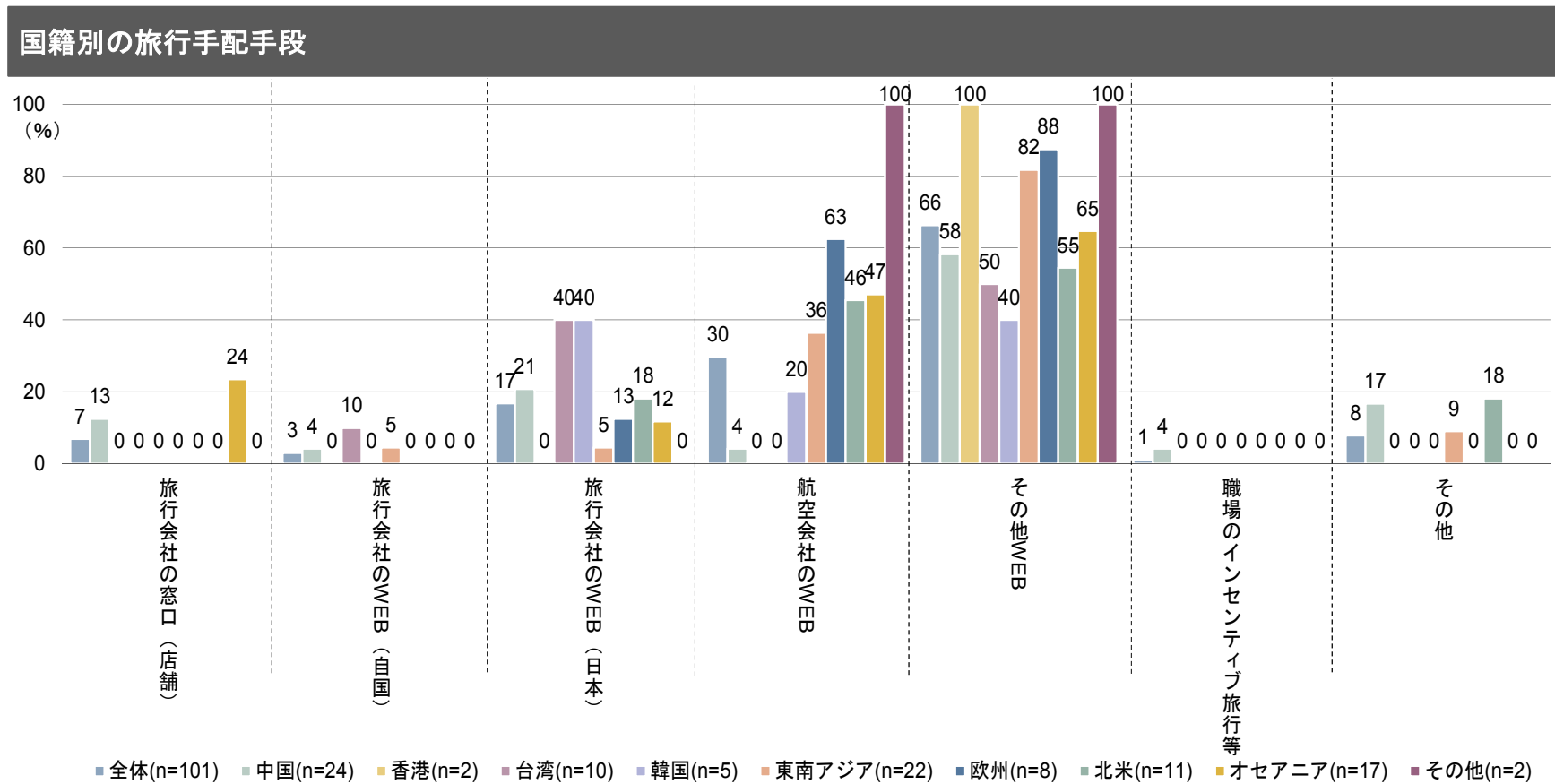


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の旅行手配手段

- いずれもBooking.com等のその他WEBの利用者が多い。次いで航空会社のWEBが多い。

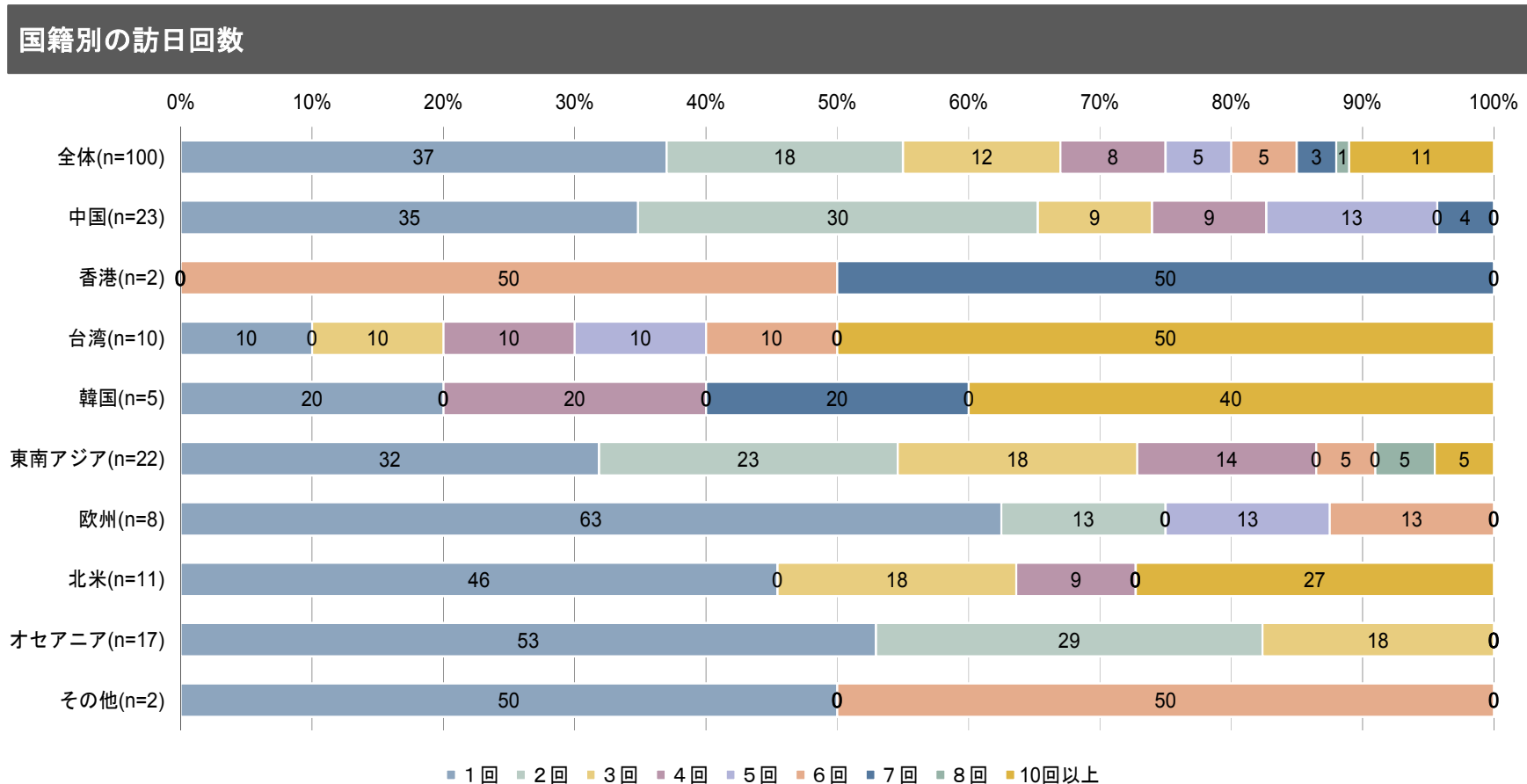


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の訪日回数

- 欧米豪は初訪日の割合が高い。中国、東アジアも初訪日の割合が一定高い。
- 台湾、韓国は10回以上の割合が高い。

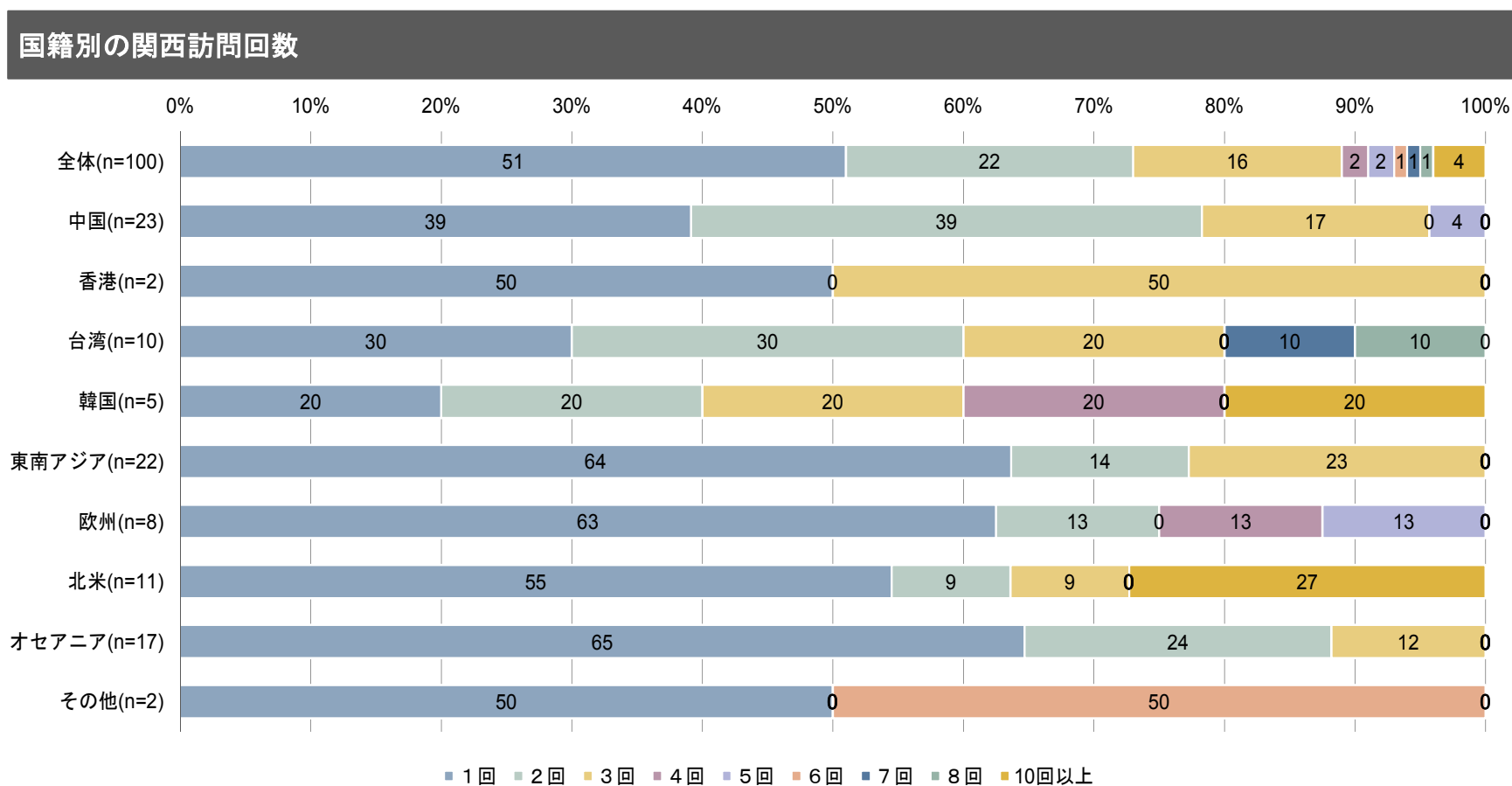


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の関西訪問回数

- 関西への訪問回数は東南アジア、欧米豪が初訪問の割合が高い。



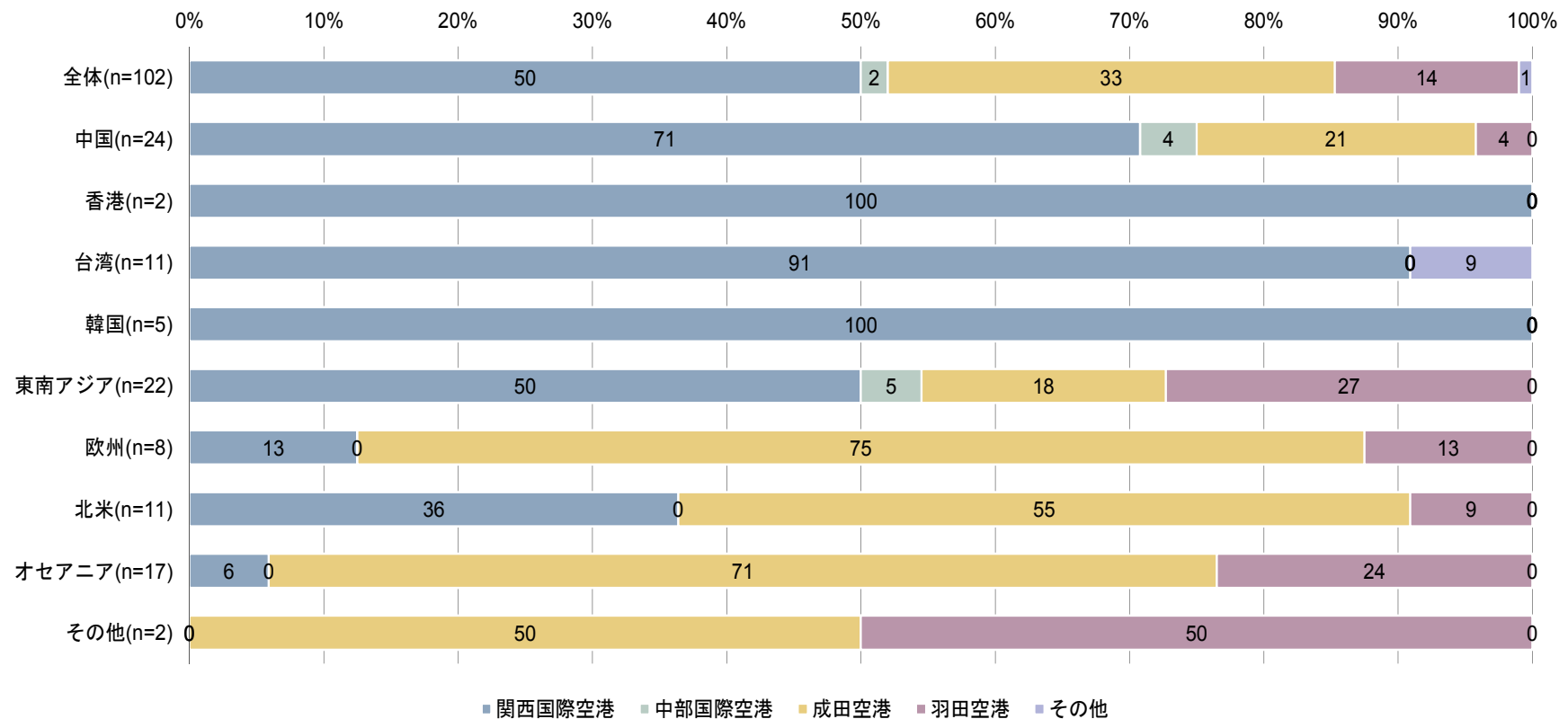
調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の旅程

- 関西国際空港の利用者が50%、成田が33%、羽田が17%となっている。
- 東アジアは大半が関空利用である。欧米豪は成田・羽田利用者が多い。東南アジアは半々である。

国籍別の入国空港



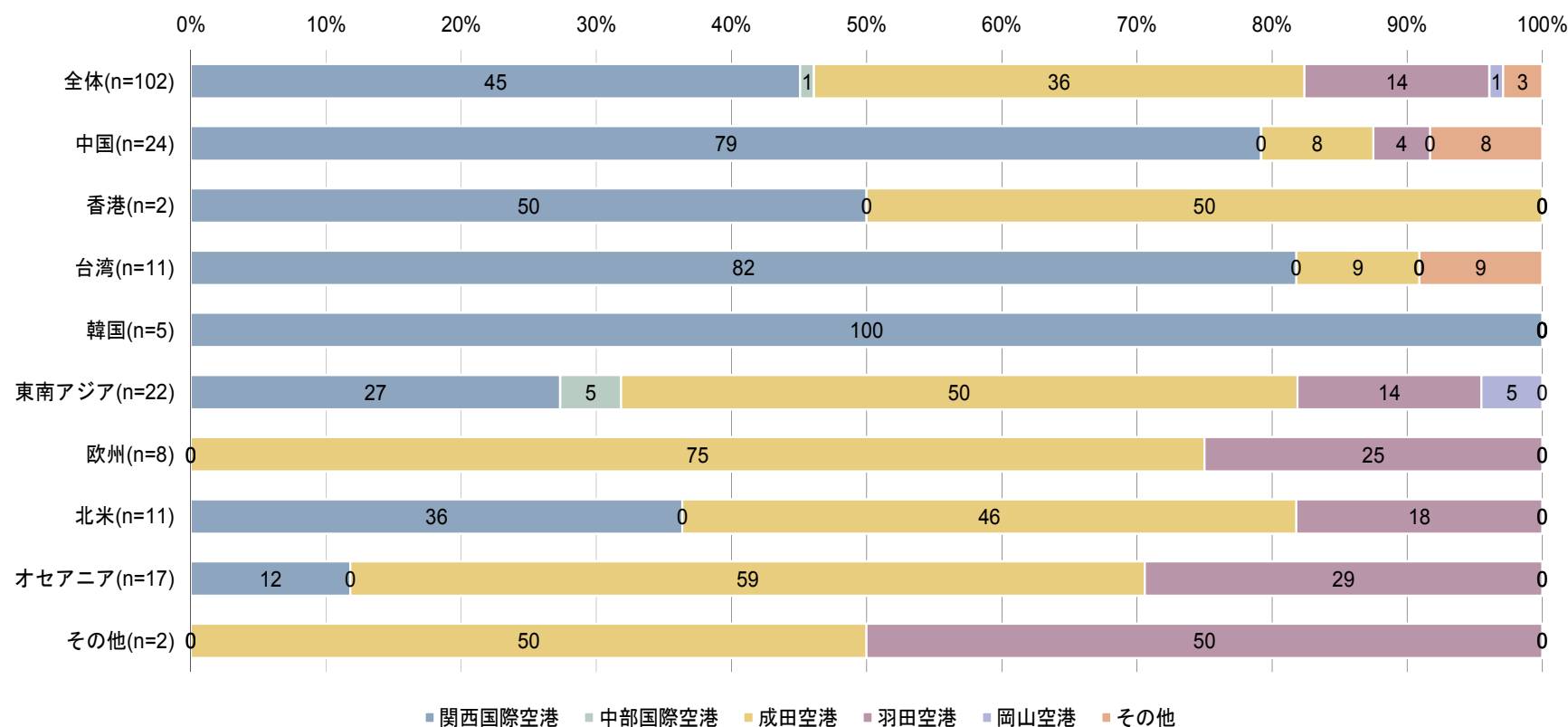
調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の旅程

- 出国空港は入国空港とほぼ同様の傾向を示している。
- 東南アジアは関西と羽田・成田の比率がほぼ逆転している。

国籍別の出国空港

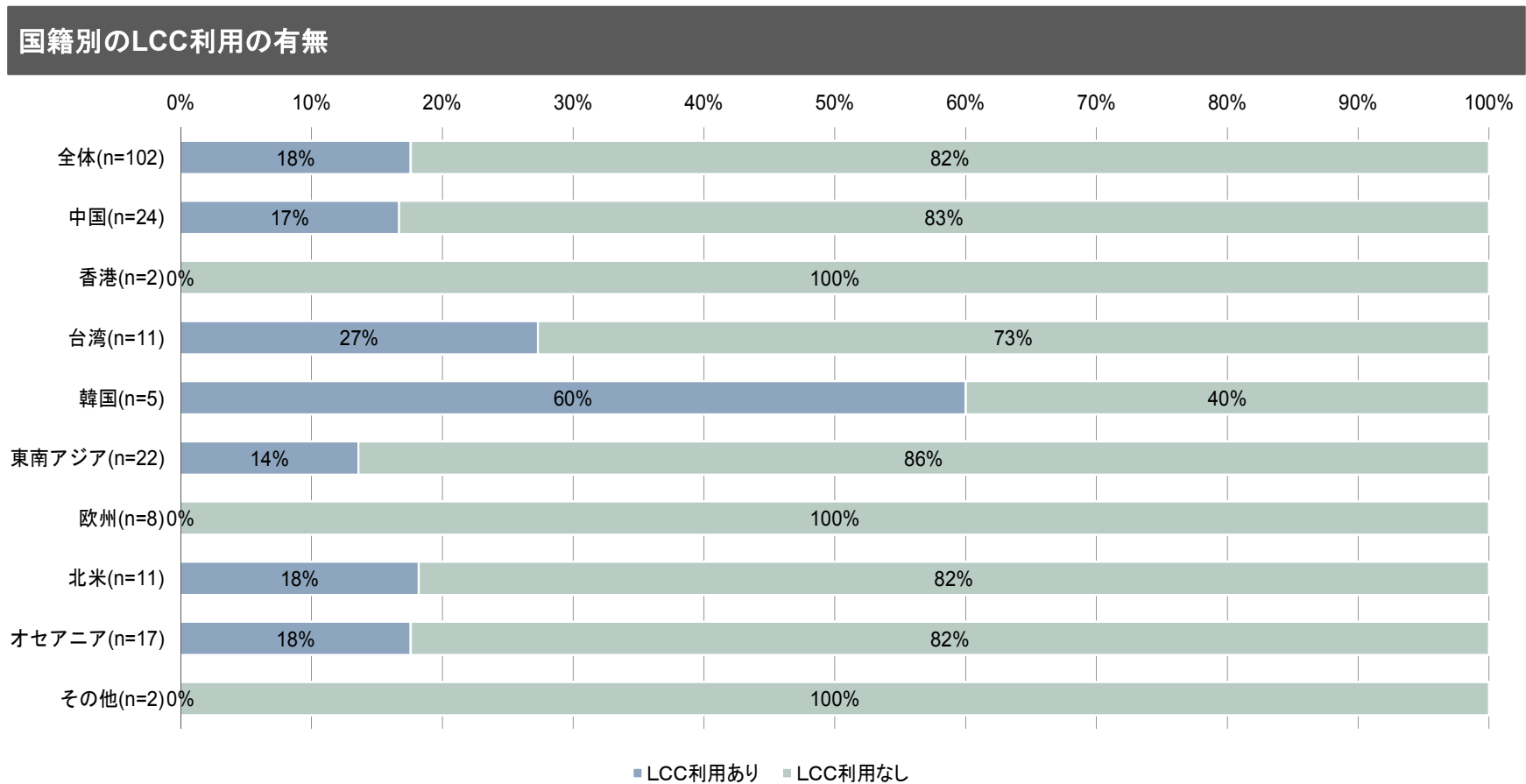


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の旅程

- 韓国のLCC比率が圧倒的に高い。次いで台湾が高く、北米、オセアニア、中国が続いている。

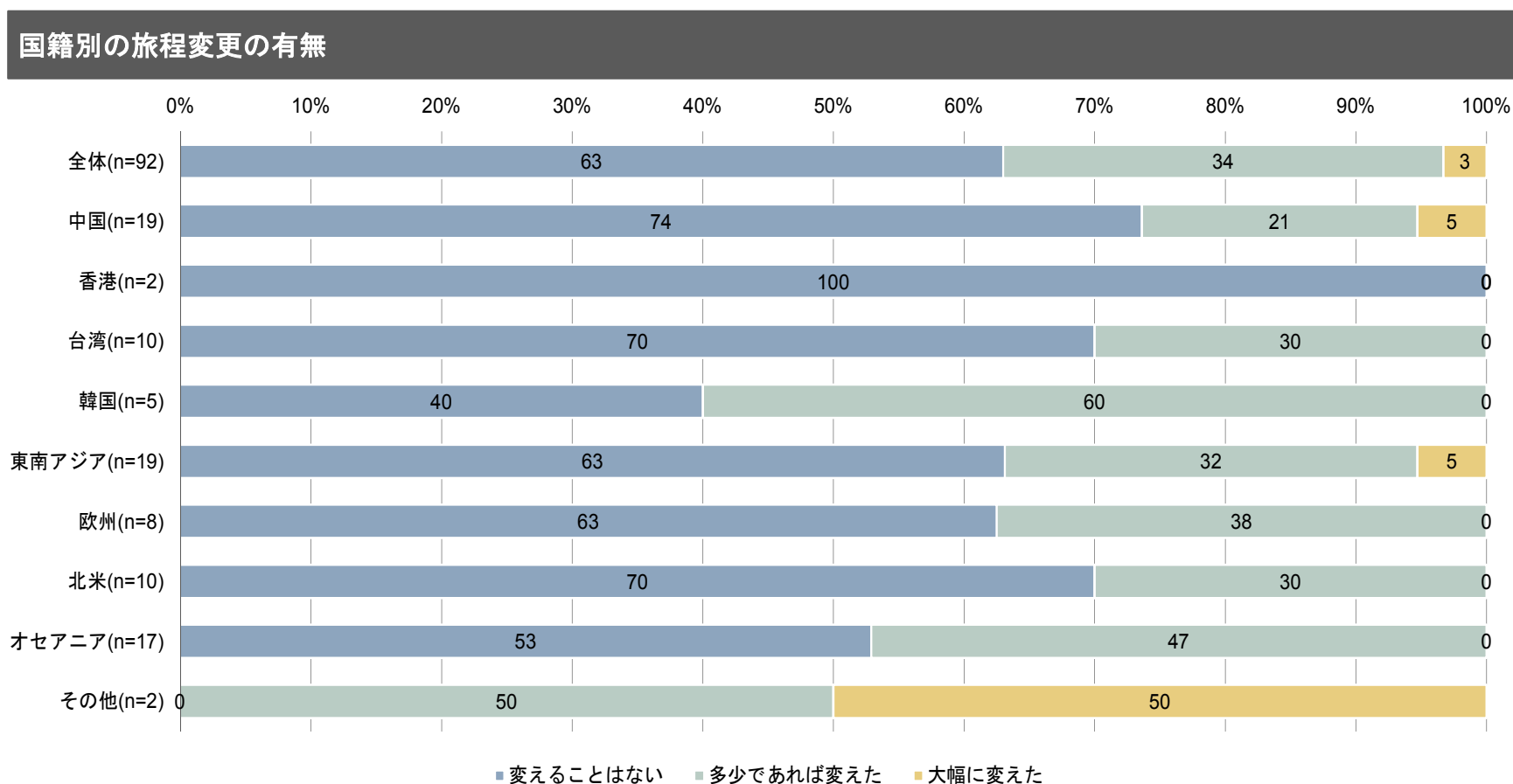


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の旅程

- 旅程を「多少であれば変えた」が多いのは韓国、オセアニアとなっている。



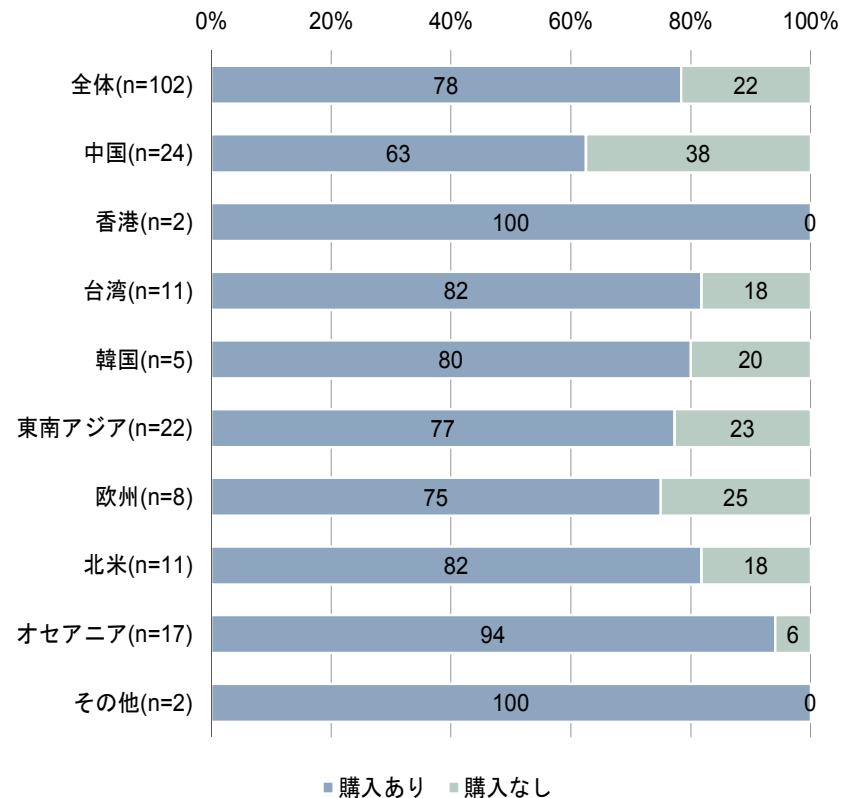
調査結果の概要

新大阪駅調査

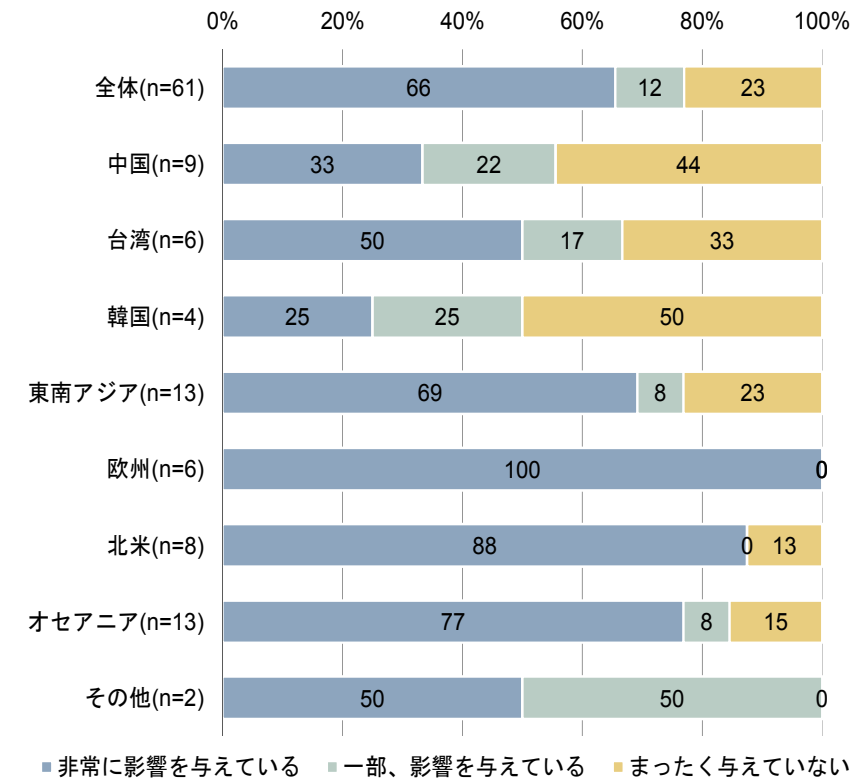
■ 国籍別の旅程

- 約8割がパスを購入している。中国以外は7割以上がパスを購入している。
- 欧米豪はパスが旅程の非常に影響を与えていることが分かる。

国籍別のパス購入の有無



国籍別のパスの影響の有無

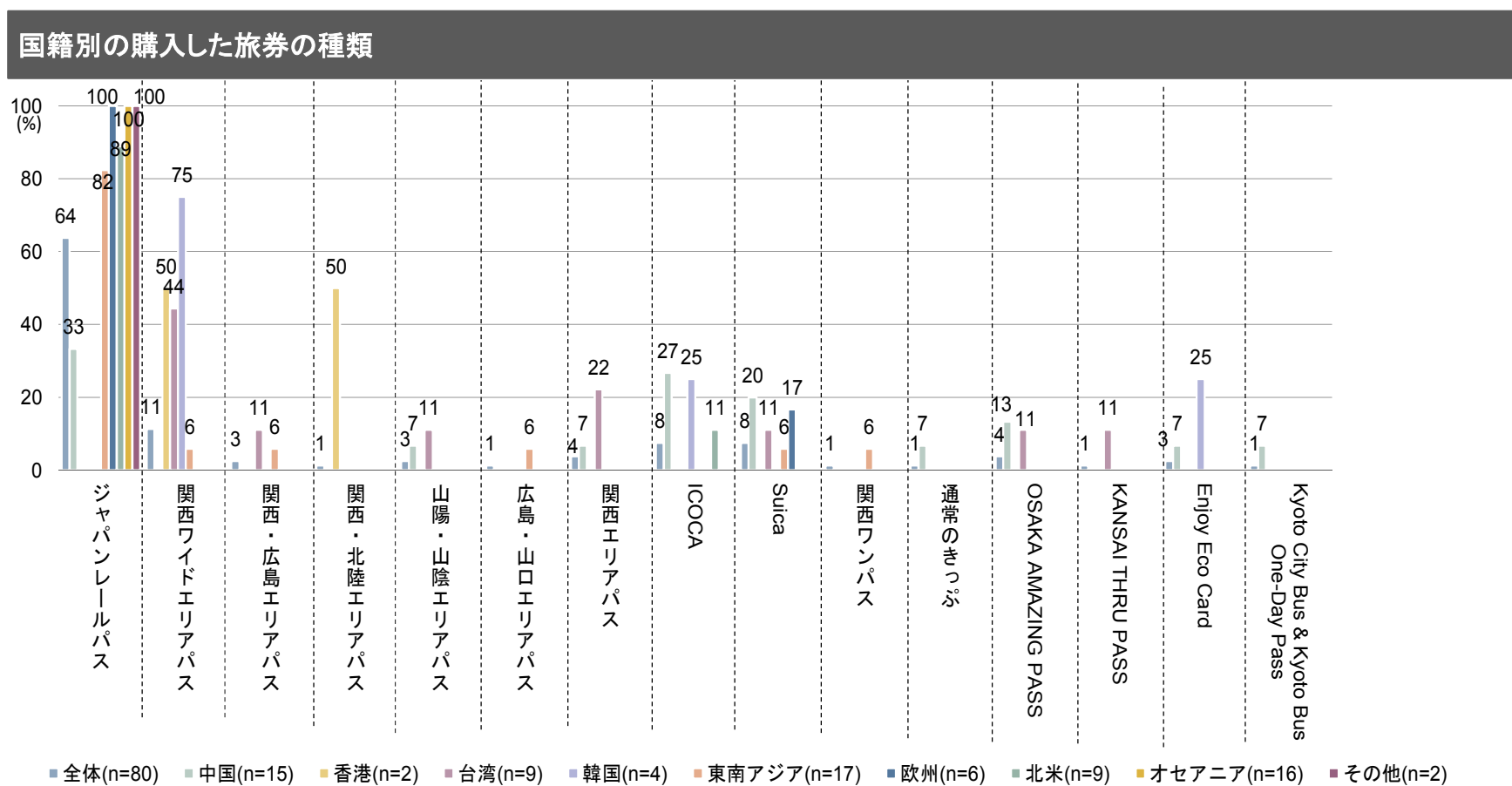


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の購入した旅券種別

- 全般的にジャパンレールパスが多い。次いで関西ワイドエリアパスが多い。

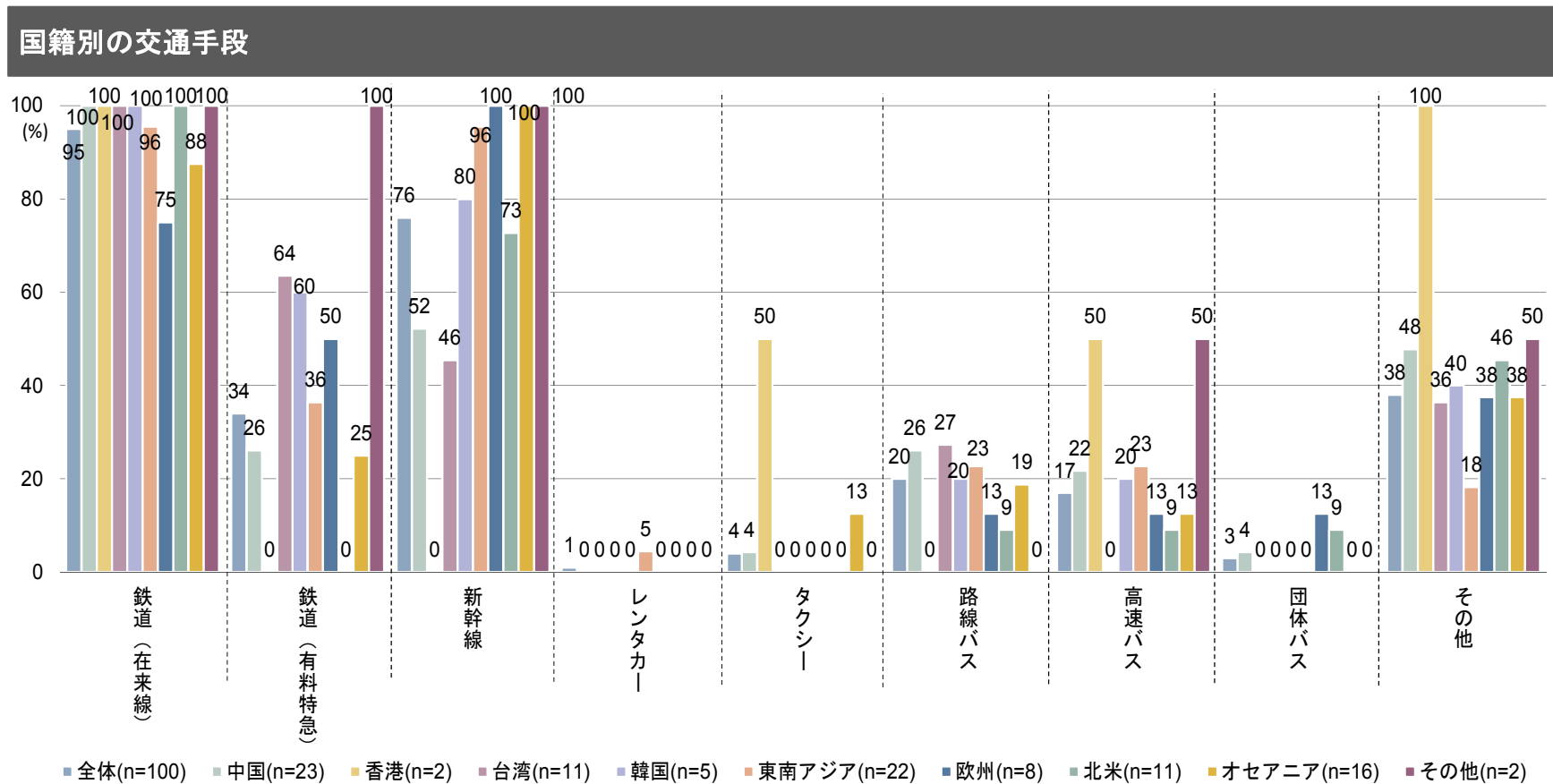


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の交通手段

- 新大阪での調査のため、鉄道（在来線）、新幹線の利用が多い。高速バスも一定数存在。

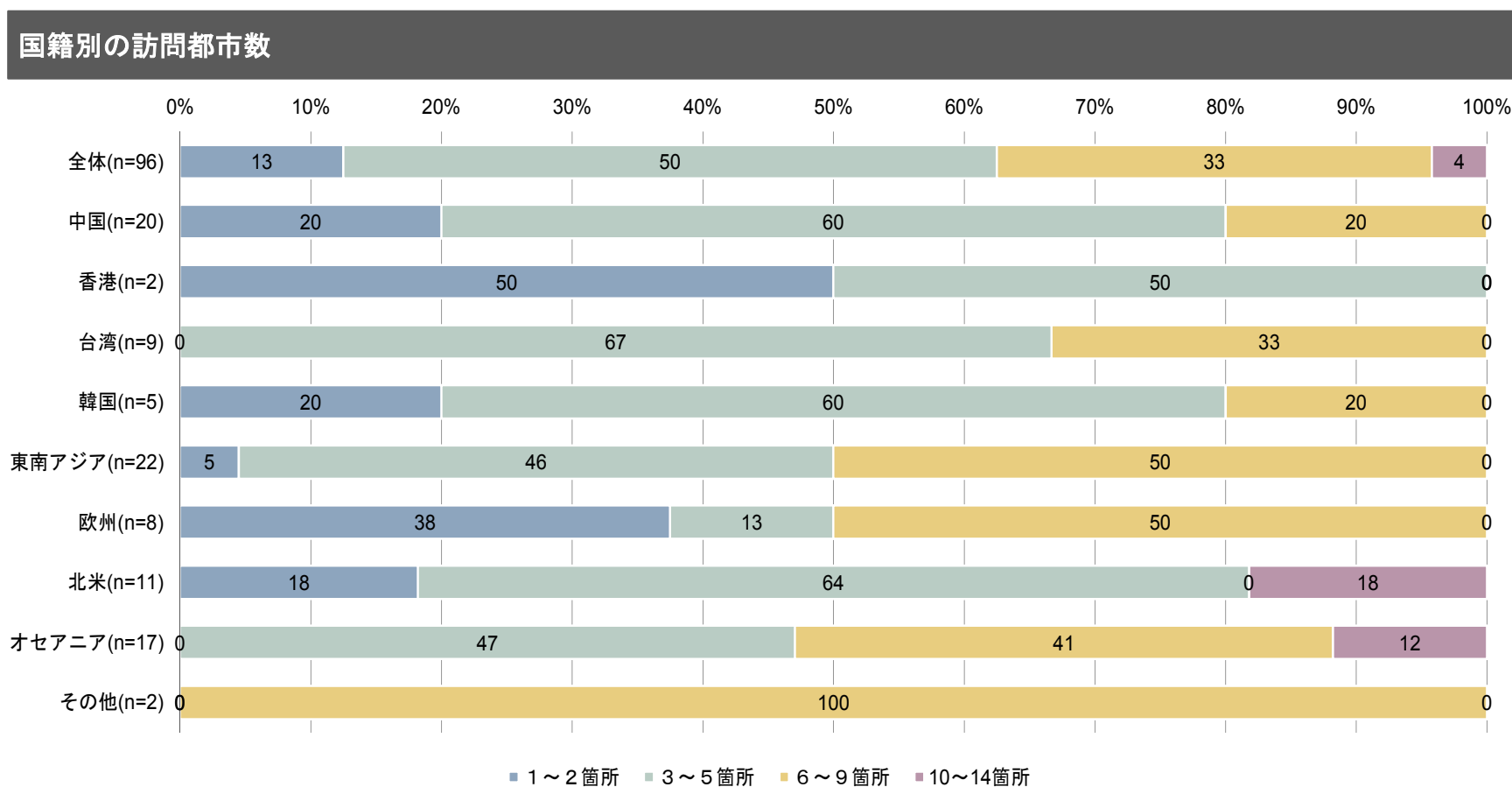


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の訪問都市数

- 東南アジア、欧州、オセアニア、台湾の訪問都市数が多い。



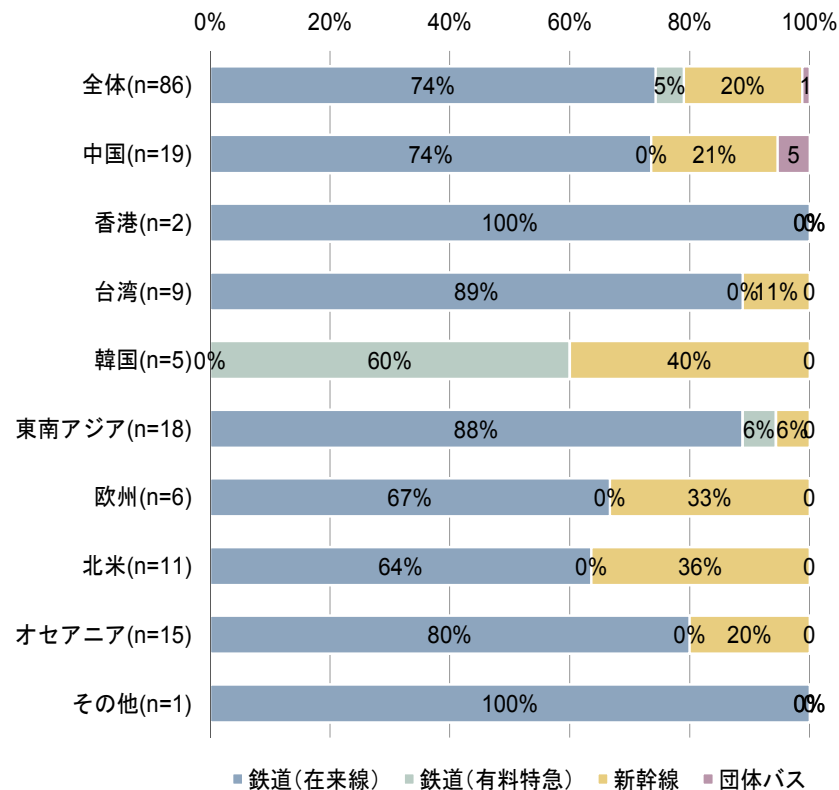
調査結果の概要

新大阪駅調査

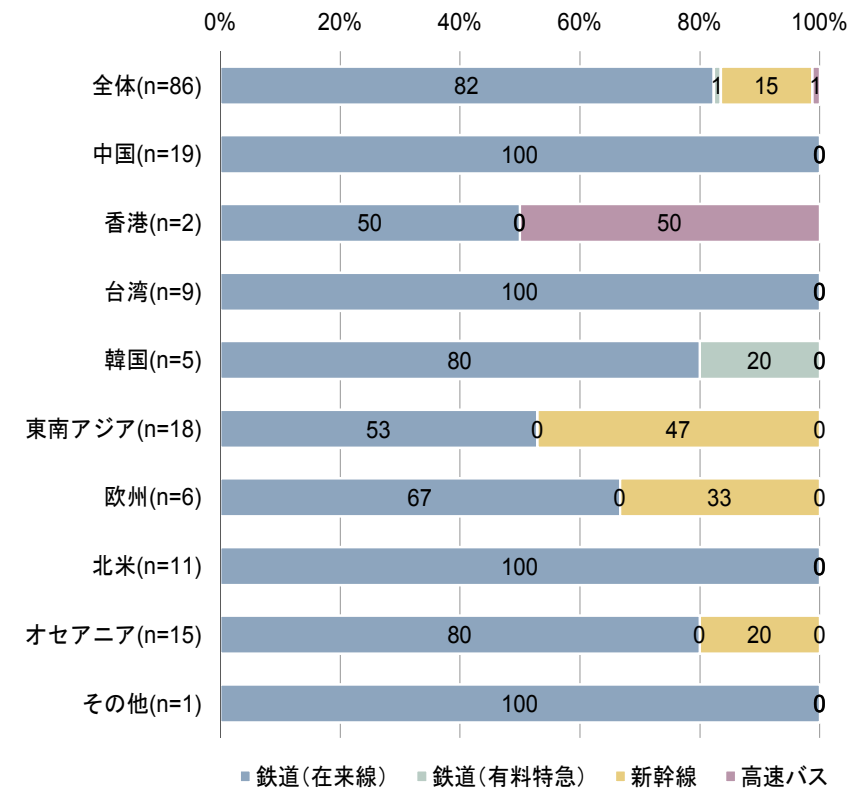
■ 国籍別の交通手段

- 新幹線での関西への流出入が多いのは、東南アジア、欧州、オセアニアとなっている。

国籍別の流入交通手段



国籍別の流出交通手段

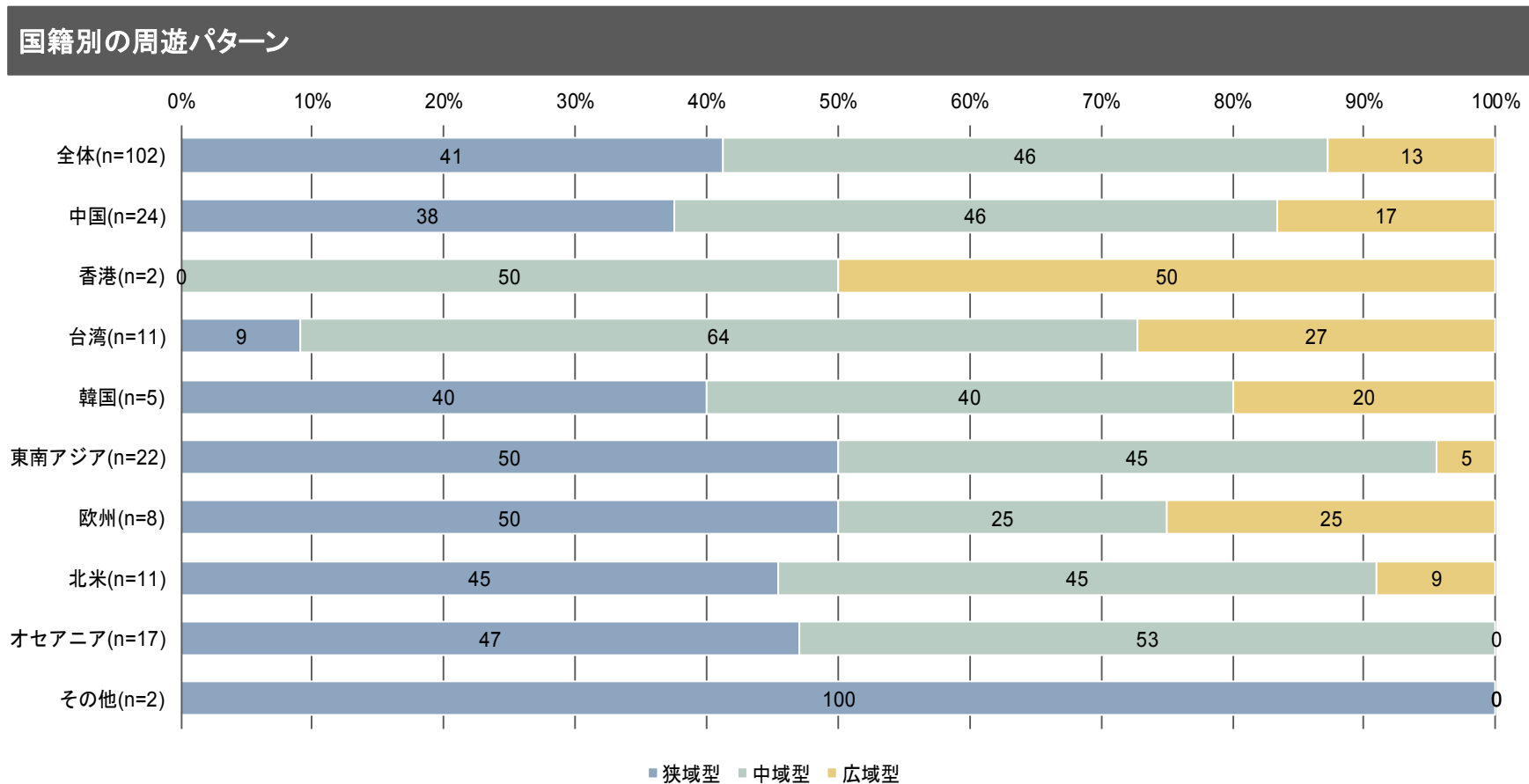


調査結果の概要

新大阪駅調査

■ 国籍別の周遊パターン

- 比較的関西内を広域に周遊する傾向にある国籍は、香港、台湾、欧州である。



※周遊パターンは関西内の訪問地によって分類。訪問地は以下の定義に基づいて分類。

狭域: 大阪市周辺エリア、関西周辺エリア、中間エリア(大阪・関西・京都の間に位置する市町)、京都市エリアのみ

中域: 狭域を除き、大阪駅または京都駅から概ね1時間以内に位置する市町

広域: 狭域・中域以外

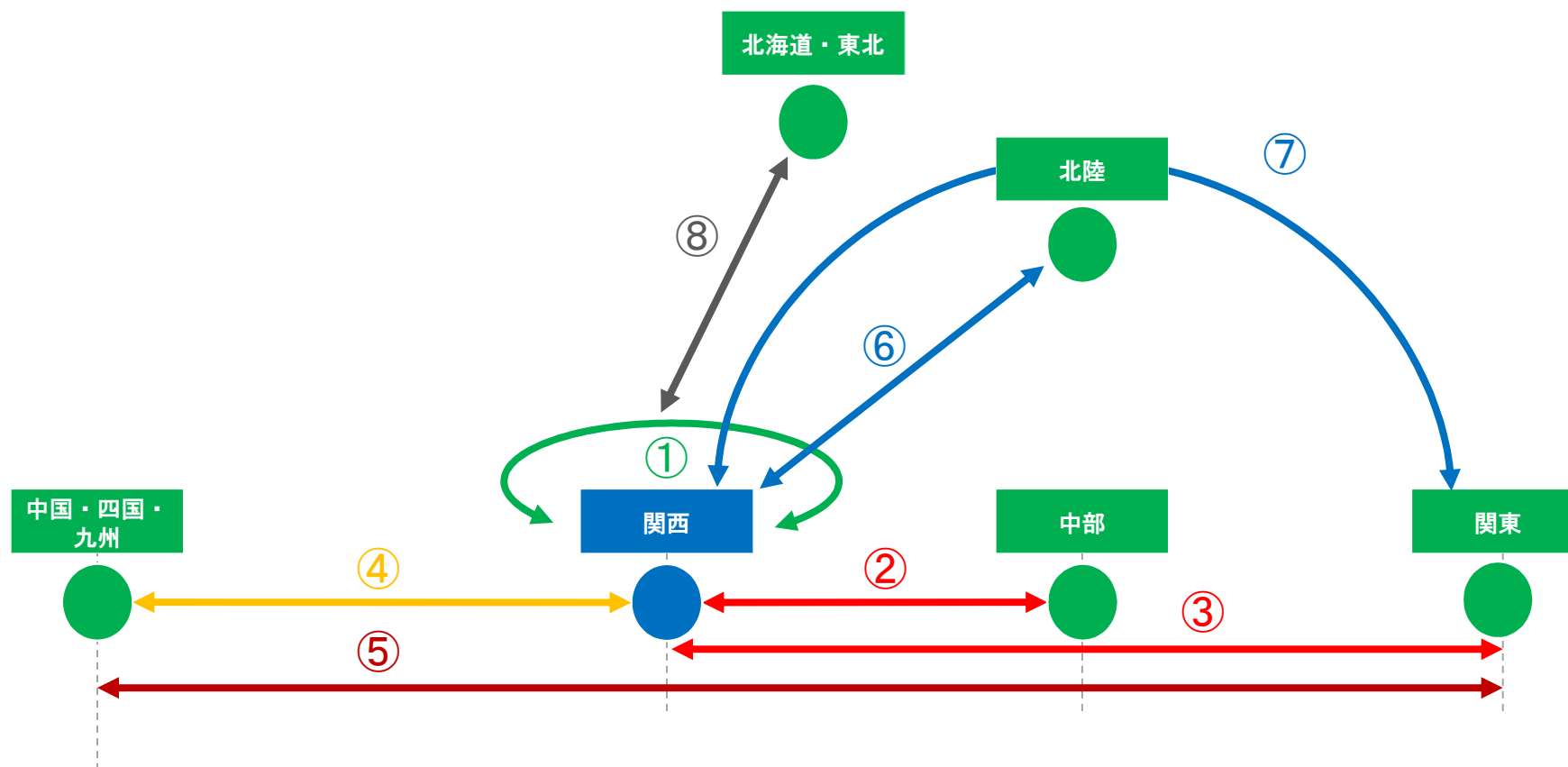
観光のパターン分類

新大阪駅調査

■ 分類

- 周遊ルートの結果から以下のパターンに分類した。

周遊ルートのパターン分類

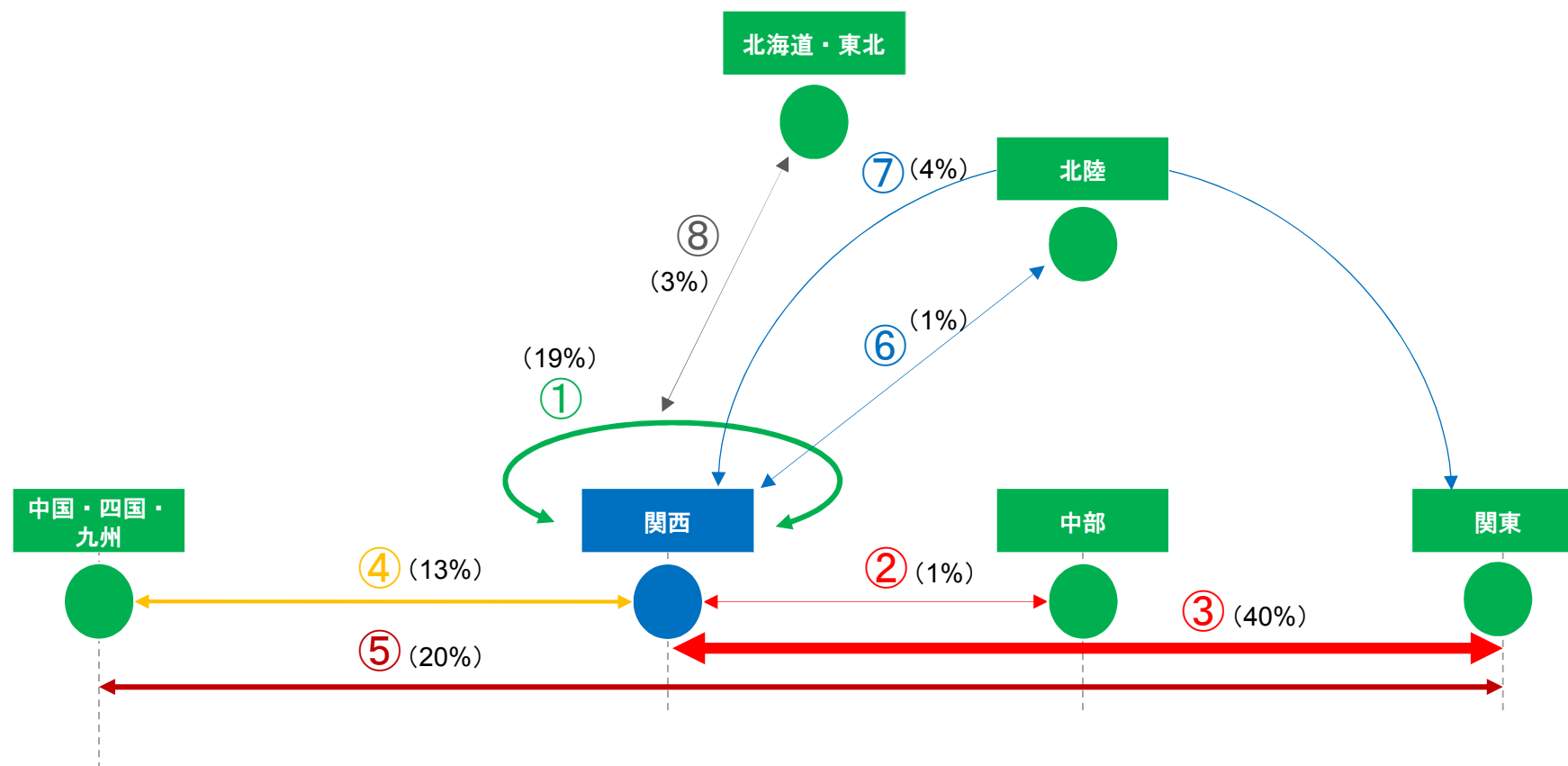


観光のパターン分類（全体=102）

新大阪駅調査

- 新大阪利用者は「③関西＋関東」(40%)が最も多く、次いで「⑤中国等＋関西＋関東」(20%)、「①関西のみ19%)。

全体(n=102)

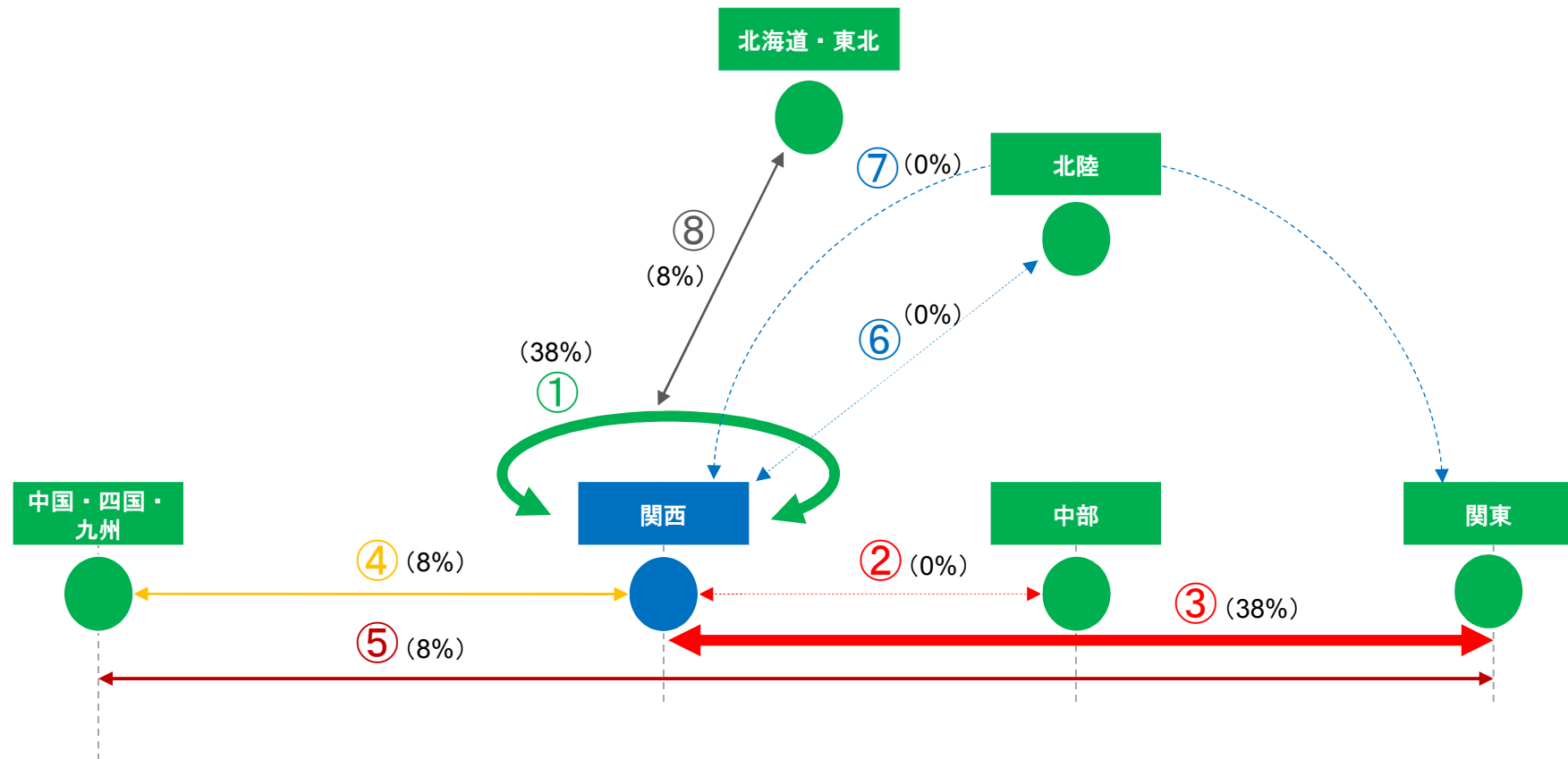


中国の周遊パターン 中国(n=24)

新大阪駅調査

- 「①関西のみ」(38%)か「③関西＋関東」(38%)が多い。
- 中国地方とセット(④・⑤)、北海道・東北とセット(⑧)がともに8%みられる。

中国(n=24)

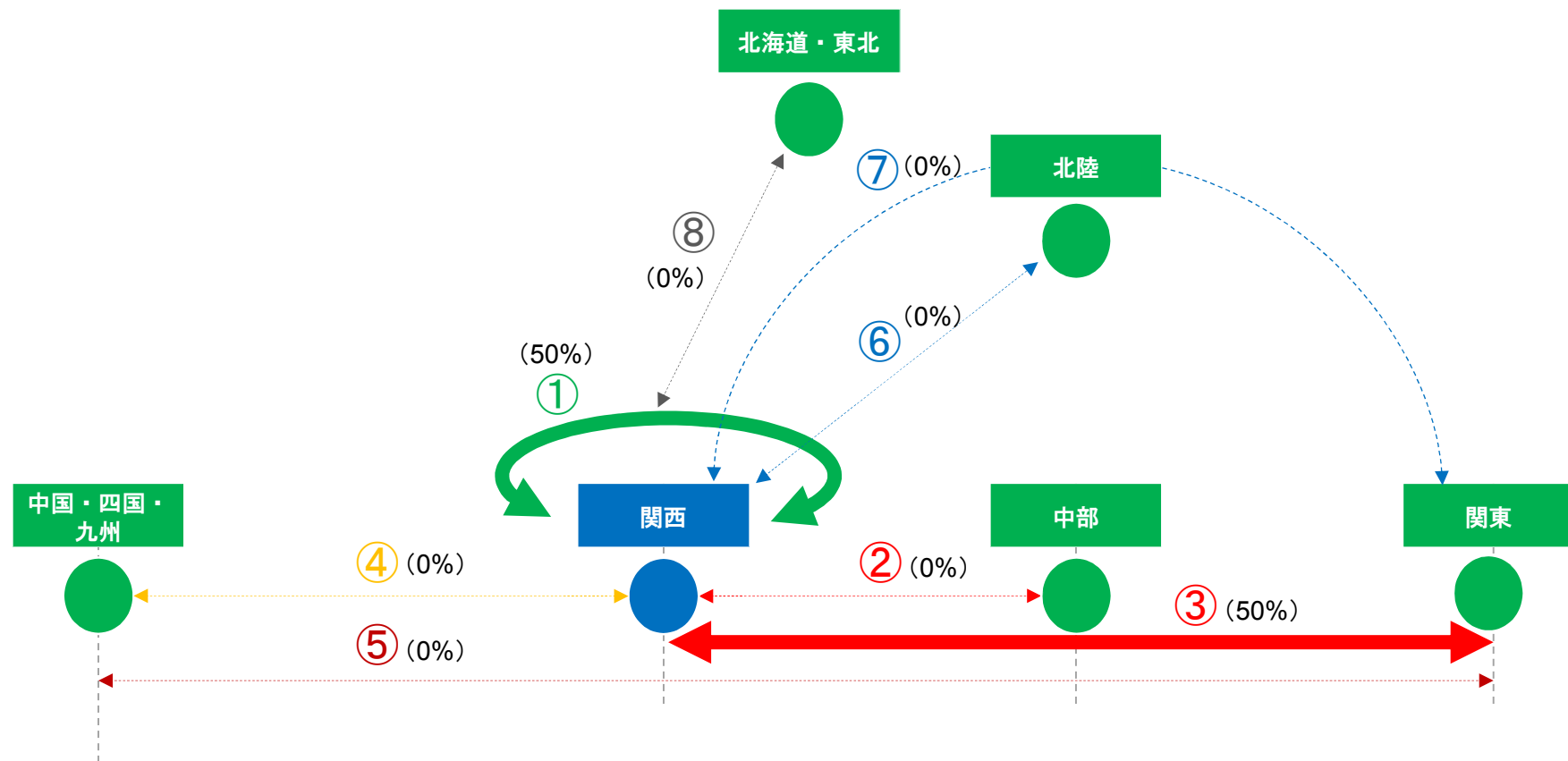


観光のパターン分類 香港 (n=2)

新大阪駅調査

- 香港は「①関西のみ」、「③関西＋関東」のいずれかとなっている。(サンプル数が少ないので参考値)

香港 (n=2)

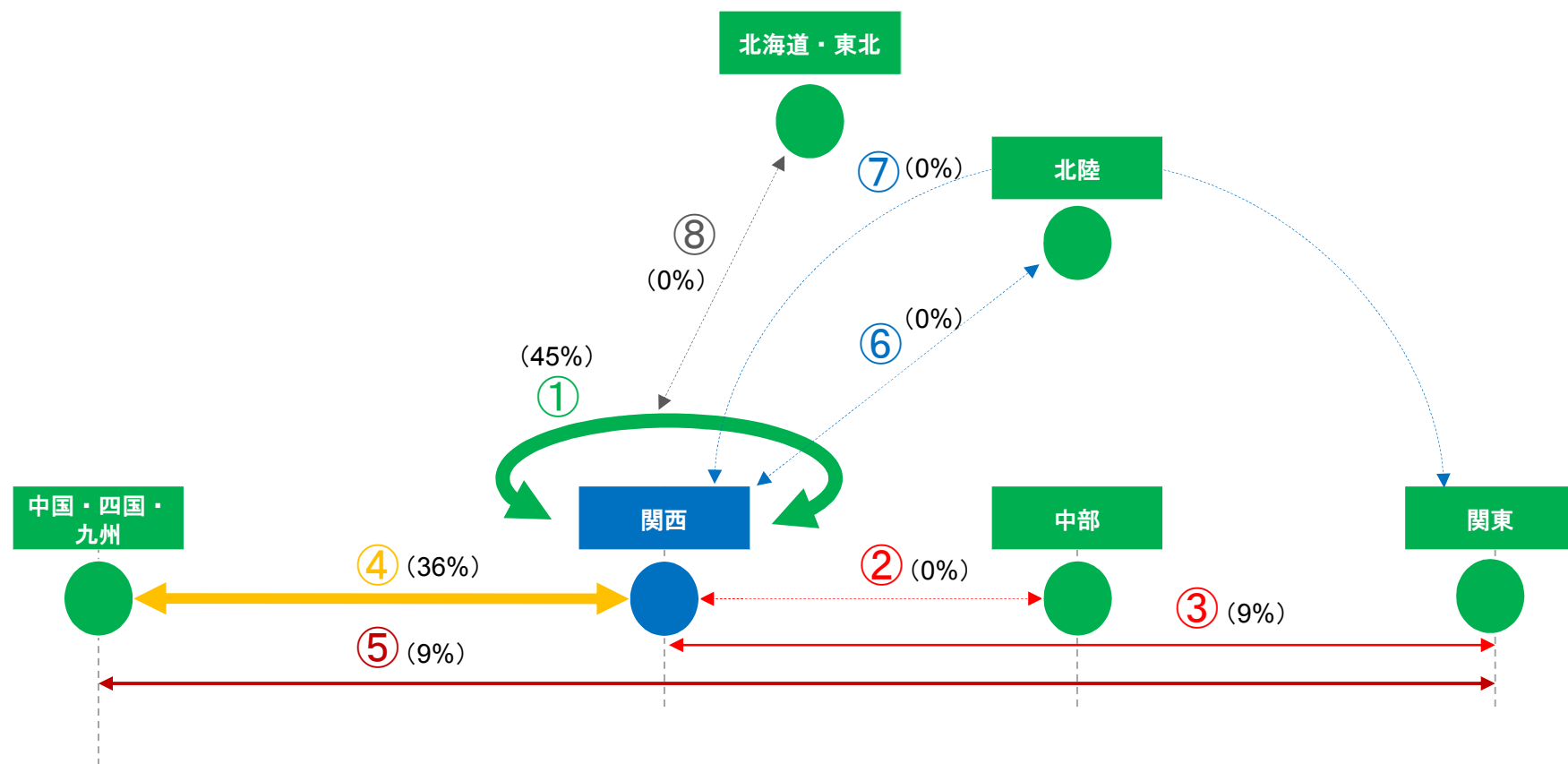


観光のパターン分類 台湾 (n=11)

新大阪駅調査

- 台湾は「①関西のみ」(45%)が多く、次いで「②関西＋中国等」(36%)となっている。

台湾 (n=11)

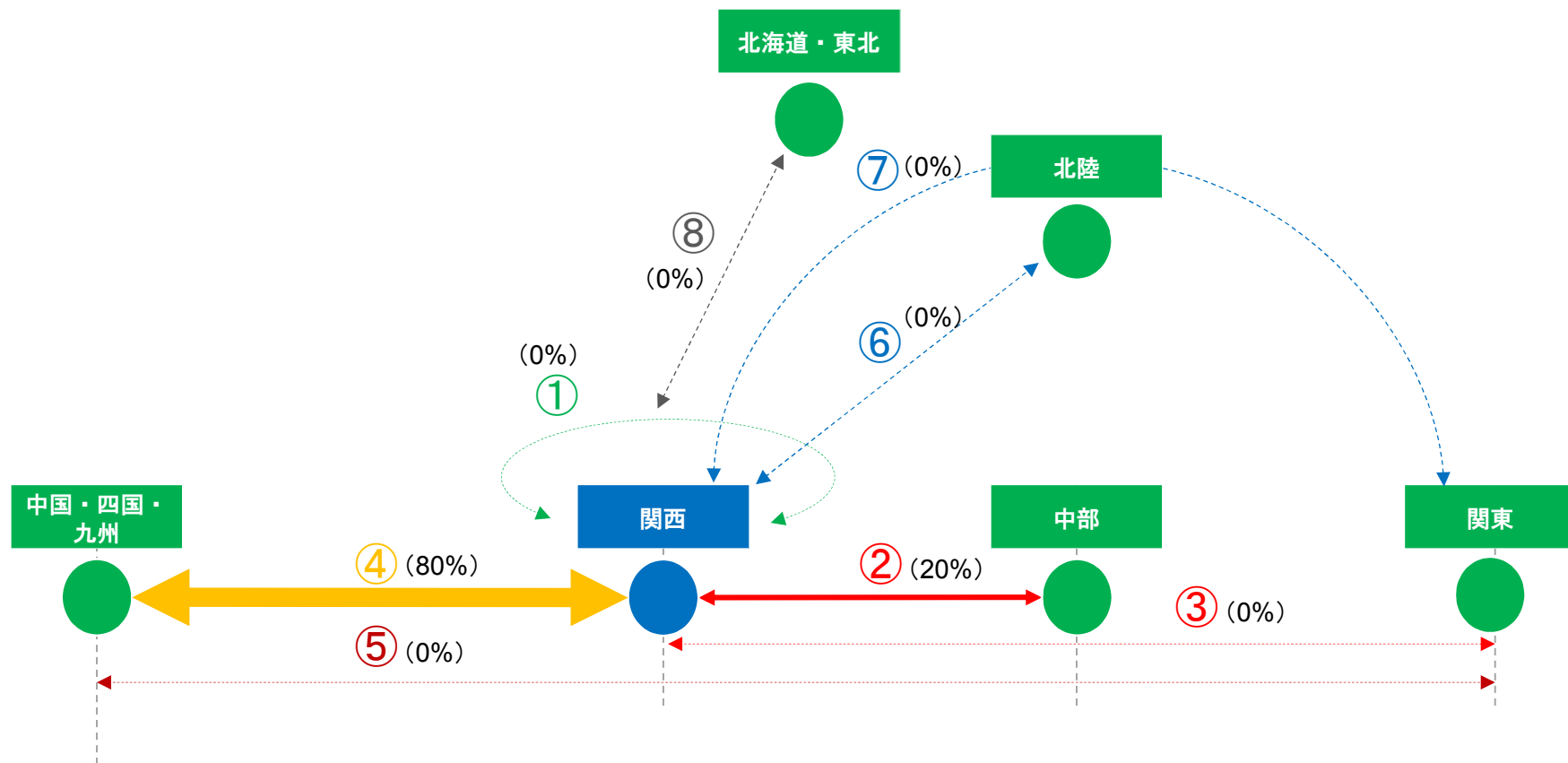


観光のパターン分類 韓国(n=5)

新大阪駅調査

- 韓国は④中国・四国・九州が80%と圧倒的に多い

韓国(n=5)

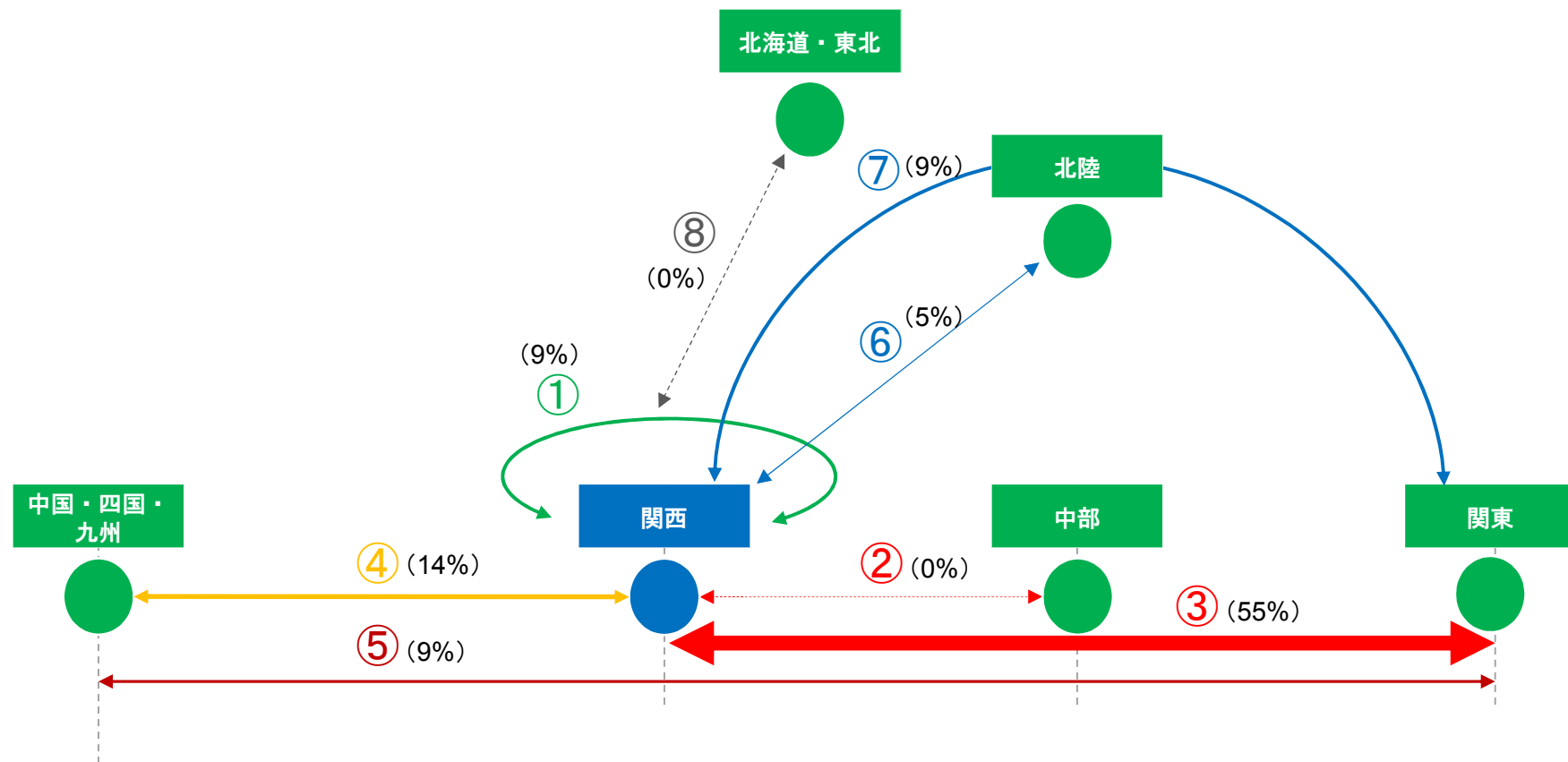


観光のパターン分類 東南アジア (n=22)

新大阪駅調査

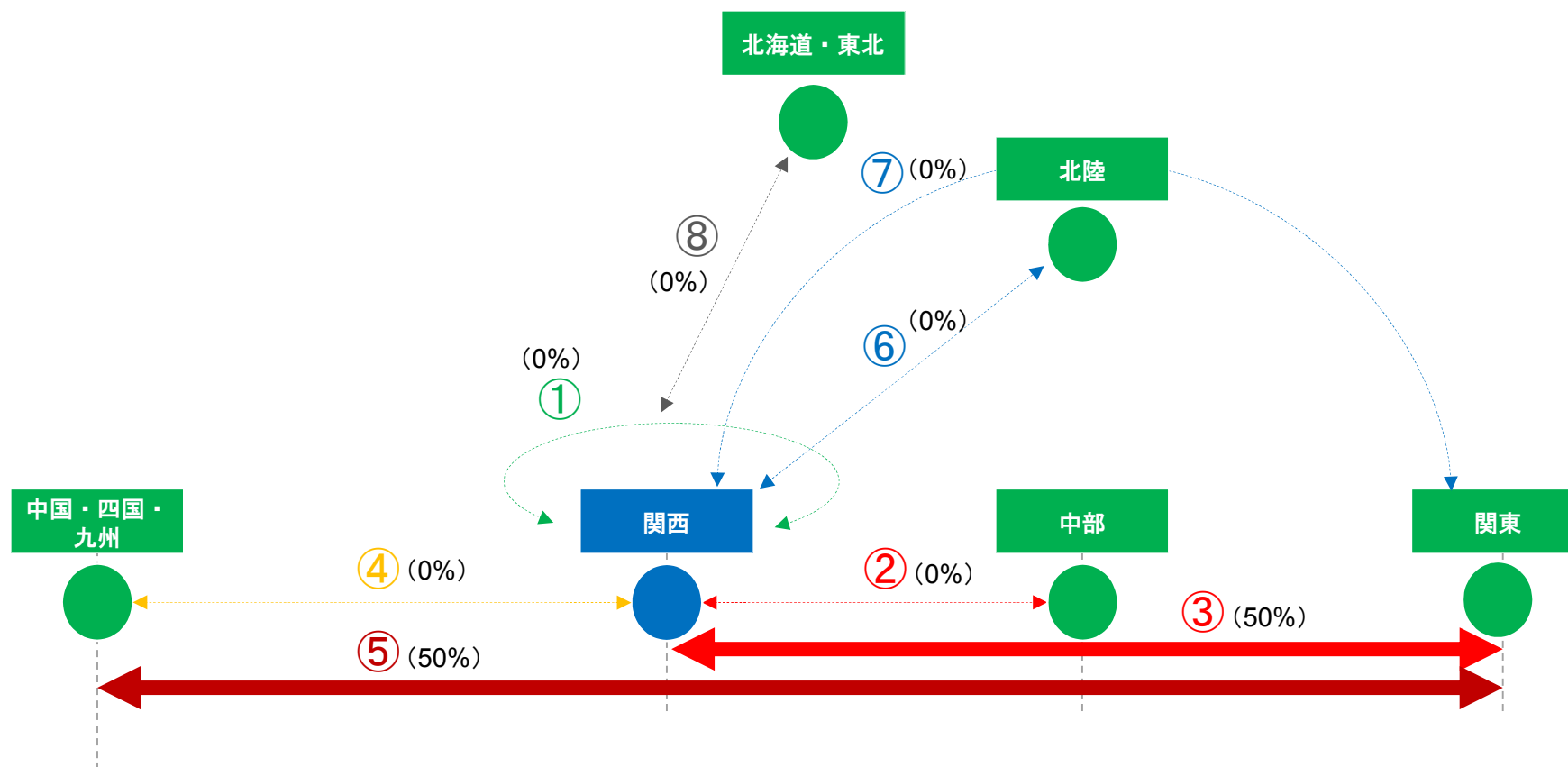
- 東南アジアは「③関東⇔関西」が55%と圧倒的に多い。

東南アジア (n=22)



新大阪駅調査

- 欧州 (n=8)

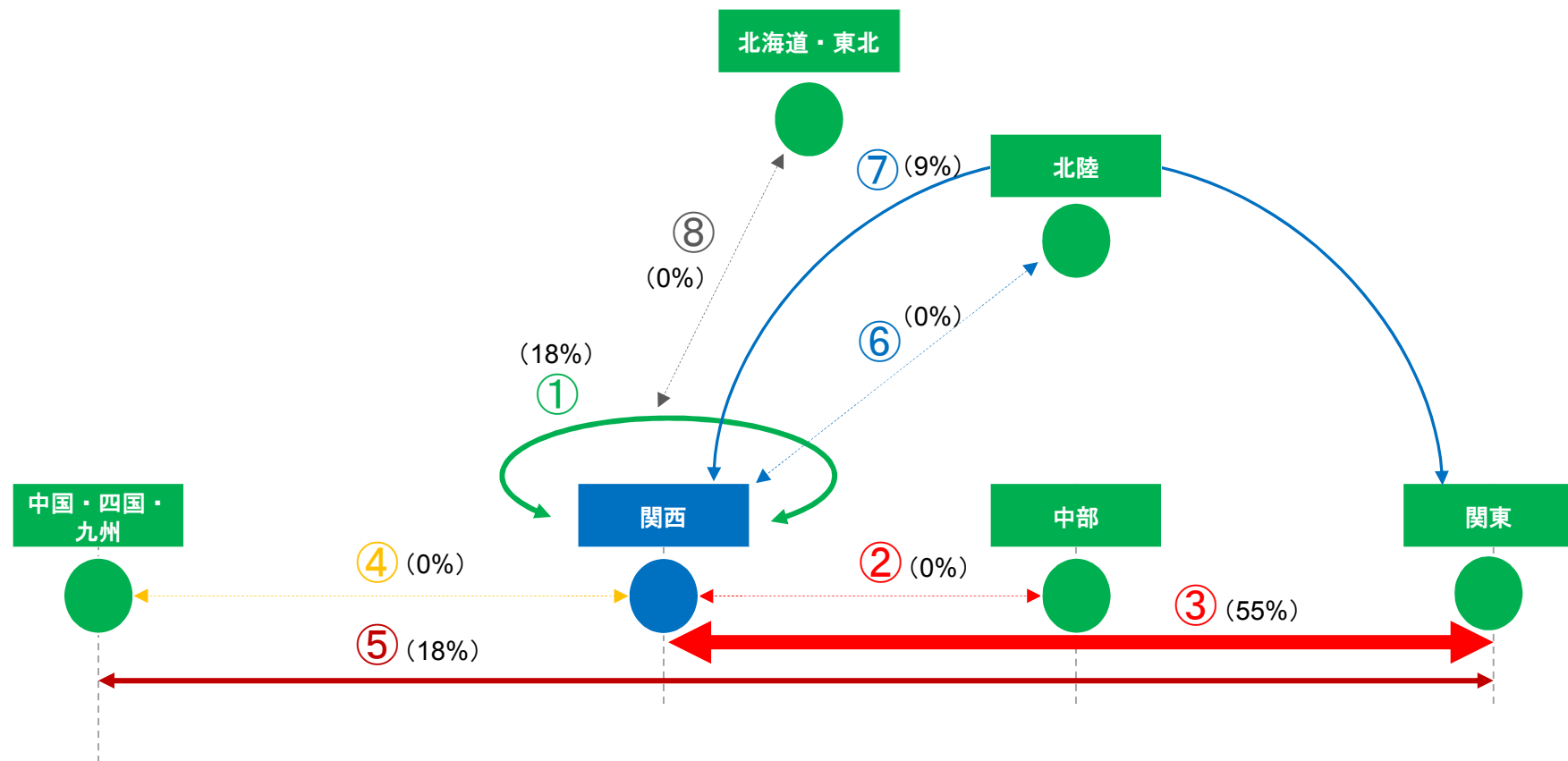


観光のパターン分類 北米(n=11)

新大阪駅調査

- 北米は③関東⇔関西が55%、次いで⑤関東⇔関西⇔中国・九州・四国が18%となっている。

北米(n=11)

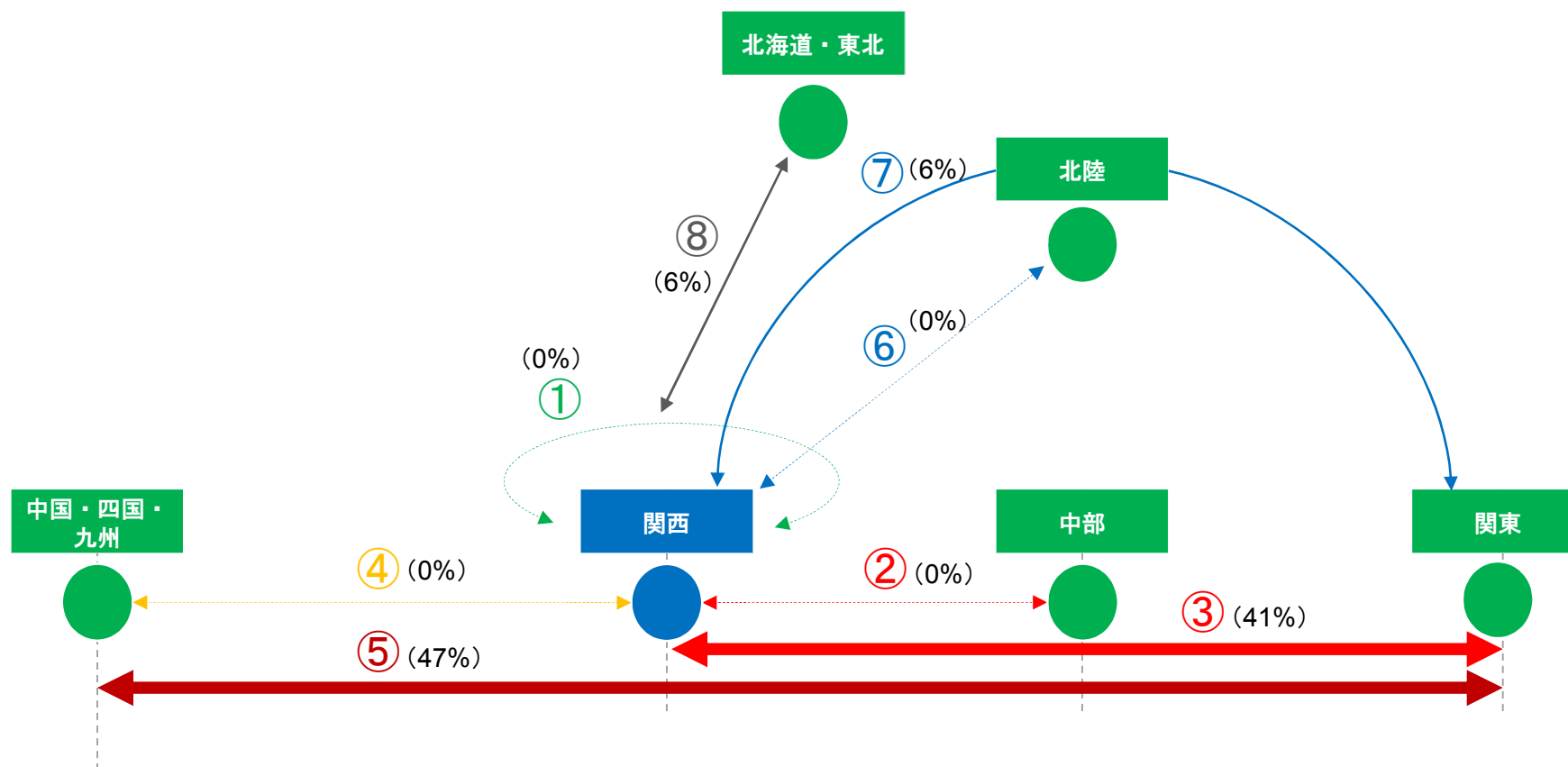


観光のパターン分類 オセアニア(n=17)

新大阪駅調査

- オセアニアは⑤関東⇔関西⇔中国・九州・四国が47%、③関東⇔関西が41%で大半を占める。

オセアニア(n=17)



まとめ

新大阪駅調査

■ 関西域外からの周遊について

- 関東⇔関西(⇔中国・四国等)(③⑤)の割合が高い国籍
 - － 欧州(100%)、オセアニア(88%)、北米(73%)、東南アジア(55%)、中国(46%)
- 関西での周遊(①)の割合が高い国籍
 - － 台湾(46%)、中国(38%)
- 関西⇔中国・四国等(④)の割合が高い国籍
 - － 韓国(80%)、台湾(36%)
- 関西⇔北陸(⑥⑦)の割合が高い国籍
 - － 東南アジア(9%)、北米(9%)、オセアニア(6%)